教 育 要 覧

令和８年度

精華町教育委員会

「こどもを守る町」宣言

（昭和４３年制定）

青少年は次代の担い手であり、その健全な成長は町民すべての願いである。

本町は、ここに「こどもを守る町」であることを宣言し、町民すべての熱意を結集して、その目的達成のために努力する。

精華町教育大綱

いま子どもたちを取り巻く社会の状況を考える時、「こどもを守る町」宣言（昭和４３年）を掲げた当時の人々の願いを思い起こさずにはいられません。先人の意思を受け継いで、まちの宝である精華町の子どもたちが夢をもって健やかに育ち、すべての人々が、生涯にわたりいきいきと活躍できるよう、教育のまちづくりを進め、命と希望を未来につなぎたいとの願いから、この大綱を定めます。

令和６年４月１日

精華町長　杉浦　正省

【基本目標】

子どもが夢をもち　生涯いきいき

人がつながり　人をはぐくむ　学研都市精華町

【５つの方針】

■未来を生き抜く子どもの育成

実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」をバランスよく育成し、豊かな人間性とたくましく健やかな体をはぐくむ教育を推進します。

■学研都市を活かした教育の推進

精華町の豊かな自然や万葉の時代からの歴史・文化をはじめ、学研都市の豊富な教育資源を活かした特色ある教育を推進します。

■家庭・地域社会の教育力の向上

子どもたちが深い愛情を注がれ成長できるよう、豊かな生涯学習の場づくりを進め、人と人とのつながりを大切に、家庭と地域社会の教育力の向上を支援します。

■命を守り人権を大切にする共生社会づくり

子どもの命と安全を守り、すべての人々の人権を大切にし、誰もが互いに尊重して支え合う多様性を認め合える社会の実現を目指します。

■教育の質を高める環境の整備

学校教育や生涯学習の質を高められるよう、人材の育成や、ＩＣＴを活用した新しい時代の学びを支える教育環境の整備を図ります。

目　次

精華町教育委員会

1．　精華町の概要（位置・沿革・人口推移）　…… 2
2．　精華町の教育に関する沿革　…… 3
3．　教育委員職名及び氏名　…… 5
4．　歴代教育委員長氏名　…… 5
5．　歴代教育長職務代理者氏名…… 5
6．　歴代教育長氏名…… 5
7．　歴代教育委員氏名　…… 6
8．　教育委員会事務局　…… 7
9．　教育委員会事務局事務分掌　…… 9
　1　学校教育課
　2　教育支援室
　3　生涯学習課
10.　精華町の財政　…… 10
　1　目的別歳出予算
　2　教育費の内訳

学校教育・教育支援

11.　学校教育指導の重点　…… 13
12.　教育活動推進組織　…… 18
13.　通学区域　…… 19
14.　児童･生徒数　…… 20
　1　精華町立小・中学校児童・生徒数
　2　小・中学校　児童・生徒数の推移
15.　学校の耐震化状況　…… 22

防災食育センター　…… 25

生涯学習

16.　社会教育委員　…… 31
17.　文化財保護審議会委員　…… 31
18.　スポーツ推進委員　…… 31
19.　社会教育指導の重点　…… 32
20.　社会教育事業計画　…… 34
21.　施設　…… 37
　1　体育館・コミュニティーセンター（むくのきセンター）
　2　木津川河川敷多目的広場
　3　打越台グラウンド・テニスコート
　4　池谷公園テニスコート
　5　教育集会所
22.　文化財　…… 39

図書館　…… 41

町立小・中学校

　1　精北小学校　…… 49
　2　川西小学校　…… 59
　3　山田荘小学校　…… 71
　4　東光小学校　…… 83
　5　精華台小学校　…… 95
　6　精華中学校　…… 107
　7　精華南中学校　…… 117
　8　精華西中学校　…… 129

１．精華町の概要

１．　位置と地勢

本町は、東経135°47′、北緯34°45′で京都府の南西端に位置し、西部は生駒山系に属する洪積層丘陵が南北に伸び、土地は西から東へ傾斜している。また、東端を木津川が南から北に向かって流れ、東部の平坦地を形成している。広域的には京都盆地の南端にあり、温和な気候に恵まれている。

２．　沿　革

本町の地では、古くから農耕が行われ、また木津川は輸送路として利用され、文化経済の発展に大きな役割を果たしてきた。江戸時代には多くの人々が木津川の治水や新田の開発に努力した跡がある。

明治の廃藩置県で、本町は京都府相楽郡に属し、明治22年の町村制施行で稲田村、狛田村、祝園村、山田荘村ができた。昭和６年に、このうち稲田村、狛田村、祝園村が合併して川西村となった。昭和26年には川西村と山田荘村が合併して精華村と、さらに昭和30年に町制を施行し、精華町となった。

産業は、稲作中心の農業に加えて、ビニールハウスを利用しての促成栽培やそ菜栽培などの都市近郊農業が発達してきた。また、京都、大阪、奈良、三府県の都市に極めて近く、昭和40年代には、住宅地として人口も増加してきた。

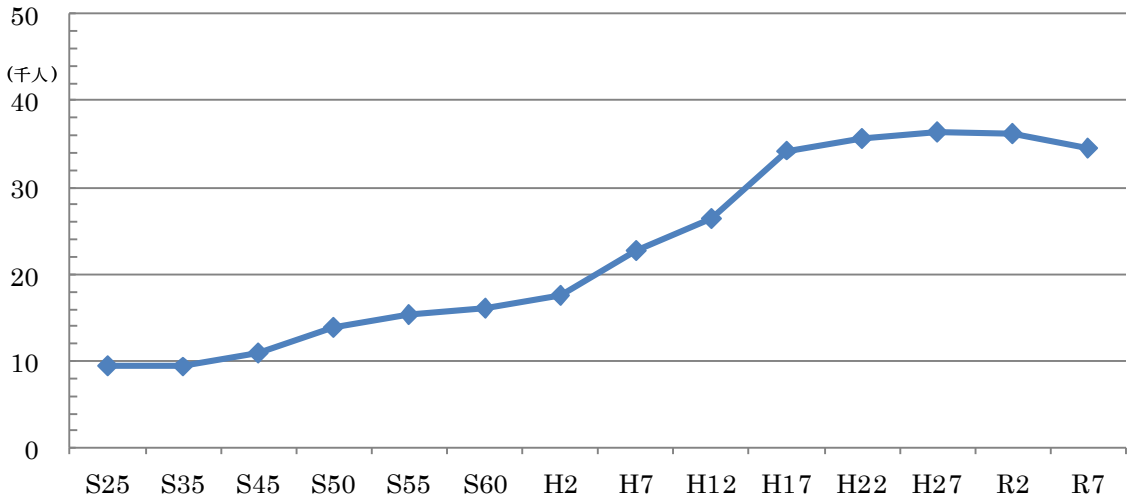
昭和53年に関西文化学術研究都市の建設が提唱されてからは、その中心地として注目を浴びており、宅地開発による人口増加とともに、企業立地も進んでおり、まさに「学研都市精華町」として成長を続けている。

古くから、平城京や平安京との文化的・経済的な関わりを結んできたこの地で今、環境共生の世にふさわしい技術開発研究が盛んに行われ、未来への新たな夢が描かれている。

３．　人口推移（国勢調査）　各年10月１日現在

年度	S25	S35	S45	S50	S55	S60	H2	H7	H12	H17	H22	H27	R2	R7
人口	9,490	9,373	10,929	13,894	15,334	16,095	17,519	22,691	26,359	34,236	35,630	36,388	36,220	34,537

令和８年５月１日現在　総人口 35,458 人（男 17,055 人　女 18,403 人）世帯数 15,598 世帯



２．精華町の教育に関する沿革

昭和	22. 3. 31	教育基本法・学校教育法公布
	23. 7. 15	教育委員会法公布
	24. 5. 19	教育委員会法一部改正にともない地方教育委員会の全面設置
	26. 4. 1	川西村・山田荘村の二村が廃村合併して精華村誕生
	4. 1	組合立精華中学校を精華村立精華中学校と改称
	27. 4. 1	精華村家政学園を開校
	28. 4. 1	精華村家政学園を精華女子高等技芸学院に改称
	29. 8. 15	川西小学校プール竣工
	30. 4. 1	町制施行、精華町となる
	30.	川西小、校舎改築により鉄筋２階建て校舎竣工
	31. 6. 30	地方教育行政の組織及び運営に関する法律公布
	10. 1	新制度による教育委員会発足
	32. 9. 1	川西小、学校給食開始
	33.	山田荘小、鉄筋二階建て校舎竣工
	34. 9. 1	山田荘小、学校給食開始
	37. 3. 31	精華女子高等技芸学院廃校
	38.	山田荘小、特別教室竣工。精華中学校プール竣工
	42.	精華中、校舎全面改築竣工
	43.	東区児童遊園地完成
	46.	川西小、南校舎三階建て増築竣工
	47.	町立体育館竣工
	48.	社会教育委員設置、精華文庫設置
	49.	社会体育振興会発足
	51.	山田荘小、増築竣工
	52.	児童館竣工
	53. 4.	精北小、新設開校
	5.	精華町立図書館設置
	54. 3.	精華中、体育館竣工・運動場拡張
	55. 3.	川西小、北便所増築
	56. 3.	川西小、給食室改築
	56.	精華中、校舎９教室増築。木津川河川敷運動公園竣工
	57. 7.	川西小、運動場拡張、体育館改築、50 周年記念
	60. 4.	町立図書館新築開始。打越台グラウンド造成工事着工
		昭和 63 年京都国体ソフトボール成年女子種目の会場に正式決定
	61. 4.	山田荘小、移転新築工事竣工と 100 周年記念行事
	62. 4. 1	打越台グラウンド、オープン記念式典
	7. 1	打越台グラウンド管理棟完成
	8. 2	京都国体リハーサル大会
	8.	精北小、６教室増築。川西小、大規模改造工事
	63. 4. 1	精華南中、新設開校
	10. 16	京都国体開催（種目　ソフトボール成年女子）
平成	元. 8.	精華中、大規模改造工事着手
	2. 3. 30	打越台テニスコート（２面）完成
	3. 4. 1	精華町体育協会発足
	3. 8.	精華中、大規模改造工事完了
	4. 8.	精華中、精華南中、コンピュータ設置
	4. 8.	川西小、大規模改造工事着手
	5. 3.	東畑分校廃校
	4.	東光小、新設開校
	6. 8.	川西小、大規模改造工事完了
	8. 4.	（仮称）精華西中、新築着工
	9. 4. 1	精華西中、新設開校

8. 8	京都総体開催（種目 男子ソフトボール競技）
10. 3. 27	山田荘小、北校舎増築工事
9.	精華中、グラウンド拡張工事
11. 7.	精北小、川西小、山田荘小、東光小、コンピュータ設置
12.	（仮称）精華台小学校新築着工
12. 11.	精北小、大規模改造（第１期）工事
13. 1. 31	町立図書館竣工
4. 1	精華台小、新設開校
4. 8	町立体育館・コミュニティーセンター（むくのきセンター）竣工
10.	精北小、大規模改造（第２期）工事
11. 6	中部地区学校図書館フォーラム分科会場 （東光小・精華西中・町立図書館・交流ホール）
14. 4. 1	完全学校週５日制実施
5. 21	精華町文化協会発足
6.	小中学校全校の普通教室に扇風機各２台、計 218 台設置
15. 4. 1	「食」に関する指導の実践モデル市町村指定（京都府教育委員会）
8. 29	精華台小、南校舎竣工（８教室）
16. 4. 1	中学校２学期制実施
4. ～	子どもの体力向上実践事業委嘱（文部科学省、３年間）
17. 3. 31	東光小学校、南校舎増築工事（６教室）
18. 2. 28	精華西中学校、南校舎増築工事（６教室）
11. 17	第 30 回近畿小学校家庭科教育研究会　京都大会開催 （東光小・山田荘小・精華台小）
20. 3.	川西小学校校舎等改築工事着工
22. 2.	精北小学校、川西小学校校舎・屋内運動場耐震改修工事完成
23. 3. 11	精華西中学校・北校舎増築工事（５教室）
23. 11. 6	国民文化祭・京都 2011（少年少女合唱フェスティバル）
24.	全小中学校の特別支援教室に空調設備、全普通教室にドライミストを設置
26. 8. 12	精華中学校校舎改築等工事着工
27. 6. 30	第一回総合教育会議開催（以降、年２～３回開催）
28. 2.	精華中学校校舎改修等工事完成
12.	地教行法一部改正による新教育委員会制度への移行
29. 12.	中学校全校の全教室に空調機設置
30. 3. 31	中学校２学期制を終了し、３学期制導入
12.	小学校全校の全教室に空調機設置
令和 2.	新型コロナウイルス感染症の感染拡大による臨時休業、以降感染防止対策等を実施（～令和５年５月）
令和 2. 2.	ＧＩＧＡスクール構想に基づく１人１台のタブレットコンピュータ（ｉＰａｄ）の導入及び全校校舎に無線ネットワーク環境の整備
2. 2.	全校普通教室及び特別教室に大型モニターの配備
3. 10.	小中学校全校のトイレ改修工事着手
令和 4. 4.	小中学校全校の学校運営協議会設置完了
5. 5.	精華町防災食育センター竣工
5. 9.	中学校給食開始
10.	部活動の地域展開実証事業開始
6. 4.	学校給食の完全無償化開始
7. 4.	小学校の 35 人学級化完了 別室登校者対応指導員を全小中学校に配置
7. 6.	小中学校水泳授業の外部民間施設への委託事業開始
7. 12.	精華町文化財保存活用地域計画　認定
8. 3.	小中学校屋内運動場の空調設備整備に着手
8. 4.	中学校全校に通級指導教室開設。これにより全小中学校で通級指導教室開設

３．教育委員職名及び氏名　（５月１日現在）

教育委員 （教育長職務代理者）	教育委員	教育委員	教育委員
松下　由明	麻生　ひろみ	久保　嘉章	高橋　典子

４．歴代教育委員長氏名

氏　名	任　期
森　田　喜　藏	S 31. 10.　1 ～ S 34.　9.　30
植　西　武　信	S 34. 10. 28 ～ S 47.　3.　31
西　村　英　雄	S 47.　4.　1 ～ S 48.　9.　25
福　味　定　雄	S 48. 12. 26 ～ S 59. 12.　21
森　島　二　郎	S 59. 12. 22 ～ S 63. 10.　18
石　津　　弘	S 63. 12. 22 ～ H　3. 12.　24
寺　嶋　和　夫	H　3. 12. 25 ～ H 12.　5.　1
杉　浦　英　子	H 12　6. 13 ～ H 16. 12.　21
西　村　嘉　和	H 16. 12. 22 ～ H 19. 12.　24
弓　矢　美　弥	H 19. 12. 25 ～ H 20. 12.　21
伊　藤　二三雄	H 20. 12. 22 ～ H 28. 12.　21

５．歴代教育長職務代理者氏名

氏　名	期　間
中　谷　廣　志	H 29.　1.　4 ～ H 29.　3.　31
松　本　秀　男	H 29.　4.　1 ～ R　2. 12.　21
松　下　由　明	R　2. 12. 22 ～　現　在

６．歴代教育長氏名

氏　名	期　間
島　川　久　夫	S 31. 10.　1 ～ S 37. 10.　6
森　本　茂　樹	S 37. 10.　7 ～ S 47.　6.　30
朝　日　信　勝	S 47.　7.　1 ～ S 52.　3.　31
松　井　寛　治	S 52.　4.　1 ～ H 元.　6.　12
林　　金　次	H 元. 10.　7 ～ H　9.　3.　22
武　田　　浩	H　9.　4. 21 ～ H 14.　3.　31
芦　田　紀　男	H 14.　4. 22 ～ H 18.　4.　21
太　田　信　之	H 18.　8. 31 ～ H 30.　9.　30
川　村　　智	H 30. 10.　1 ～　現　在

７．歴代教育委員氏名

（５月１日現在）

氏　名	在任期間
谷井伊一	S 27. 10. 5 ～ S 31. 9. 30
東村武一	S 27. 10. 5 ～ S 31. 9. 30
宇治　忍	S 27. 10. 5 ～ S 31. 9. 30
本明龍貫	S 27. 10. 5 ～ S 31. 9. 30
澤見末治	S 27. 10. 5 ～ S 31. 9. 30
島川久夫	S 31. 10. 1 ～ S 37. 10. 6
森田喜藏	S 31. 10. 1 ～ S 34. 9. 30
木村静子	S 31. 10. 1 ～ S 39. 12. 16
植西武信	S 34. 10. 22 ～ S 49. 4. 26
森本茂樹	S 37. 10. 7 ～ S 47. 6. 30
西村英雄	S 40. 2. 1 ～ S 48. 9. 25
朝日信勝	S 47. 7. 1 ～ S 52. 3. 31
島岡正三	S 47. 12. 22 ～ S 59. 12. 21
福味定雄	S 47. 12. 22 ～ S 59. 12. 21
上西　實	S 48. 12. 25 ～ S 60. 3. 29
森島二郎	S 49. 6. 25 ～ S 63. 10. 18
松井寛治	S 52. 4. 1 ～ H 元. 6. 12
大竹　鑑	S 59. 12. 22 ～ S 63. 12. 21
杉浦英子	S 59. 12. 22 ～ H 16. 12. 21
安田光弘	S 60. 3. 30 ～ H 9. 3. 29
石津　弘	S 63. 12. 12 ～ H 3. 12. 24
寺嶋和夫	S 63. 12. 22 ～ H 12. 5. 1
林　金次	H 元. 9. 26 ～ H 9. 3. 22
西村嘉和	H 3. 12. 25 ～ H 19. 12. 24
林　朝路	H 9. 3. 30 ～ H 18. 3. 31
武田　浩	H 9. 4. 21 ～ H 14. 3. 31
淺井達雄	H 12. 6. 9 ～ H 14. 10. 31
芦田紀男	H 14. 4. 22 ～ H 18. 4. 21
弓矢美弥	H 14. 12. 18 ～ H 24. 12. 21
伊藤二三雄	H 16. 12. 22 ～ H 28. 12. 21
守屋眞紀子	H 18. 4. 1 ～ H 21. 3. 29
太田信之	H 18. 8. 29 ～ H 30. 9. 30
中谷廣志	H 19. 12. 25 ～ H 30. 3. 31
大竹尚恵	H 21. 3. 30 ～ H 25. 3. 29
蓑毛惠津子	H 24. 12. 22 ～ H 28. 12. 21
細川晴美	H 25. 3. 30 ～ H 29. 3. 29
松本秀男	H 28. 12. 22 ～ R 2. 12. 21
新司英子	H 28. 12. 22 ～ R 6. 12. 21
岡島純子	H 29. 3. 30 ～ R 3. 3. 29

氏　名	在任期間
松下由明	H 30. 4. 1 ～ 現　在
井上桂一	R 2. 12. 22 ～ R 6. 12. 21
高岡いずみ	R 3. 3. 30 ～ R 7. 3. 29
麻生ひろみ	R 6. 12. 22 ～ 現　在
久保嘉章	R 6. 12. 22 ～ 現　在
高橋典子	R 7. 3. 30 ～ 現　在

８．教育委員会事務局　　（５月１日現在）

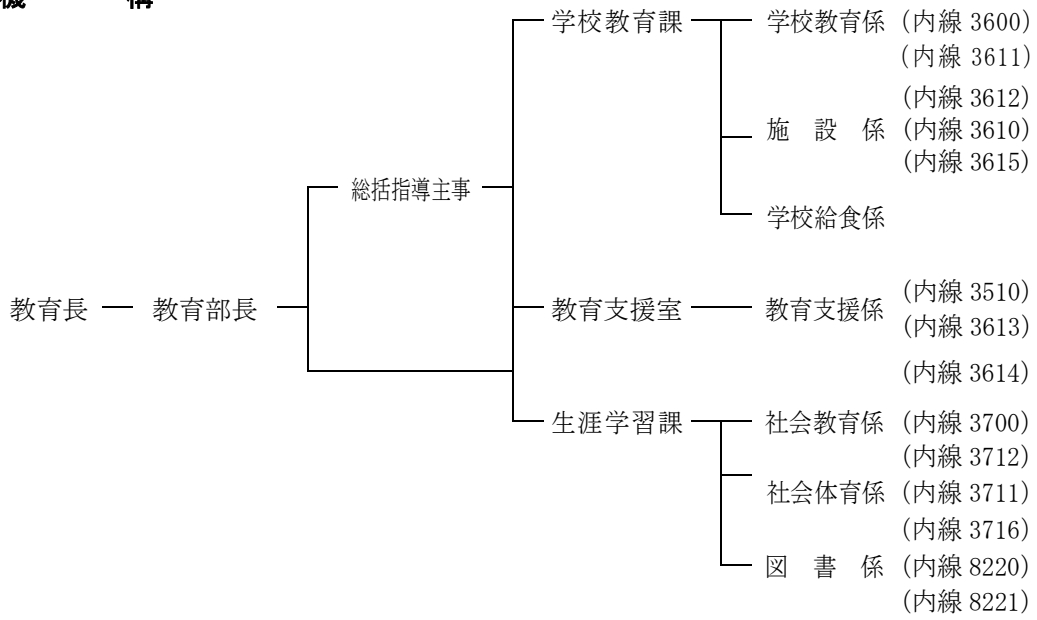
１．所　在　地　京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

２．電　　話（ＦＡＸ）

学校教育課	０７７４－９５－１９０６	（ＦＡＸ　０７７４－９４－５１７６）
防災食育センター	０７７４－６６－６１０８	（ＦＡＸ　０７７４－６６－６１０９）
教育支援室	０７７４－９５－１９２３	（ＦＡＸ　０７７４－９４－５１７６）
生涯学習課	０７７４－９５－１９０７	（ＦＡＸ　０７７４－９４－５１７６）
図　書　館	０７７４－９５－１９１１	（ＦＡＸ　０７７４－９５－３９７６）
むくのきセンター	０７７４－９８－０２００	（ＦＡＸ　０７７４－９８－０１１８）

３．ＨＰアドレス　http://www.town.seika.kyoto.jp

４．機　　構



９．教育委員会事務局事務分掌

１．　学校教育課

	業　務　内　容
学校教育係	(1)　教育委員会の会議に関すること。 (2)　教育委員会規則の制定又は改廃に関すること。 (3)　教科書、その他教材の取扱いに関すること。 (4)　公印の保管に関すること。 (5)　文書の管理に関すること。 (6)　教育委員会所掌に係る予算の編成及び執行に関すること。 (7)　教育委員会の備品の管理に関すること。 (8)　学校教育に係る調査、統計及び広報に関すること。 (9)　児童及び生徒の就学並びに就学援助、就学奨励に関すること。 (10) 児童生徒の指定学校の変更並びに通学区域の指定に関すること。 (11) 学校保健に関すること。 (12) 学校安全に関すること。 (13) 学校の環境衛生に関すること。 (14) 事務局の庶務並びに教育長及び部長の秘書に関すること。 (15) 前各号に掲げるもののほか、他の課及び係の所掌に属さない事項に関すること。
施設係	(1)　教育委員会の所管に属する学校の設置及び廃止に関すること。 (2)　学校の財産及び備品の管理に関すること。 (3)　学校施設の管理及び軽微な修繕に関すること。 (4)　その他学校施設に関すること。
学校給食係	(1)　学校給食に関すること。 (2)　防災食育センターの管理運営に関すること。

２．　教育支援室

	業　務　内　容
教育支援係	(1)　教育相談及び教育支援に関すること。 (2)　学校の組織編制、教育課程、学習指導、教育研究に関すること。 (3)　学校職員の研修に関すること。 (4)　学校職員の人事に関すること。

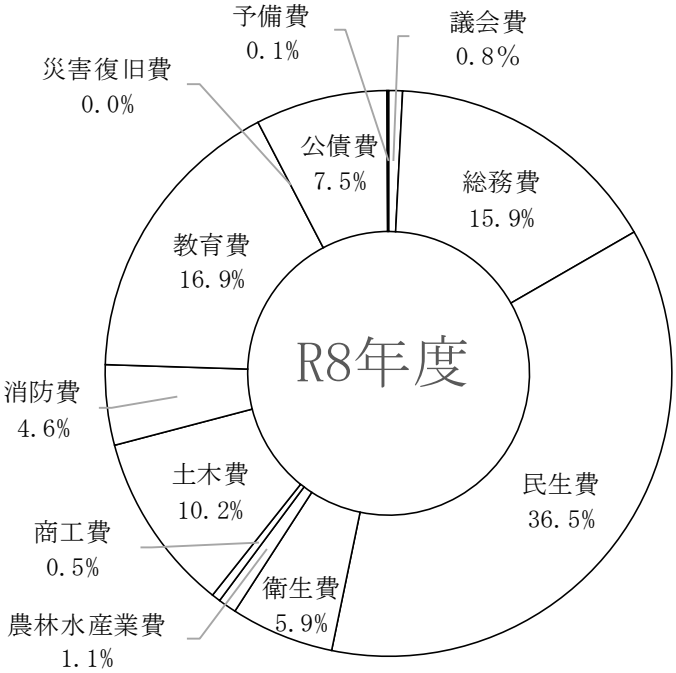
３．　生涯学習課

	業　務　内　容
社会教育係	(1)　社会教育委員、その他関係委員の委嘱並びにそれらの会議に関すること。 (2)　公民館、その他社会教育施設の設置、管理及び廃止に関すること。 (3)　社会教育関係の庶務、予算並びに物品購入の一部事務に関すること。 (4)　社会教育関係団体の指導育成に関すること。 (5)　各種学級、講座の開設及び研修会、講習会、講演会その他諸集会の開催並びにこれらの奨励に関すること。 (6)　学校施設を利用する社会教育に関すること。 (7)　社会教育に係る調査、広報に関すること。 (8)　文化事業の推進及び奨励に関すること。 (9)　文化財保護に関すること。 (10) 日本遺産に関すること。 (11) その他社会教育に関すること。 (12) 課の庶務に関すること。
社会体育係	(1)　スポーツ推進委員の委嘱並びに会議に関すること。 (2)　社会体育関係団体の指導育成に関すること。 (3)　社会体育に係る調査、広報に関すること。 (4)　各種スポーツ教室、講座の開設と指導育成に関すること。 (5)　社会体育施設の管理運営に関すること。 (6)　その他社会体育に関すること。
図書係（町立図書館）	(1)　図書館の運営に関すること。 (2)　図書館の資料の収集、保管に関すること。 (3)　図書館サービスに関すること。 (4)　図書館に係る調査・広報に関すること。 (5)　学校及びその他の機関との協力に関すること。 (6)　他の図書館との相互協力に関すること。 (7)　移動図書館に関すること。 (8)　読書推進に関すること。 (9)　その他図書館活動に関すること。

10. 精華町の財政

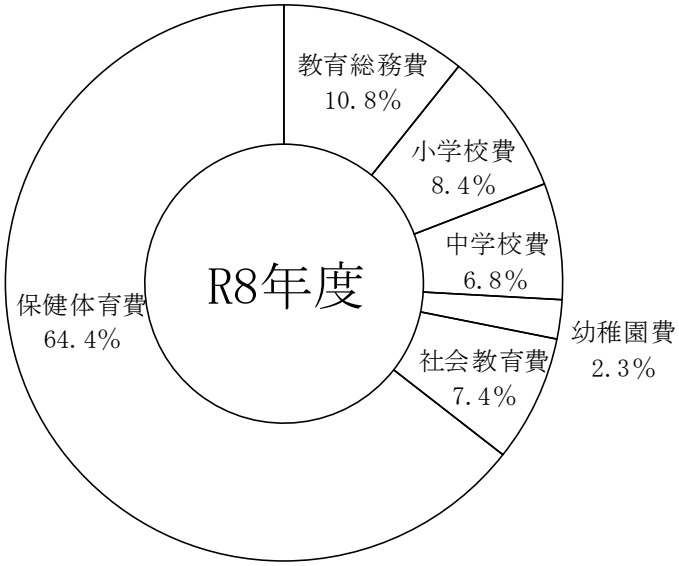
１． 目的別歳出予算（令和８年度）

項目名	金額(千円)	構 成 比
議　会　費	160,754	0.8%
総　務　費	3,248,761	15.9%
民　生　費	7,458,791	36.5%
衛　生　費	1,207,255	5.9%
農林水産業費	215,505	1.1%
商　工　費	102,575	0.5%
土　木　費	2,089,925	10.2%
消　防　費	932,983	4.6%
教　育　費	3,442,040	16.9%
災害復旧費	500	0.0%
公　債　費	1,540,911	7.5%
予　備　費	20,000	0.1%
合　　計	20,420,000	100.0%



２． 教育費の内訳（令和８年度）

項目名	金額(千円)	構 成 比
教育総務費	372,118	10.8%
小 学 校 費	290,585	8.4%
中 学 校 費	232,401	6.8%
幼 稚 園 費	77,872	2.3%
社会教育費	253,120	7.4%
保健体育費	2,215,944	64.4%
合　　計	3,442,040	100.0%



学 校 教 育

・

教 育 支 援

11. 学校教育指導の重点

はじめに

精華町の学校教育は、目まぐるしく変化する社会において、「関西文化学術研究都市」の先進的な教育環境を活用して、子どもたちが生きる未来社会に対応する教育改革に取り組み、夢をもち変化を前向きにとらえて主体的に生き抜く、創造性あふれる心豊かな人間の育成を目指すものである。

「精華町教育大綱」とこれまでの施策の成果を踏まえ、直面する諸課題に対応して、以下の事項を令和８年度の本町の学校教育指導の重点とする。

１．学校経営の基本事項

(1)　各学校では、校長のリーダーシップによる学校体制のもと、学習指導要領及び精華町教育大綱を踏まえ、実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」、未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力」、学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力」をバランス良く育成し、心豊かな人間性とたくましく健やかな体をはぐくむ教育を推進する。

(2)　各学校では、学校経営計画に、はぐくむべき資質・能力を明らかにし、カリキュラム・マネジメントの充実を図り、教育内容、指導方法の改善に努める。児童生徒にとって安心・安全な魅力ある楽しい学校を目指し、各学校の課題や特色に応じた創意ある学校経営を推進する。

(3)　ＧＩＧＡスクール構想第２期により更新された一人１台の情報端末を日常的に活用することにより、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図るとともに、オンライン教育の有効活用とＩＣＴの効果的な活用を進める。

(4)　教職員が自らの心身の健康を守り、日々の生活・人生を豊かで質の高いものとすることにより、人間性や創造性を高め、児童生徒に対して効果的な教育活動ができるよう、働き方改革を推進する。

(5)　学校運営協議会と地域学校協働本部の取組の一体的な推進を図り、地域住民による学校運営参画と、学校による地域貢献との互恵関係を築くことにより、地域社会と共に歩む開かれた信頼される学校づくりを目指す。

(6)　保育所・幼稚園・小学校・中学校相互間、ＰＴＡ・地域との連携を一層深め、子どもの学びの連続性を考慮した教育活動や、一人一人の心身の発達を踏まえた教育支援を展開する。

(7)　各学校は、安全・安心な学校給食の実施に取り組み、生きた食育の場としてその充実を図る。

２．未来を生き抜く子どもの育成

(1) 資質能力の育成を目的とした主体的・対話的で深い学びの実現と言語活動の充実

資質能力の育成を目的とした主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、「やましろ授業スタンダード」等を効果的に活用し、計画的に町内小中学校が連携した授業改善の取組を推進する。また、互いを認め合い、支え合う学習集団作りを進めることで、安心して学びに向かうことのできる学習環境整備を行う。

知的活動やコミュニケーション活動等の基盤である「言語能力」をはぐくむため、教育活動全体を通して言語活動を充実させる。

(2) 学力の充実・向上

各学校は、京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～、全国学力･学習状況調査等を活用し、児童生徒の学力・学習状況の把握や自校での授業改善の効果検証をデータと観察から行い、児童生徒の多面的な理解やきめ細やかな指導を通じて、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、個性や能力を最大限伸ばす教育を展開する。

(3) キャリア教育の推進

児童生徒が自己の特性に気付き、将来に向け生き方を考え、志や夢を持って多様な進路を主体的に選択する能力や態度を育成するよう、計画的・系統的・組織的なキャリア教育を推進する。

(4) 心の教育、道徳教育の推進

生命を大切にする心、人を思いやり尊重する心、自然を敬う心など豊かな人間性をはぐくむ「心の教育」の充実を図る。

「特別の教科　道徳」における教員の指導力量を高めることにより、「考え、議論する道徳」への質的転換を図り、児童生徒の道徳的な判断力、道徳的心情、道徳的実践意欲と態度を育てる。

(5) 生徒指導の充実

児童生徒と教職員、児童生徒同士の相互扶助的で、共感的な人間関係を醸成する。

児童生徒理解に努め、児童生徒の自発的・主体的な発達を促す発達支持的生徒指導と生徒指導上の諸課題の未然防止をねらいとする課題未然防止教育を展開することで、積極的な先手型の常態的・先行的な生徒指導の充実を図る。

家庭や関係諸機関との連携を深め、法やルールに関する教育を効果的に実施することにより、ルールやマナー、社会常識など規範意識の醸成に努める。

(6) 不登校の未然防止と課題の解決

不登校の未然防止と課題解決に向けた取組を家庭や関係諸機関と連携して総合的に推進するとともに、校内教育支援センターの効果的な活用を図る。

個々の事象においては、校内の教育相談機能を生かし、スクールカウンセラーや、まなび・生活アドバイザーの活用など状況に応じた効果的な対応を組織的に行う。

(7) 体力・運動能力の向上

新体力テストの結果を活用し、児童生徒に自己の体力や運動能力について理解させるとともに、体力・運動能力の向上を図り、生涯にわたって体育・スポーツ活動に親しむことができる資質や能力を育てる。

(8) 創造的な文化芸術活動の推進

各学校の特色、地域の伝統や文化に根ざした創造的な芸術文化活動を積極的に推進し、児童生徒の豊かな心をはぐくむとともに、地域社会との結びつきを深める。

(9) 健康教育・薬物乱用防止教育の充実

生涯にわたって、健康な心身を維持するための基本的な知識を身に付けさせるとともに、生活習慣の乱れ、メンタルヘルス、アレルギー疾患等の現代的な健康課題への理解を深め、適切に行動できるよう指導に取り組む。

危険ドラッグや大麻、市販薬の過剰服薬などの薬物乱用の防止を図る取組を推進する。

食に関する指導計画に基づき、教育活動全体を通じた食育の推進に努める。

(10) 国際理解教育の推進

我が国の伝統や文化への理解と多様性を認め合う精神を基盤にして、諸外国の伝統や文化を理解し尊重する態度を育成する。また、自らの考えをまとめたり発表したりする技能や意欲を高め、外国の人々との豊かなコミュニケーションを図る基礎的な能力を育成する。

(11) 持続可能な社会の創り手の育成

環境や様々な自然、社会の事物、現象の中から、自ら問題を見つけて解決していく課題解決的な学習や体験的な学習を実施し、持続可能な社会の創り手となる人材を育成する。

(12) ＩＣＴの効果的な活用、プログラミング教育の推進

整備された情報通信環境や児童生徒一人１台の情報端末などのＩＣＴ機器やＡＩ技術を活用したｅラーニングシステム等を効果的・効率的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びを一体的に充実させることを通して、全ての児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るとともに、創造性をはぐくむ多様な学びを推進

する。
　対面指導と遠隔・オンライン授業とを組み合わせるハイブリッド型の指導を充実させ、多様な学習の形態や学習機会を創出する。
　情報社会を生き抜くために、「プログラミング的思考」を身に付けさせるとともに、各教科等における様々な学習活動を通して、情報を収集して整理・比較したり、分かりやすく発信・伝達したり、保存・共有したりすることのできる情報活用能力を育成する。
　社会生活の中で情報や情報技術が果たしている役割や及ぼしている影響を理解させ、適切に情報社会に参画しようとする態度を育てるために、デジタル・シティズンシップ教育を推進する。その中で、生成ＡＩの授業活用を見据えて、ＡＩ倫理についても発達の段階に応じて適切に取り扱う。

(13) 主権者教育の推進
　地域学習等を通して地域とつながり、地域社会の活性化に貢献する意識と、主権者として自ら判断し行動できる資質や能力を育成する。
　中学校においては、政治や選挙制度に関する学習を通じて、社会の形成者としての資質をはぐくむ。

３．関西文化学術研究都市を活かした教育の推進

(1) 地域学習の推進
　郷土の文化や生活への親しみや愛着をもち、伝統や文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ児童生徒を育成するため、地域学習を積極的に推進する。

(2) 関西文化学術研究都市との連携推進
　「関西文化学術研究都市」の利点を活かし、「科学のまちの子どもたちプロジェクト」を通して地元の研究機関、企業等と連携を図り、理数教育やＩＣＴを活用した教育を推進する。

４．家庭・地域社会の教育力の向上

(1) 学校・家庭・地域社会の連携・協働した取組の推進
　「こどもを守る町」宣言の精神を受け継ぎ「学校運営協議会」や「地域学校協働本部事業」、「スクールヘルパー」など、学校・家庭・地域社会が連携・協働して取り組む児童生徒の健全育成を目指す活動の充実・発展に努める。

５．命を守り人権を大切にする共生社会づくり

(1) 人権教育の推進
　一人一人を大切にした教育を推進するため、教育の機会均等を図り、人権教育を教育活動全体に適切に位置付け、児童生徒の実態を的確に把握して、学力の充実・向上や希望進路の実現に努める。
　校種間の連携、学校間の交流を図り、基本的人権を尊重し、あらゆる人権問題の解決に向けて実践する態度を育成する。
　同和問題（部落差別）を人権問題の重要な柱として位置付け、同和教育の成果と手法を踏まえ、差別のないまちづくりに向けた教育実践を進める。

(2) いじめや虐待等の未然防止・早期解決
　教職員は、児童生徒が発する心のサインを鋭敏にキャッチする力量を身に付け、家庭や地域住民、関係機関との積極的な連携を図り、いじめや児童虐待等の未然防止や早期発見・再発防止に努める。
　各学校は、自他の存在を等しく認め、互いの人格を尊重し多様性を認め合える集団作りに努め、人権意識の高揚を図り、いじめを許さないという意識を高める。
　いじめ事象の対応に当たっては、「精華町いじめ防止基本方針」及び各学校の「いじめ防止基本方針」にのっとり、子どもたちの生命を守ることを最優先に、

スクールロイヤーや外部機関とも積極的に連携し、組織的に取り組む。虐待等の個々の事象の対応に当たっては、校内の教育相談機能を生かし、スクールカウンセラー、まなび・生活アドバイザーを活用し、関係機関とも連携・協働して組織的な対応を行う。

(3) 特別支援教育の推進

インクルーシブ教育システム構築のため、校内委員会や特別支援教育コーディネーターを機能的に運用し、特別支援学校に設置された地域支援センター、町内の各通級指導教室等との積極的な連携を図り、特別支援教育を推進する。

本町教育支援委員会の機能強化と保育所・幼稚園・小学校・中学校の円滑な接続により、障害のある児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた適切な指導計画と支援計画を策定し、就学前から卒業後の進路に至るまで切れ目のない特別支援教育を推進する。

授業のユニバーサルデザイン化を進め、児童生徒全員が分かる授業を展開する。

(4) 防災教育の推進

各学校は、京都府「いのちを守る「知恵」をはぐくむために」、精華町「地域防災計画」を踏まえ、その実情に即して「危険等発生時対処要領」の検証・改善を継続して進める。

児童生徒の危機対応能力を高めるため、関係機関と連携した活動等を通して自らの命を自らが守るための知識や判断力を養う教育の充実を図る。

(5) 交通安全教育等の推進

自転車の交通違反や見通しの悪い交差点の通行など、自転車の運転に伴う問題点や危険について具体的に理解させるなど、交通事故被害者にも、加害者にもならないための交通安全教育を徹底する。

関係諸機関、ＰＴＡ、地域と連携・協働し、通学路の安全確保の取組を推進する。

６．教育の質を高める環境の整備

(1) 教職員の資質の向上

教職員は、社会の変化や教育改革の動きに常に目を向け、未来社会に生きる児童生徒が身に付けるべき資質や能力とは何かを考え教育実践に取り組む。また、教職員は、教職生涯を通じて主体的に探究心を持って学び続け、時代の変化に対応する資質や能力を身に付けるよう努め、本町の学校教育を推進する。

教職員は、児童生徒に対する深い教育的愛情と鋭敏な人権感覚を持ち、児童生徒や保護者、地域住民との信頼関係を確立する。

(2) チーム学校の推進

各学校は、校内の教職員間の業務分担と協働の在り方を考え、互いを信頼し、支え合う学校風土づくりに努める。

各学校は、まなび・生活アドバイザー、スクールカウンセラー、部活動指導員、教育支援員・介助員・学校看護師など、学校を支える専門スタッフと共にチーム一丸となって効率的・効果的な学校運営に取り組む。

(3) 指導力量の継承

初任者等を対象とした本町独自の研修を実施し、校内研修や教職員評価制度の活用などを通して若手教職員の資質や指導力の向上を図る。

(4) コンプライアンス意識の向上

教職員は、京都府公立学校教職員コンプライアンス・ハンドブックを踏まえ、公立学校教職員として常に適切に判断し行動するよう努める。

(5) 教職員の働き方改革の推進

各学校は、教育職員のワーク・ライフバランスの充実と健康確保を図るため、「精華町立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画」に基づき、授業時数や学校行事など教育課程や指導体制の見直し、部活動の地域展開へ向けた意識改革を図る。また、会議、研修、事務等の精選・見直しと、協

働的・組織的な学校運営を追求するとともに、一人一人の業務能力向上を支援し、教職員の働き方改革を推進する。

校務や研修等でクラウドや生成ＡＩを活用する等、教育ＤＸを推進し、業務の効率化を図る。

12. 教育活動推進組織

精華町校長・教頭役割分担

	組　織　名	担当校長名	所属校	担当教頭名	所属校	備考
職務関係組織	校長会	重村 直志	山田荘小			小中校長会代表
		有城 義浩	精華中			
	教頭会			川﨑 敦彦	精北小	
	教務主任会	友久 庄一	東光小	西川　寿	精華西中	
	特別支援学級担任者会	叶　剛史	川西小			
	町研修推進委員会(新規採用者等)	有城 義浩	精華中	村田 竜司	精華台小	
	精華町養護教諭部会	重村 直志	山田荘小			
	医療的ケア看護師部会					担当校長教頭なし
教育研究事業推進組織	人権教育研究会	西村　訓	精華台小	田村 琴恵	山田荘小	
	部活動検討委員会	藤　秀成	精華南中			
	精華町いじめ防止実務担当者会議（生徒指導連絡会議）	有城 義浩	精華中	柴田　薫	川西小	
	学校給食委員会	重村 直志	山田荘小	川﨑 敦彦	精北小	
		仁賀 善政	精華西中	脇本 亜矢	精華南中	
	小学校体育連盟	西村　訓	精華台小	菊谷 大志	東光小	
	社会科副読本編集委員会	友久 庄一	東光小	田村 琴恵	山田荘小	
	理科教育推進委員会	仁賀 善政	精華西中			
	ＩＣＴ教育推進委員会	藤　秀成	精華南中	村田 竜司	精華台小	
	研究主任会	藤　秀成	精華南中	村田 竜司	精華台小	
対外的組織	地域で子どもを育てる連絡協議会	西村　訓	精華台小			
		仁賀 善政	精華西中			
	子ども祭り実行委員会	岡田 清恵	精北小	菊谷 大志	東光小	
		仁賀 善政	精華西中	宇野 正人	精華中	
	社会教育委員会	岡田 清恵	精北小			
	教育支援委員会	叶　剛史	川西小	宇野 正人	精華中	
	通級担当者会					
	青少年健全育成協議会	有城 義浩	精華中			
	人権啓発推進委員会	重村 直志	山田荘小			
	社会を明るくする運動精華町実施委員会	藤　秀成	精華南中			
	子どもの読書環境づくり推進協議会	岡田 清恵	精北小			
	男女共同参画審議会	重村 直志	山田荘小			
	互助組合ブロック代表			西川　寿	精華西中	
	町ＰＴＡ連絡協議会事務局			川﨑 敦彦	精北小	
	町要保護児童対策地域協議会	重村 直志	山田荘小			
	町次世代育成支援対策地域協議会	重村 直志	山田荘小			
	安全衛生委員会	有城 義浩	精華中	田村 琴恵	山田荘小	
	子ども子育て会議	重村 直志	山田荘小			

13. 通学区域

小　学　校

学校名	区　　域	
精北小学校	大字菱田	
	大字下狛	（川西小学校に含まれる区域を除く。）
	狛田一丁目	
	狛田二丁目	
	新精台一丁目	
	新精台二丁目	
	大字北稲八間	うち小字大路、小字花ツラ
川西小学校	大字下狛	うち小字片山、小字大福寺、小字堂谷、小字オワン谷、小字谷内垣外、小字鈴ノ庄、小字明法寺、小字柿添、小字十曽、小字鐘付田、小字井堀、小字十ノ坪、小字綾免田、小字前川１９番地から４６番地、下馬８３番地１から１２１番地２
	大字北稲八間	（精北小学校に含まれる区域を除く。）
	大字南稲八妻	うち小字丸山、小字森垣外１番地から１１番地３、１７番地１から２４番地５、小字埜中１４番地１から３４番地２、５６番地１から６３番地２、小字馬場脇１番地から２番地３
	大字植田	（精華台小学校に含まれる区域を除く）
	大字祝園	
	祝園西一丁目	
	大字菅井	
山田荘小学校	大字山田	
	大字乾谷	
	大字柘榴	
	桜が丘	
東光小学校	大字東畑	
	光台	
精華台小学校	大字南稲八妻	（川西小学校に含まれる区域を除く。）
	精華台	
	大字植田	うち小字深谷７０番地１から７０番地７、長利ケ谷２９番地１から２９番地８、３２番地６、３２番地７

中　学　校

学校名	区　　域	
精華中学校	精北小学校区	
	川西小学校区	
	精華台小学校区	うち大字南稲八妻
精華南中学校	山田荘小学校区	
精華西中学校	東光小学校区	
	精華台小学校区	（精華中学校に含まれる区域を除く。）

14. 児童・生徒数

１　精華町立小・中学校児童・生徒数（令和８年５月１日現在）

（児童・生徒数にフリースクール通学者含む。特は特別支援学級在籍児童・生徒数で再掲。特クは特別支援学級数で外数）

学校名		1年			2年			3年			4年			5年			6年			合計			
		児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	児童数	特	学級数	特ク
精北小	男	20	2		23	2		36	5		24	2		32	3		27	6		162	20		
	女	25	2	2	23	3	2	31	1	2	31	2	2	28	0	2	39	3	2	177	11	12	7
	計	45	4		46	5		67	6		55	4		60	3		66	9		339	31		
川西小	男	40	1		40	1		27	1		40	4		44	1		49	2		240	10		
	女	26	3	2	31	2	2	28	1	2	47	0	3	34	1	3	30	1	3	196	8	15	4
	計	66	4		71	3		55	2		87	4		78	2		79	3		436	18		
山田荘小	男	20	2		18	1		21	2		21	4		21	1		11	0		112	10		
	女	22	1	2	28	2	2	22	1	2	23	0	2	29	0	2	27	3	1	151	7	11	4
	計	42	3		46	3		43	3		44	4		50	1		38	3		263	17		
東光小	男	23	0		23	0		25	3		30	0		31	1		40	1		172	5		
	女	28	1	2	30	0	2	29	0	2	27	1	2	33	1	2	33	1	2	180	4	12	3
	計	51	1		53	0		54	3		57	1		64	2		73	2		352	9		
精華台小	男	18	2		33	3		38	3		38	2		39	0		35	2		201	12		
	女	23	0	2	23	0	2	33	1	2	33	0	3	51	1	3	48	2	3	211	4	15	3
	計	41	2		56	3		71	4		71	2		90	1		83	4		412	16		
合計	男	121	7		137	7		147	14		153	12		167	6		162	11		887	57		
	女	124	7	10	135	7	10	143	4	10	161	3	12	175	3	12	177	10	11	915	34	65	21
	計	245	14		272	14		290	18		314	15		342	9		339	21		1,802	91		

学校名		1年			2年			3年			合計			
		生徒数	特	学級数	生徒数	特	学級数	生徒数	特	学級数	生徒数	特	学級数	特ク
精華中	男	75	3		71	1		76	3		222	7		
	女	63	1	4	60	0	4	68	1	4	191	2	12	3
	計	138	4		131	1		144	4		413	9		
精華南中	男	20	1		24	1		25	0		69	2		
	女	20	0	1	23	0	2	28	1	2	71	1	5	2
	計	40	1		47	1		53	1		140	3		
精華西中	男	57	2		87	3		79	1		223	6		
	女	57	0	3	73	1	4	70	1	4	200	2	11	2
	計	114	2		160	4		149	2		423	8		
合計	男	152	6		182	5		180	4		514	15		
	女	140	1	8	156	1	10	166	3	10	462	5	28	7
	計	292	7		338	6		346	7		976	20		

２　精華町立小・中学校　児童・生徒数の推移（各年度５月１日調べ）

小学校				中学校				備　　考
年度	学校数	学級数	児童数	年度	学校数	学級数	生徒数	（学校開校等）
Ｓ40	2	30	865	Ｓ40	1	14	449	Ｓ22．川西村、山田荘村、相楽村三か村組合立精華中学校開校 Ｓ26．川西村、山田荘村合併による精華村立精華中学校 Ｓ53．精北小学校開校
50	2	37	1,243	50	1	12	430	
55	3	51	1,762	55	1	16	557	
60	3	50	1,628	60	1	23	866	
61	3	46	1,486	61	1	22	862	Ｓ61．山田荘小学校新築移転
62	3	46	1,449	62	1	23	856	
63	3	49	1,449	63	2	22	851	Ｓ63．精華南中学校開校
Ｈ元	3	50	1,485	Ｈ元	2	22	823	
2	3	50	1,434	2	2	23	810	
3	3	48	1,402	3	2	24	801	
4	3	49	1,412	4	2	24	771	
5	4	52	1,391	5	2	23	782	Ｈ５．東光小学校開校
6	4	51	1,449	6	2	22	737	
7	4	56	1,614	7	2	23	806	
8	4	56	1,690	8	2	22	789	
9	4	55	1,704	9	3	27	838	Ｈ９．精華西中学校開校
10	4	56	1,742	10	3	25	823	
11	4	55	1,752	11	3	25	816	
12	4	59	1,734	12	3	26	834	
13	5	67	1,951	13	3	28	850	H13．精華台小学校開校
14	5	75	2,170	14	3	29	885	
15	5	80	2,343	15	3	27	883	
16	5	84	2,472	16	3	29	897	
17	5	87	2,600	17	3	32	943	
18	5	94	2,771	18	3	32	973	
19	5	95	2,777	19	3	35	1,034	
20	5	94	2,818	20	3	37	1,050	小学校児童数のピーク
21	5	96	2,819	21	3	39	1,136	
22	5	98	2,811	22	3	38	1,167	
23	5	99	2,732	23	3	42	1,231	
24	5	97	2,644	24	3	43	1,283	
25	5	97	2,588	25	3	43	1,287	中学校生徒数のピーク
26	5	98	2,499	26	3	43	1,282	
27	5	98	2,439	27	3	41	1,227	
28	5	95	2,356	28	3	42	1,222	
29	5	95	2,366	29	3	41	1,138	
30	5	95	2,265	30	3	38	1,102	
Ｒ元	5	93	2,220	Ｒ元	3	39	1,078	
2	5	91	2,186	2	3	38	1,057	
3	5	90	2,130	3	3	40	1,032	
4	5	87	2,110	4	3	39	1,023	
5	5	86	2,016	5	3	38	1,013	
6	5	90	1,979	6	3	35	976	
7	5	85	1,901	7	3	34	948	
8	5	76	1,802	8	3	34	914	

15. 学校の耐震化状況

学 校 名	建物区分	校 舎 名	建築年度	耐震基準	現 Is 値	備　考
精北小学校	校　舎	北 校 舎	昭和 52 年度	旧耐震	1.01	平成 12 年度耐震補強済 補強前の Is 値 0.31
	校　舎	南 校 舎	昭和 52 年度	旧耐震	1.06	平成 12 年度耐震補強済 補強前の Is 値 0.52
	校　舎	新 校 舎	昭和 63 年度	新耐震	－	
	屋　体	屋内運動場	昭和 52 年度	旧耐震	1.92	平成 21 年度耐震補強済 補強前の Is 値 0.13
川西小学校	屋　体	屋内運動場	昭和 57 年度	新耐震	0.94	屋根がＰＣ版のため耐震診断を実施。 平成 21 年度耐震補強済　補強前の Is 値 0.34
	校　舎	新 校 舎	平成 21 年度	新耐震	－	
山田荘小学校	校　舎	北 校 舎	平成 9 年度	新耐震	－	
	校　舎	昇 降 口	平成 9 年度	新耐震	－	
	校　舎	中 校 舎	昭和 60 年度	新耐震	－	
	校　舎	南 校 舎	昭和 60 年度	新耐震	－	
	屋　体	屋内運動場	昭和 60 年度	新耐震	0.71	屋根がＰＣ版のため耐震診断を実施。 平成 25 年度耐震補強済　補強前の Is 値 0.41
東光小学校	校　舎	管 理 棟	平成 4 年度	新耐震	－	
	校　舎	特別教室棟	平成 4 年度	新耐震	－	
	校　舎	普通教室棟	平成 4 年度	新耐震	－	
	校　舎	普通教室棟	平成 16 年度	新耐震	－	
	屋　体	屋内運動場	平成 4 年度	新耐震	－	
精華台小学校	校　舎	西 校 舎	平成 12 年度	新耐震	－	
	校　舎	中 校 舎	平成 12 年度	新耐震	－	
	校　舎	南 校 舎	平成 12 年度	新耐震	－	
	校　舎	東 校 舎	平成 12 年度	新耐震	－	
	校　舎	北 校 舎	平成 12 年度	新耐震	－	
	校　舎	新東校舎	平成 15 年度	新耐震	－	普通教室８教室等増築
	校　舎	新　　館	平成 20 年度	新耐震	－	特別支援教室２教室増築
	屋　体	屋内運動場	平成 12 年度	新耐震	－	

学 校 名	建物区分	校 舎 名	建築年度	耐震基準	現Is値	備　考
精華中学校	校　舎	新 校 舎	平成27年度	新耐震	－	
	屋　体	屋内運動場	昭和53年度	旧耐震	0．91	平成19年度耐震補強済 補強前のIs値0.296
精華南中学校	校　舎	南 校 舎	昭和63年度	新耐震	－	
	校　舎	中 校 舎	昭和63年度	新耐震	－	
	校　舎	北 校 舎	昭和63年度	新耐震	－	
	屋　体	屋内運動場	昭和63年度	新耐震	－	
精華西中学校	校　舎	南 校 舎	平成8年度	新耐震	－	
	校　舎	北 校 舎	平成8年度	新耐震	－	
	校　舎	東 校 舎	平成8年度	新耐震	－	
	校　舎	西 校 舎	平成8年度	新耐震	－	
	校　舎	音 楽 棟	平成8年度	新耐震	－	
	校　舎	新南校舎	平成17年度	新耐震	－	普通教室６教室増築
	校　舎	新北校舎	平成22年度	新耐震	－	普通教室４教室、特別教室１教室増築
	屋　体	屋内運動場	平成8年度	新耐震	－	

耐震診断について

文部科学省が阪神・淡路大震災後、平成６、７年度に「文教施設の耐震性能等に関する調査研究」において行った文教施設の被災度調査の結果によると、比較的大きな被害を受けた施設では、新耐震基準施行（昭和56年６月１日）以前に建築された建物の損傷割合が大きく、その中でもとりわけ旧耐震基準施行（昭和46年１月１日）以前に新築された建物については大きな被害を被っています。

逆に、新耐震基準施行後の建物については、さほど大きな被害が出なかったことが分かっています。そのため、耐震診断実施は、新耐震基準施行以前の建物が対象となります。なお、特別な理由等で耐震性能が劣ると考えられる建物については、耐震診断対象建物となります。

Is値（構造耐震指標）とは

①建物の強度、②建物形状、③経年劣化の原因から決まる建物の耐震性能を表す指標です。

Is値に係る指標について

Is＜0.3	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が高い
0.3≦Is＜0.7	地震に対して倒壊または崩壊する危険性がある
0.7≦Is	地震に対して倒壊または崩壊する危険性が低い

防災食育センター

１.精華町防災食育センター

⑴　施設概要
所 在 地　相楽郡精華町大字南稲八妻小字丸山４番地２
施　　設　延床面積1,098.27㎡（１階668.72㎡　２階 410.71㎡　附属棟18.84㎡）

⑵　給食調理能力
システム　ドライシステム
調理能力　1,550食/日
提 供 校　中学校３校
輸　　送　応急給食配送車３台
　　コンテナ　食器用５台　食缶用５台　計10台
使用食器　ＰＥＮ樹脂（ポリエチレンナフタート）食器　４種類

２．防災食育センターの沿革

令和5.	5.	19	精華町防災食育センター竣工
	5.	24	竣工式挙行
	7.	12	炊飯訓練実施
	7.	18,19	配膳シミュレーション実施
	8.	7,11	給食調理リハーサル及び試食会実施
	9.	1	精華町立中学校給食開始
令和6.	4.	1	学校給食の完全無償化開始
	11.	22	災害時における給食支援事業に関する協定締結

３．防災食育センター運営方針

精華町学校給食基本構想に基づき、小学校から中学校までの９年間を通じる一貫した食育の「生きた教材」となる学校給食の運営のうち、町立中学校への給食の実施を担います。

また、災害時は被災者への食料供給を行う防災の拠点として炊き出しが可能な施設設備を備え、非常食の備蓄を行います。また、調理した非常食を町内の避難所等へ配送します。

更に、食育に関する学習や実践を行うことができるよう、見学展示スペースや共同調理場、会議スペースを利用し、情報の発信や事業の実施を通じて食育を推進します。

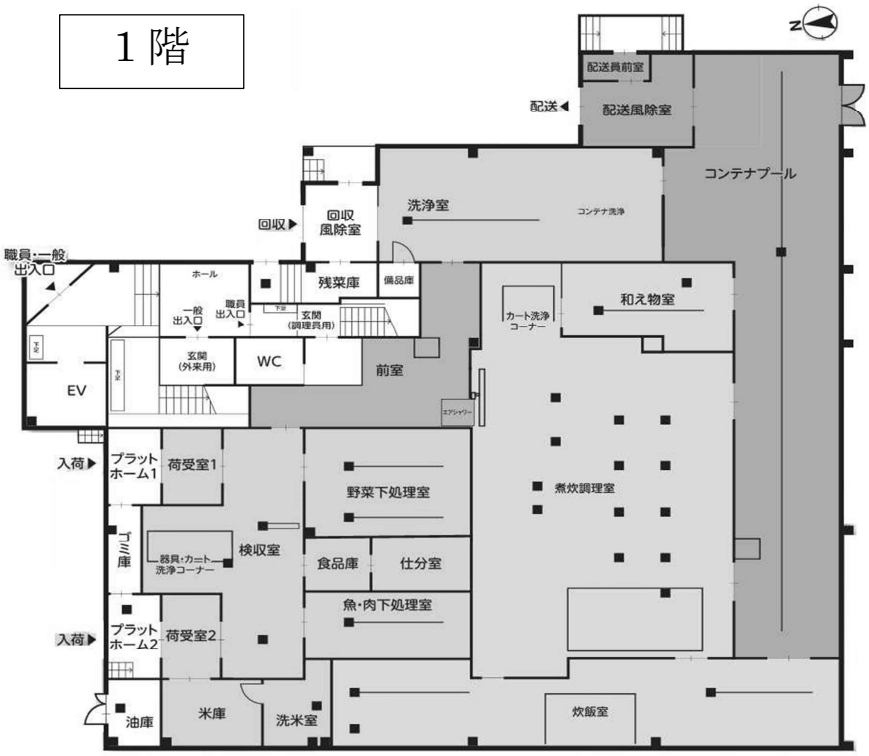
４．給食内容

調理品目　１献立制　食物アレルギー対応調理
調理食数　約1,030食（中学校３校）
調理稼働日数　186日/年

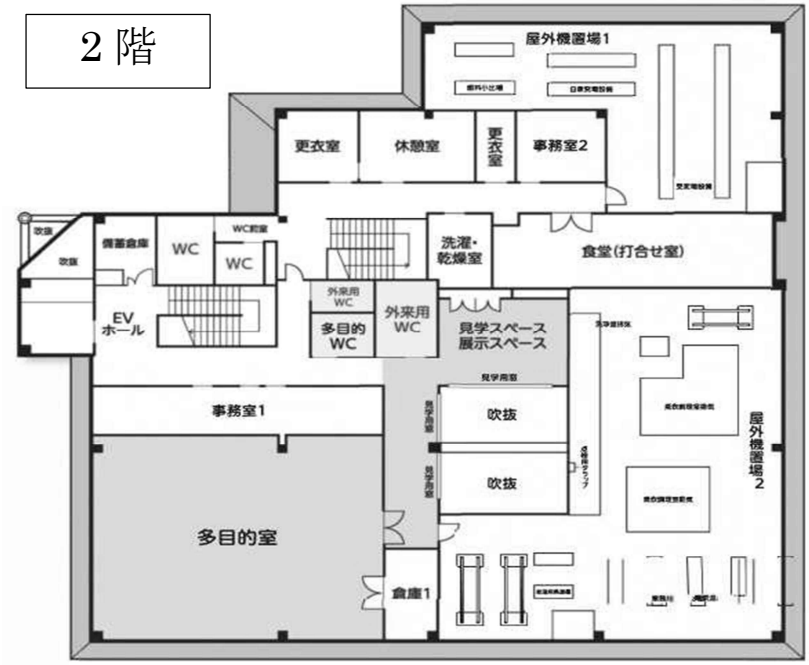
５．給食調理等運営方法

調理配送等業務　民間委託
委託内容　食材検収、調理、配送、配膳(配膳室及び教室までの運搬)、回収、洗浄、残渣計量及び処理、厨房内清掃等

1 階



2 階



防災食育センター

生 涯 学 習

16. 社会教育委員

（任期　令和8年4月1日 ～令和10年3月31日）

委員長　村上　栄	委　員　髙鍋房美	委　員　吉田一雄
副委員長　丸山琴羽	尾﨑麻由美	向井麻美
	堀口紀代美	中塚信江
	播磨富士子	高岡いずみ
	尾﨑万佐子	岡田清恵

17. 文化財保護審議会委員

（任期　令和8年4月1日 ～令和10年3月31日）

会　長　上杉和央	委　員　吉田一雄	委　員　田中淳一郎
	今田賢司	澤田守生

18. スポーツ推進委員

（任期　令和8年4月1日 ～令和10年3月31日）

委員長　杉嶋秀美	委　員　渡邊さわ子	委　員　大森一美
副委員長　中川清史	武元敬子	小田もみじ
副委員長　小川昂毅	小山内香菜	松浦寛二
	浅尾博文	

19. 社会教育指導の重点

はじめに

グローバル化、高度情報化、科学技術の高度化や急速に進む少子高齢化などの現代社会の変化とともに、住民の学習ニーズは多様化している。誰もが、いつでもどこでも、多様な方法で生涯にわたり主体的に学び続け、自己実現に向けて学んだ成果を生かすことのできる生涯学習社会を築くことが望まれる。

精華町教育委員会は、「精華町教育大綱」やこれまでの施策の成果を踏まえ、世代を越えて人がつながる地域づくりと住民の自発性・自主性を尊重した学習活動を支援することを柱として以下の事項を社会教育指導の重点とする。

１．未来を生き抜く子どもの育成

(1)　学校教育と社会教育の連携・協働

学校教育と社会教育の連携・協働の視点を大切にし、変化する社会に対応する推進体制を整備し、幅広い分野にわたる社会教育事業の計画的な推進を図る。

(2)　基本的な生活習慣の確立

心身の健康と豊かな人間性をはぐくむため、食習慣をはじめとする基本的な生活習慣の確立の重要性について理解促進に努める。

２．関西文化学術研究都市を活かした教育の推進

(1)　教育資源の活用

関西文化学術研究都市の教育資源を活かし、先進的な科学技術等を学ぶ活動を推進して、住民の知的好奇心や探究心に応える。

(2)　歴史・文化を学ぶ活動の推進

精華町文化財保存活用地域計画に基づき、精華町の豊かな自然、歴史、貴重な文化財、古くからの生業や暮らしに根ざす地域文化、関西文化学術研究都市に生まれた新しい産業やまちの姿についてなど、住民の多様な学びを推進する。

(3)　デジタルミュージアムの充実

デジタルミュージアムの充実を図り、ふるさと精華についての発見や情報発信に努める。

３．家庭・地域社会の教育力の向上

(1)　安全・安心な居場所づくりへの支援

「地域学校協働本部」、「精華まなび体験教室」、「コミュニティ・スクール」などの学校と地域社会が協働した取組の推進と、「放課後児童クラブ」と連携した子どもの体験活動や学習活動などを推進し、人と人とのつながりを大切に、社会総がかりで、安全・安心な子どもの居場所づくりに取り組む。

(2)　学校部活動の地域展開

少子化が進む中、子どもたちが継続して文化・スポーツに親しむ機会を確保するため、学校部活動の地域展開に取り組み、文化・スポーツ団体との連携を図り、地域における持続可能で多様な環境整備を進める。

(3)　子どもの読書環境整備の推進

町立図書館は、「子どもの読書環境整備５か年計画（第５次）」に基づき、乳幼児期から青少年にいたるまで、家庭、保育所・幼稚園・学校、地域ボランティア団体等と連携して、読書に親しみ、生涯にわたる読書習慣を身に付けることができるよう、絵本を通じた親子のふれあいなど、子どもの読書環境を整備する。

(4)　家庭の教育力の向上

家庭の教育力の向上を図るために、人と人とのつながりを大切に、学校、地域社会及び関

係機関・団体と連携しながら、家庭教育に関する情報や学習機会の提供に努めるとともに、ＰＴＡ活動や地域学校協働本部事業への参加の促進や、家庭からの相談に応じるサポート体制の充実などに努める。

４．命を守り、人権を大切にする共生社会づくり

⑴　人権教育の推進

一人一人の尊厳と人権が尊重され、多様性を認め合うことができる社会の実現を目指し、同和問題（部落差別）をはじめとするあらゆる人権問題の解決に向け、住民部人権啓発課と連携し、様々な世代の住民が人権尊重を日常生活の習慣として身に付け、実践することができるよう、学習活動を推進する。

⑵　共生社会の実現

ノーマライゼーションの理念を踏まえ、障害のある人についての正しい理解と認識を深めるための学習機会を提供する。

また、障害の有無に関わらず、地域社会での学習活動や、文化・スポーツ活動に等しく参加できるよう、機会の確保と取り組み方の工夫に努める。

⑶　社会総がかりの取組の推進

いじめ、虐待、体罰、子どもの貧困等の子どもを取り巻く諸課題の解決に向けて、学校、家庭、地域社会、関係機関・団体が連携・協働した社会総がかりの取組を推進する。

⑷　男女共同参画の推進

精華町男女共同参画推進条例に基づき、女性の自立と社会参画を促す学習活動を推進することにより、男女共同参画の推進に関する正しい理解と認識を深めるとともに、女性リーダーの育成に努める。

５．教育の質を高める環境の整備

⑴　指導者の確保と研修

住民の生涯にわたる学習活動を充実させるために、各社会教育団体の担い手、指導者、ボランティアの確保や資質向上の取組を支援する。

⑵　「むくのきセンター」の活用

社会教育施設である「むくのきセンター」を文化・スポーツ活動の拠点とし、様々な活動機会を提供する。

⑶　生涯学習講座の充実

幅広い世代を対象にした生涯学習講座を通じて、楽しみや生きがい、仲間づくりなどのきっかけを提供する取り組みを推進する。

また、町文化協会と連携し、「せいか文化フェスティバル」など文化活動の充実を図る。

⑷　生涯スポーツの振興

町民の健康で生き生きとしたスポーツライフを実現するため、町スポーツ協会と連携し、「せいか健康・スポーツ交流フェスティバル」などの総合的な体育・スポーツ大会の開催や、各種スポーツ教室の開催などにより、生涯スポーツの振興を図る。

⑸　町立図書館機能の充実

町民の自主的な学習と文化活動をサポートし、生涯学習を支える拠点として一層の機能を発揮するよう、町立図書館の充実を目指す。また、地域を巡回する移動図書館車の運用により、高齢者や障害のある人、子育て世代の家庭などの読書活動を支援する。

20. 社会教育事業計画

１．生涯学習事業

(1)　青少年教育事業（青少年教育の充実）

①　精華まなび体験教室

小学校等の施設を活用し、学習・スポーツ・文化活動及び地域住民との交流を通じて、子どもたちを心豊かで健やかに育てるとともに、子どもたちの自主性、社会性、創造性を養う。町内５小学校区で実施。

②　障害児週末支援事業

特別支援学校生、特別支援学級生、通級指導教室（ことばの教室）利用児（利用経験のある児童生徒を含む）及び兄弟を対象に、ふれあい体験教室を行う。

(2)　生涯学習講座（学習活動の充実）

学ぶことへの意欲と喜びを持ち続け、積極的な社会参加を行っていくための生涯知識の涵養を目的として、子どもから大人まで参加できる講座を実施。町内在住・在勤の方を対象に、講演や実習、などを開催予定。

(3)　女性講座（女性リーダーの育成）

精華女性の会との共催であり、精華女性の会が企画立案から運営までを行う事業。町内在住・在勤の女性を対象に、講演や実習などを開催予定。

(4)　視覚・聴覚障害者講座（視覚・聴覚障害者社会参加活動の充実）

町内在住・在勤の視覚・聴覚障害者を対象に、社会見学などを通じて参加者同士の交流を図る。

２．教育集会所学習支援事業

児童・生徒の学校外の学習支援として、教育集会所において「自主学習会」を実施する。

３．文化・スポーツ表彰制度

精華町の文化・スポーツの振興と発展を推進し、住民の文化・スポーツに対する意識の高揚を目指して、各分野においてその活動と功績が著しい者又は団体を表彰する。

４．社会体育事業

(1)　スポーツ推進委員活動

目　　的　　町民のスポーツ振興に関し、実技の指導等を行いスポーツ活動の促進を図る。

行　　事　　ほほえみスポーツ広場（月１回、むくのきセンターアリーナを開放）
スポーツ推進委員派遣事業（自治会や地域団体等の行事でスポーツ関係の指導等）

(2)　指定管理者制度による、むくのきセンター及び体育施設等の管理・運営

指定管理者　　特定非営利活動法人精華町スポーツ協会・三幸株式会社

目　　的　　民間活力を活かし、町民のスポーツ振興及び健康の増進・文化活動の発展を図ると共に適切な施設の維持管理を行う。

事　　業　　施設の貸し出しに係る受付案内、利用調整、利用指導
むくのきセンター及び体育施設の保守点検・維持管理業務

(3)　各種事業

目　　的　　生涯スポーツとしての体育・レクリエーションの技術向上をめざすなかで、特定非営利活動法人精華町スポーツ協会と連携して町民の健康保持増進と親睦を図り、新たな町民の輪を広げることを目指す。

行　　事

総合スポーツフェスティバル	４月～10月
健康・スポーツ交流フェスティバル	10月
歩こう会	５月・11月
わくわくスポーツ体験	７月～９月

５．青少年健全育成協議会

目　　的　　家庭・学校及び社会との密接な連携のもとに、青少年の健全な育成を図り、望ましい環境を整え非行を防止し、子どもたちの豊かな心情の発展に寄与する。

事　　業　街頭啓発活動、防犯ブザーの配布、標語募集　他

組　　織　地域委員（自治会から推薦された委員）
協力委員（機関及び団体の代表）
町議会　教育委員　社会教育委員　人権擁護委員
小・中学校ＰＴＡ　保護司　小・中・高等学校　保育所・幼稚園
民生児童委員協議会　スポーツ協会　更生保護女性会　女性の会
消防団　社会福祉協議会　木津防犯推進委員協議会

役　　員

会　　長	尾﨑　万佐子
副 会 長	福 味　定　有 城　義 浩
会　　計	小笠原　文紘
監　　査	佐久間　邦彰　井 上　好
幹　　事	上記役員以外の各支部長

６．文化財愛護会

目　　的　　郷土の歴史や文化財の調査・研究・保存及びその活用を推進し、広く町民の文化的向上に貢献する。

行　　事　　古文書講習会12回、講演会２回、研修会１回、会誌編集１回、他

組　　織　目的に賛同する精華町住民にて構成する。

役　　員

会　　長	佐久間　隆司
副 会 長	古 瀬　治 男　前田　眞千代
幹　　事	清 水　泰 律　西 野　篤　阪 本　憲 司
	斉 藤　祥 子　谷 奥　吉 康
会　　計	子 谷　朝 子
監　　査	岡 田　敦 子　齋 藤　光 子
支 部 長	８名

７．文化協会

目　　的　　生涯学習の推進と住民の文化の充実・発展及び住民相互の交流を促進し、もって町民の文化意識の向上を図る。

行　　事　せいか文化フェスティバル『合同美術工芸展』　　１０月
せいか文化フェスティバル『舞台部門発表会 他』　　１０月
文化協会だより 発行　　3月

組　　織　精華町内で活動し、文化協会の目的に賛同する文化団体をもって構成する。

役　　員　会　　長　荒堀　和子
副 会 長　濱崎　一規　井澤　孝子
会　　計　新　謙二
事務局長　南　史生
事務局次長　平田　清司
監　　事　清水　純子　白箸　治子
理　　事　5名

８．子ども祭り（せいか祭り）

「こどもを守る町」宣言や教育大綱の趣旨を踏まえ、子どもが楽しみながら体験・学習できる機会（体験コーナーやステージ発表など）を提供する。あわせて世代を超えた人と人との交流を通して、文化・芸術を伝承する機会とする。

11月にけいはんなプラザにて開催。

９．地域学校協働本部事業

幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指す。町内３中学校区に地域学校協働活動推進本部を設置し、地域コーディネーターが中心となって、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して、様々な活動を行う。

10. 二十歳のつどい

民法改正に伴い成人年齢が18歳に引き下げられたが、慣習的に大人の仲間入りをする区切りでもあることから、地域とのつながりや郷土愛を深めるとともに、社会参加や職業的自立に対しての自覚を高め決意を新たに抱く機会とするため開催。

また、公募により二十歳のつどい実行委員会を結成し、式典の自主運営を行う。

11. 少年少女合唱団

精華町少年少女合唱団は、「精華町を元気な子どもたちの歌声が響く町にしたい」という町民の想いから、２００７年（平成１９年）に誕生した。町内の小・中学生を対象に、音楽活動を通して豊かな情操を育み、協調性や表現力を身につけることを目的として設立され、地域に根ざした文化活動の一環として活動している。

団員は、毎週土曜日に定期的な練習を行い「ふれあいまつり」や「二十歳のつどい」などの町内行事、さらに「京都こども合唱祭」などの府内イベントにも参加している。また、毎年３月には定期演奏会を開催し、１年間の練習の成果を地域の方々に披露している。

合唱団は、音楽を通じて子どもたちが仲間と協力し合う大切さを学び、地域文化の継承と発展に寄与することを目指している。

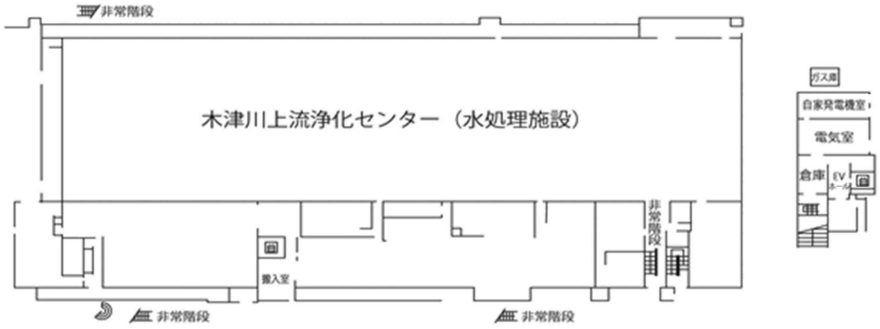
21. 施　設

１.体育館・コミュニティーセンター（むくのきセンター）

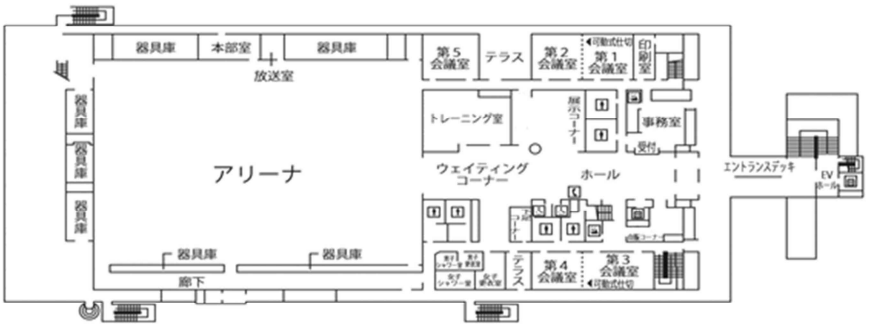
所在地　相楽郡精華町大字下狛小字神ノ木８番地

施　設　１階 368㎡　２階 4,092㎡　３階 1,938㎡　４階 1,212㎡　計 7,610㎡
（地下含む）　（塔屋含む）

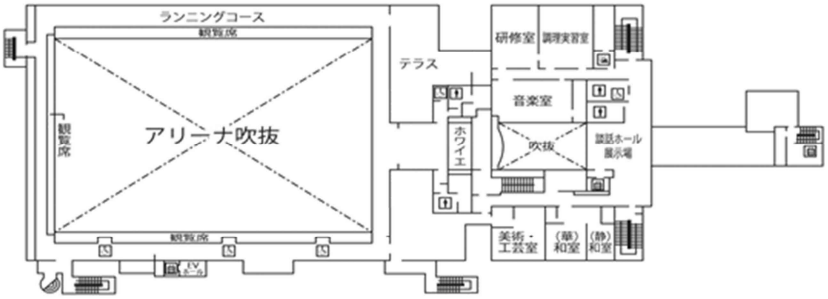
２階アリーナ　バスケットボール　２面　バレーボール　３面
バドミントン　10面　卓球　20台



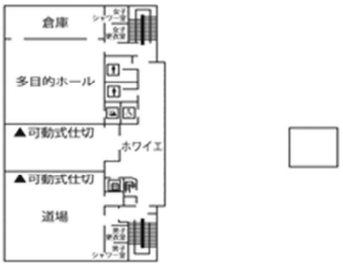
１Ｆ
平面図



２Ｆ
平面図



３Ｆ
平面図



４Ｆ
平面図

２．木津川河川敷多目的広場

所在地　　相楽郡精華町大字下狛小字神ノ木地先東方

施　設　　多目的広場１面

３．打越台グラウンド・テニスコート

所在地　　相楽郡精華町大字北稲八間小字打越

施　設　　多目的グラウンド 11,382㎡（夜間照明あり）　テニスコート ２面（夜間照明あり）

４．池谷公園テニスコート

所在地　　相楽郡精華町桜が丘二丁目21番地１

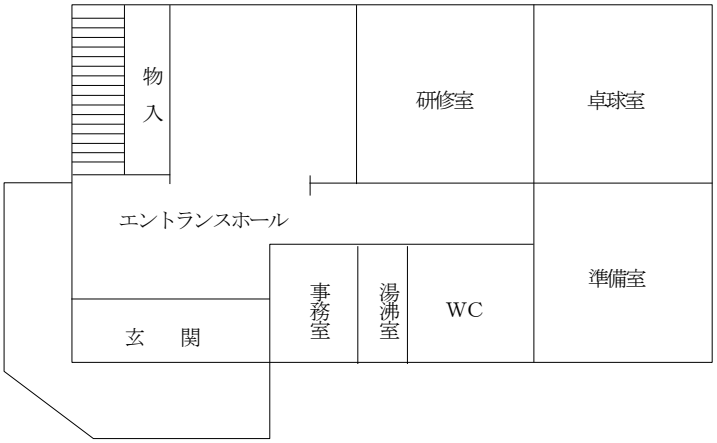
施　設　　テニスコート２面

５．教育集会所（児童館の２階）

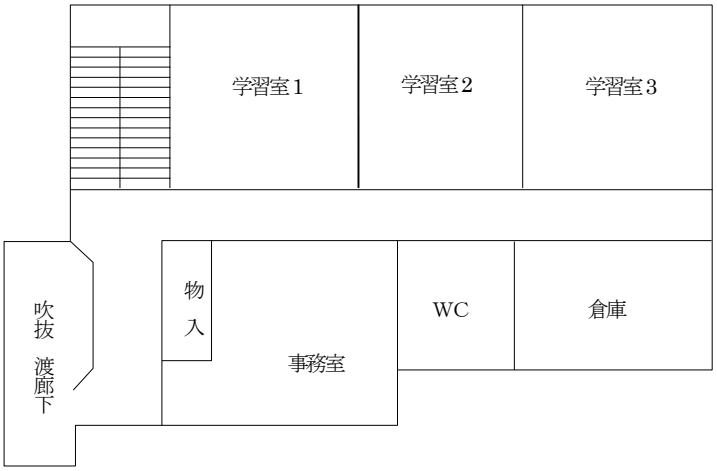
所在地　　精華町大字祝園小字佃６番地１　　ＴＥＬ　0774－94－5679

地域住民の教育活動を通じ、地域住民の自立意識高揚のための啓発と教育文化水準の向上を図り、教育に関する諸活動を行う。

１Ｆ　児　童　館



２Ｆ　教育集会所



22. 文化財

１．国指定文化財（重要文化財）

名称	種類	内容	時代	所在地
春日神社本殿 （附　棟札２枚 旧向拝頭貫１組）	有形	入母屋造・檜皮葺	室町時代初期	菱田　宮川原
新殿神社十三重塔	有形	石造十三重塔	室町時代 延徳3(1491)年銘	山田　医王寺
常念寺木造菩薩形立像	有形	像高　1,690㎜	平安時代初期	祝園　神木段
若王寺木造智証大師坐像	有形	像高　855㎜	平安時代後期	下狛　林前

２．府指定文化財

名称	種類	内容	時代	所在地
新殿神社本殿 （附　棟札１枚）	有形	一間社流造・銅板葺	室町時代 天文16(1547)年棟札	山田　医王寺
新殿神社末社八王子社	有形	一間社春日見世棚造・銅板葺	室町時代	山田　医王寺
極楽寺梵鐘	有形	総高　790㎜ 鋳銅製	鎌倉時代 応長2(1312)年銘	柘榴　垣内
祝園の居籠祭	無形民俗			祝園　祝園神社
相楽木綿	無形民俗			精華台 相楽木綿伝承館

３．府登録文化財

名称	種類	内容	時代	所在地
武内神社本殿 （附　棟札16枚）	有形	一間社流造・檜皮葺	江戸時代前期	北稲八間　北垣外

４．府決定文化財

名称	種類	内容	時代	所在地
武内神社文化財環境保全地区				北稲八間　北垣外
新殿神社文化財環境保全地区				山田　医王寺

５．府暫定登録文化財

名称	種類	内容	時代	所在地
鞍岡神社本殿	有形	一間社隅木入春日造・檜皮葺	江戸時代	下狛　長芝
専光寺本堂	有形	入母屋造・桟瓦葺	江戸時代	東畑　嶽ケ
祝園神社本殿	有形	三間社流造・銅板葺	江戸時代	祝園　柞ノ森
祝園神社表門	有形	四脚門・本瓦葺	江戸時代	祝園　柞ノ森

名称	種類	内容	時代	所在地
如来寺木造十一面観音立像(※)	有形	像高　1,012㎜	平安時代後期	植田　上山
蓮臺寺木造菩薩立像	有形	像高　1,064㎜	平安時代後期	南稲八妻　政ヶ谷
蓮臺寺木造薬師如来立像(※)	有形	像高　522㎜	平安時代前期	南稲八妻　政ヶ谷
想念寺木造薬師如来坐像	有形	像高　520㎜	平安時代後期	下狛　里垣内
阿弥陀寺木造阿弥陀如来坐像	有形	像高　483㎜	平安時代後期	北稲八間　北垣外
藤田茂三郎家文書	有形	点数　3,531点	江戸時代～近代	個人蔵
森島清右衛門家文書	有形	点数　27,261点	江戸時代～近代	個人蔵
精華町の紡織及び養蚕関連用具	有形 民俗	点数　93点	江戸時代～近代	精華町蔵

6．町指定文化財

名称	種類	内容	時代	所在地
安楽寺木造阿弥陀如来坐像	有形	像高　887㎜	平安時代後期	下狛　鈴ノ庄
観音寺木造十一面観音立像	有形	像高　1,162㎜	平安時代後期	北稲八間　焼山
如来寺木造十一面観音立像(※)	有形	像高　1,012㎜	平安時代後期	植田　上山
蓮臺寺木造薬師如来立像(※)	有形	像高　522㎜	平安時代前期	南稲八妻　政ヶ谷
若王寺木造阿弥陀如来坐像	有形	像高　517㎜	平安時代後期	下狛　林前
春日神社繋馬図絵馬	有形 民俗	点数　2面	江戸時代 元和6(1620)年銘	菱田　宮川原

(※)　は、府暫定登録文化財と町指定文化財の重複指定

7．主な遺跡

名称	内容	時代	所在地
畑ノ前遺跡	集落・邸宅	弥生、奈良時代	植田　新田・他
北稲遺跡	集落	古墳時代前期～平安時代	北稲八間　寺垣外・他
森垣外遺跡	集落	古墳時代中期、中世	南稲八妻　森垣外・他
北尻古墳群	方墳・５基	古墳時代前期	南稲八妻　北尻・他
鞍岡山古墳群	円墳・４基	古墳時代前期～中期	下狛　長芝・他
畑ノ前古墳群	円墳・７基	古墳時代後期	植田　新田
畑ノ前東古墳群	円墳・８基	古墳時代後期	植田　山中
里廃寺	寺院	飛鳥時代後期～奈良時代	下狛　里垣内・他
樋ノ口遺跡	離宮・寺院・集落	古墳時代～奈良時代、中世	山田　心蓮寺・他
乾谷瓦窯跡群	瓦窯	奈良時代	乾谷　徳所

図　　書　　館

図書館

１．精華町立図書館

施設概要
所 在 地　　相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地
施　　設　　延床面積 2,286㎡

２．図書館の沿革

昭和48. 7.　精華町文庫開設（旧体育館２階会議室）
49. 3.　移動図書（ライトバン）の開始
50. 5.　移動図書館車購入（初代あおぞら号・600 冊積載）
53. 5.　精華町立図書館の設置
町立図書館設置条例・運営規則の制定
旧水道事務所を改築して体育館の会議室から移転〔5／20〕
60. 3.　旧水道事務所から役場敷地内に新築移転〔4／5〕
61. 4.　コピーサービスの開始
62. 7.　移動図書館車新車更新（二代目あおぞら号・1,000 冊積載）
平成 4. 11.　移動図書館車新車更新（内架式）
（三代目あおぞら号・2,500 冊積載：車体図案「バーババパパ」）
5. 4.　図書館創立 15 周年記念行事［青年座公演：バーババパパ］〔4／8〕
移動図書館「町内全地域（24 箇所）」の巡回開始〔4／17〕
8. 1.　（仮称）新精華町立図書館建設基本構想策定委員会設置
9. 2.　（仮称）新精華町立図書館建設基本構想策定
8.　相楽四町立図書館の広域個人貸出の開始
10. 3.　（仮称）新精華町立図書館基本計画の策定
11. 2.　電算機の本格稼働開始（貸出券は「せいか町民カード」を使用）
3.　郵政省委託事業として広域的情報通信ネットワーク整備促進モデル構築事業を
相楽四町立図書館で導入
3.　（仮称）新精華町立図書館建設工事基本・実施設計を作成
8.　（仮称）新精華町立図書館建設工事着工
13. 1.　新図書館への移転及び開館準備による臨時休館〔1／5～4／27〕
（仮称）新精華町立図書館竣工
4.　新精華町立図書館業務開始〔4／28〕
8.　国立国会図書館総合目録ネットワークに加入
15. 2.　京都府図書館総合目録ネットワーク（Aタイプ）に加入
8.　「創立 30 周年記念　図書館のあゆみ」刊行
11.　開館時間 10 時～18 時を試行（従来 9 時～17 時）
12.　30 周年記念行事「人形劇バーババパパ」開催〔12／14〕
16. 12.　国立国会図書館レファレンス協同データベース実験事業に参加
17. 3.　広域的情報通信ネットワーク整備促進モデル構築事業を終了
4.　開館時間の変更（平日 10 時～18 時、土・日 9 時～17 時）
18. 4.　ブックスタートの開始（9～10 か月児健診にて）
6.　「読書で描こう　せいか未来図～精華町子どもの読書活動推進計画～」の策定
7.　ホームページ開設
新館開館５周年記念行事「図書館のつどい」開催〔7／30〕
19. 1.　インターネット予約受付開始
3.　京都府立図書館「取寄せ申込みｅサービス」受付開始
5.　子育て支援センターと初のタイアップ講座を開催
10.　子どもの読書環境づくり推進協議会による「精華町子どもの読書環境整備３か年計画」の策定
おひざにだっこ ちいちゃいちいちゃいおはなし会　開始（毎月第１水曜日）
20. 1.　学校図書館連絡会議の発足
21. 4.　土・日曜日の祝日開館の実施
配送貸出の開始
22. 3.　「精華町子どもの読書環境整備５か年計画（第二次）」の策定
23. 12.　新館開館 10 周年記念講演会「昔ばなしが語る子どもの成長」開催〔12／22〕
24. 3.　国立国会図書館配信「歴史的音源」の館内利用開始
7.　新着資料お知らせサービス（SDI メールマガジンサービス）の開始
24.9～25.3　貸出点数・予約点数の変更（試行）
25. 4.　新一年生事業の開始

		貸出点数の変更（６点から10点に）※予約点数は試行前の12点のまま
平成	25. 10.	門脇文庫の開設（故・門脇禎二氏の旧蔵書の受贈による）
	26. 4.	雑誌スポンサー制度の開始
	26.12～27.3	赤ちゃんタイムの実施（試行）
	27. 4.	「精華町子どもの読書環境整備５か年計画（第三次）」の策定
		赤ちゃんタイムの実施
		門脇文庫資料の貸出開始（雑誌５月～、閉架図書８月～）
	28. 4.	子どもの読書活動優秀実践図書館文部科学大臣表彰を受賞
	29. 4.	利用者カード発行開始（「せいか町民カード」と併用）
	31. 1.	視覚障害者情報総合ネットワーク（サピエ）加入による録音図書の貸出開始
	3.	読書手帳の配布開始
令和 元	7.	図書館スマートスピーカーのサービス開始（令和４年度に終了）
	7.	国立国会図書館「デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
	2. 4.	「精華町子どもの読書環境整備５か年計画(第四次)」の策定
	3. 8.	新館開館20周年記念行事「いちにちなりきり司書たいけん」開催
	11.	新館開館20周年記念行事「本の修理ワークショップ」開催
		精華町立図書館公式Twitterを開始
	12.	新館開館20周年記念講演会「小説家という職業。故郷、山城国を見て。」開催［12／19］
	4. 3.	移動図書館車新車更新（四代目あおぞら号・1,000冊積載・内架式・リフト付）
	12.	祝園駅東西連絡通路に本の返却ポストを設置
	6. 3.	ライブラリーテラス開設
	4.	ファーストブック配布開始
	7.	自習可能席の設置（試行）
	6. 10.	自習可能席の設置（本格実施）
	7. 2.	図書館情報システム更新
	7. 2.	図書館情報システムとマイナンバーカードの連携開始
		セルフ貸出機の設置
	3.	ｄマガジンサービス（雑誌読み放題サービス）の開始
		「精華町子どもの読書環境整備５か年計画（第五次）」の策定
	4.	インターネット予約資料の移動図書館車での受取り開始
	9.	予約点数の変更（12点から15点に）
		広域利用者への視聴覚資料貸出を開始（いずれか２点）

３．図書館運営の基本方針

「人がつながり夢を叶える学研都市精華町」の実現を目指して、図書館では、次の運営方針のもとに活動をすすめる。

生涯学習・文化活動を支える拠点として、町民の教育と文化の発展に努め、暮らしに役立つ図書館をめざす。

(1)　すべての町民の暮らしに役立つ利用しやすい図書館
(2)　町の情報発信基地として町民に期待される図書館
(3)　町民の心のふれあいの広場となる図書館
(4)　明日を託す子どもの心を育む図書館　お年寄りにも利用しやすい図書館
(5)　図書館利用に障害のある人々も気軽に利用できる図書館
(6)　資料と情報を通じて国際交流をすすめる図書館

４．利用案内

開館時間	火曜日～金曜日　午前10時～午後６時　土曜日、日曜日　午前9時～午後5時
休館日	毎週月曜日、毎月最終の木曜日（館内整理日）、 国民の祝・休日（土・日曜日を除く。月曜日と重なるときはその翌日も） 年末・年始（12/28～1/4）、特別整理期間
貸出・登録	町内在住者、町内への通勤・通学者、木津川市・精華町以外の相楽郡・井手町在住者
移動図書館	月２回巡回－24ケ所、月１回団体巡回－４ケ所 （30分～１時間停車。ステーションにより異なる。）

５．利用状況

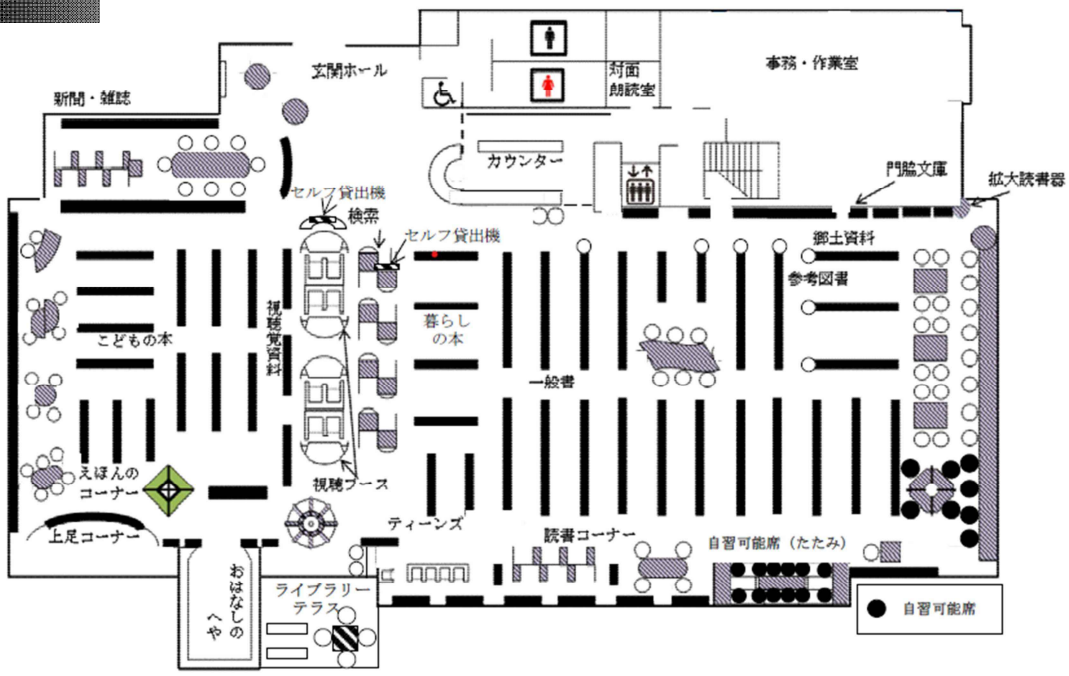
令和７年度の利用状況　※（　）内は児童書数
蔵書冊数　225,330(64,983)冊
町民一人あたり蔵書冊数　6.3冊
個人貸出点数 347,711(131,524)点
町民一人あたり貸出点数 8.2点
団体貸出（55団体）11,000冊
来館者数　延 132,562 人
登録者数　36,475 人
本の予約（リクエスト）件数 27,124 件
参考業務（レファレンス）件数 3,762 件

６．主な行事（令和８年度予定）

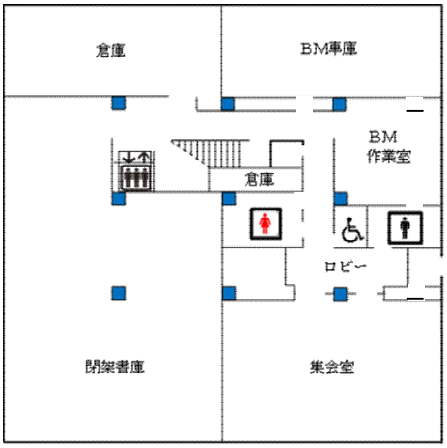
・図書館リニューアル事業関連ワークショップ
・おはなし会
・おひざにだっこ ちいちゃいちいちゃいおはなし会
・おはなし会special
・こわ～いおはなし会
・資料のテーマ展示（定例・随時）
・ブックスタート
・えほんpicnic
・なりきり司書たいけん
・雑誌と本のリユース・デー
・図書館新館開館25周年記念講演
・利用者参加型選書（どの本が読みたい？選手権）
・「こども読書本のしおりコンテスト」入賞作品巡回展示
・本の修理研修会
・せいか祭り出展
・読書感想文　書き方教室
・本が泣いてます展

館内配置図

２Ｆ



１Ｆ



一般書コーナー（北面等）	３３席
読書コーナー	１６席
自習可能席	２０席
児童コーナー（南面）	１６席
新聞・雑誌コーナー（南面）	１４席
視聴ブース（正面中央）	８席
パソコン電源席	２席
ライブラリーテラス	６席
合計	１１５席

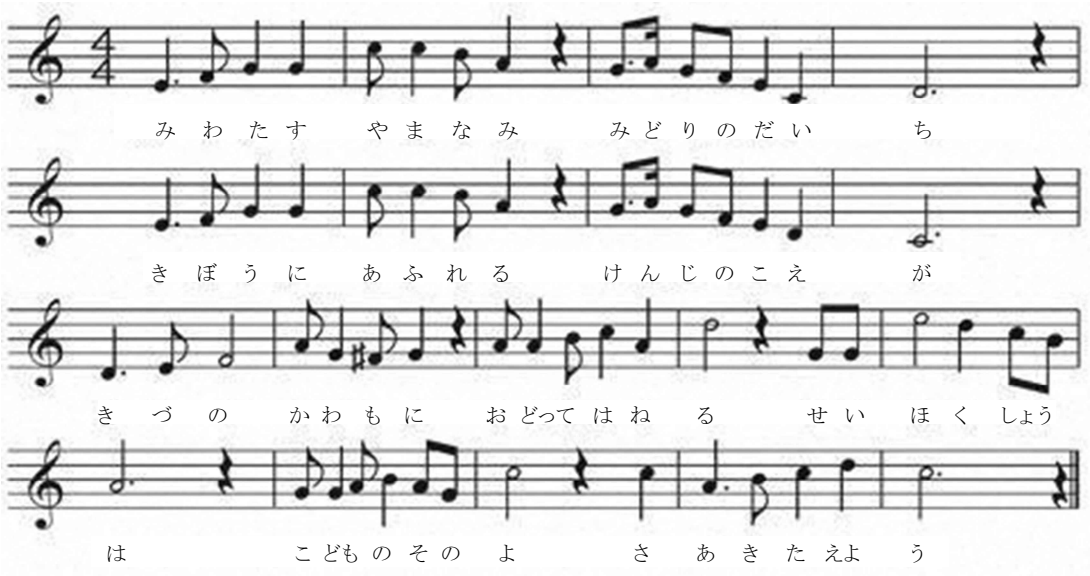
町立小・中学校

精華町立　精北小学校

所 在 地　〒619-0245
京都府相楽郡精華町大字下狛小字河原田４４番地
電　　話　0774－93－0231　　ＦＡＸ　0774－93－0230
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/seihoku-es/

精北小学校　校歌

作詞　初代教職員
作曲　森本　陽三郎



精北小学校校歌

作詞　初代教職員
作曲　森本　陽三郎

一　見わたす山脈　みどりの大地
希望にあふれる　健児の声が
木津の川面に　おどってはねる
精北小は　児童の園よ
さあ　鍛えよう

二　開ける町に　なりひびく鐘
平和を希う　みんなの歌が
広い野原に　こだまする
精北小は　学びの園よ
さあ　励もう

三　高い青空　輝く校舎
明日の世界を　築く仲間が
つなぐ手と手に　理想をめざす
精北小は　未来の園よ
さあ　創ろう

１．　学校の沿革

昭 53.	4. 1	精華町立精北小学校開校
	6. 2	精北小学校育友会設立
	12. 25	小鳥飼育小屋完成
54.	2. 28	校歌制定
	3. 20	校歌碑建立　碧空像完成
56.	3. 20	校門南側庭園整備
	3. 31	大気汚染測定庫設置
57.	3. 20	玄関上校章設置
58.	3. 20	バラ園造園
59.	3. 20	南校舎南側黄金ヒバ植樹
61.	4. 5	ソテツ大樹植栽
62.	3. 20	方位石設置、露場完成
	11. 1	創立十周年記念事業実施
63.	2. 29	６教室及び多目的ホール増築完成
	10. 16	第 43 回国民体育大会（ソフトボール成人女子）開始式に参加
63.～平元.		府研究指定校（合科）
平 3.	～ 5.	社会福祉協力校（福祉教育実践校）
4.		うさぎ・ニワトリ小屋完成
7.		学校文化・芸術祭教育美術展覧会・南部地方展覧会場校
10.	2. 22	創立二十周年記念事業
11.	4. 1	情緒障害児学級開設
11.		コンピュータ教室（情報教育室）設置
12.		北校舎大規模改修工事、体育館耐震工事、プール改修工事
13.		南校舎、給食室大規模改修工事
14.	10. 31	全特連全国大会（京都府大会）公開授業・分科会会場校
15.		観察池改修
15.		音楽教室に空調設備設置
16.	4. 1	京都府キャリア教育推進地域指定事業実践協力校指定
18.	4. 1	特別支援教育充実事業に係る研究実践校指定
19.	10. 27	創立三十周年記念事業
21.		体育館大規模改修工事
22.	～	京都府教育委員会指定「もうすぐ１年生」体験入学推進事業実践
23.	～ 24.	京都府山城教育局「特別支援教育充実事業（やましろ未来っ子）」研究推進校指定
25.	～ 27.	京都府小学校教育研究会「総合的な学習の時間」研究協力校
28.	2.	屋内運動場太陽光発電設備設置
29.	5. 24	創立四十周年記念事業
30.	12.	普通教室に空調設備設置
令 3.	2.	京都府山城教育局・山城地方学力向上対策会議「令和２年度学力向上を目指す実践事例」発表
3.	4.	京都府山城教育局「山城地方学校力向上トライアル校」指定
3.	4.	京都府山城教育局「特別支援教育充実事業(やましろ未来っ子)」研究推進校指定
3.	10.	南校舎トイレ改修工事
4.	12.	北校舎トイレ改修工事
5.	4.	通級指導教室開設

２．　学校教育方針

1.　経営方針

(1)　「第2期京都府教育振興プラン」、「精華町教育大綱」、「精華町指導の重点」の理念の実現に向けて、学習指導要領、京都府「学校教育の重点」、京都府山城教育局「山城の教育」等を踏まえ、「未来を生き抜く力」を育み、子どもが輝く魅力ある学校づくりを目指す。

(2)　組織的な生徒指導支援体制を中心に据え、児童が「安心・安全で明日が待ち遠しい学校」をつくる。

1　基礎基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進
2　豊かな人間性を育む教育の推進
3　教職員の資源・能力の向上

2.　教育目標

『 生きる力（「確かな学力・豊かな人間性・健やかな心と体）』をはぐくむ

3.　めざす児童像

(1)　深く考え進んで実行する子
(2)　やさしく仲間を大切にする子
(3)　たくましく粘り強く取り組む子

4.　めざす学校像

(1)　児童が生き生きと学び合える魅力ある楽しい学校
(2)　児童一人一人を大切にした教育を実践する学校
(3)　教育目標具現のため、教職員がチームとして計画的、組織的に取り組む学校
(4)　保護者・地域住民の信頼を高める学校

5.　指導の重点

(1)　基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

①　研究主題　つけたい力を明確にし、子どもの「やってみたい」からデザインする国語科授業～魅力ある単元を貫く問いとパフォーマンス課題の設定を意識して～

ア　全担任による授業公開、やましろ授業スタンダードを生かした授業改善の実施
イ　「知っている・分かる・使える」を育成すべき資質・能力として位置づけ、これらを身に付ける児童の増加
ウ　「学びのパスポート」の結果分析を個々の指導に活用
エ　特別支援教育の視点を取り入れたユニバーサルデザイン授業の展開（個別の支援）
オ　ジュニアわくわくスタディ等を活用した放課後の全学年補充学習の充実
カ　心理的安全性を土台とした学級づくり、授業づくり（年度末アンケートの実施）

②　教職員個々の創造性を発揮するとともに、相互のよさに学び合う開かれた学年・学級経営の推進

ア　個々の児童の確かな理解と個性の伸長に基づく居場所づくりの推進
イ　学習集団づくりの視点による交換授業及び合同授業の実施

ウ　不登校児童や生徒指導事象等の問題事象発生時における学年での情報共有と対応

③　発達障害を含む障害のある児童一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進

ア　校内委員会の機能的な活用に基づく、児童支援の校内体制の充実

イ　個々の児童の個別の指導計画の活用と指導方法の工夫改善

(2)　豊かな人間性を育む教育の推進

①　社会性を育む道徳的実践

ア　心に響く道徳の時間の指導を充実させるための研究の推進

イ　自ら進んで挨拶を行う児童の育成と、きまりを守る規範意識の向上

②　命を守り人権を大切にする共生社会づくりのために、生命の尊厳と人権を尊重する態度や実践力を育てる教育の充実

ア　互いの個性や価値観の違いを認め、多様性を尊重する態度を養う人権教育の推進

イ　縦割り班活動を通したよりよい人間関係の構築

ウ　高い人権意識を持った児童への指導、教職員間の連携や人間関係を築く学年・学級経営

③　生徒指導の４つの機能を生かした、児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図る生徒指導の推進

ア　本校の生徒指導のルール（わたしたちのくらし）に基づく指導の徹底

イ　SCやSSW、関係機関との連携、いじめ・不登校等の未然防止及び早期発見・早期対応ができる指導体制の確立、教育相談機能の充実

④　「安心・安全な学校」として様々な危機に対応できる危機管理能力の日常的な向上と、避難訓練等を通した児童の危機対応能力の育成と健康教育、薬物乱用防止教室の充実

ア　身近な危険の予知・回避を高める能力や態度を育てる安全教育・管理の充実

イ　警察署、消防署との連携、交通安全や災害などの発達段階に応じた基本知識の習得、非行防止・薬物乱用防止教室による指導

ウ　避難訓練の内容の充実と計画的な実施

⑤　我が国の伝統・文化を尊重し、諸外国の伝統･文化を理解するとともに、国際社会に生きる日本人としての基礎的な資質の育成

ア　出前授業の充実と各教科等との関連を生かした体験的な学習の充実

イ　外国語科(英語：５・６年)及びコミュニケーション能力の素地を育てる外国語活動(３・４年)の充実

ウ　本校の伝統である大正琴の学習（４～６年）及び地域貢献活動の実施

⑥　学研都市精華町を活かした教育活動の推進

ア　理科を中心とした出前授業や体験学習の充実

イ　農業体験学習や福祉体験活動等の充実

ウ　地域学習を年間計画に位置付け、地域を学び、活かす教育の実施

⑦　一人一台情報端末の日常的な活用による、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実

ア　児童の発達段階や各教科等の学習内容と関連付けた情報教育の推進

イ　適切に情報社会に参画する態度を育成するデジタル・シティズンシップ教育の推進

ウ　一人一台端末を授業や家庭学習等に活用、個別最適な学びと協働的な学びを一層推進する。

(3)　教職員の資質能力の向上

①　教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、豊かな識見と専門性に基づく自己の資質・能力の向上

ア　教職員一人一人が学校経営に参画し、「チーム精北」を意識し、一丸となった教

育の推進

イ　生徒指導事象に対する正確な事実確認と分析の実施。組織的な指導・保護者対応の実施

ウ　組織的な文書管理体制の確立と遵法意識による職務遂行

エ　新聞報道等を活用した日常的な教職員のコンプライアンス意識や危機管理意識の高揚と研修の実施

②　社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられる力量を向上させるための教職員研修の充実

ア　研究授業を要とした、教員の力量を高める効果的な研修の実施

イ　人権文化の構築のための、教職員の人権教育への認識の深化及び人権感覚の高揚に向けた研修の充実

ウ　山城教育局支援アドバイザーと連携し、若手教員研修を実施。教員として必要とされる基礎的な知識を学び、指導力の向上を目指す。

エ　働き方改革の推進

・週１回ノー残業デーの設定

・教職員の意識改革（見通しを持った計画の立案）

③　学校評価を学校経営の中心に据えた「信頼される学校」、「地域とともにある学校づくり」の推進

ア　学校評価アンケートの結果に基づいた、計画的・組織的な教育活動の実施

イ　年３回の学校運営協議会及び授業参観・スクールヘルパー交流会の実施

ウ　コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の効果的な運営

エ　警報発表等の緊急な事態に対するさくら連絡網の活用

6.　研究主題（国語科）

付けたい力を明確にし、子どもの「やってみたい」からデザインする国語科授業
～魅力ある単元を貫く問いとパフォーマンス課題の設定を意識して～

３．　児　童　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別児童数

学年	特別支援学級 あおぞら							１年		２年		３年		４年		５年		６年		合計
組	1	2	3	4	5	6	7	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
男子	5	2	3	4	6	0	0	9	9	11	10	15	16	11	11	15	14	11	10	162
女子	1	4	2	1	0	2	1	12	11	10	10	15	15	14	15	14	14	18	18	177
小計	6	6	5	5	6	2	1	21	20	21	20	30	31	25	26	29	28	29	28	339
合計	31							41		41		61		51		57		57		339
家庭数	26							10	9	8	9	20	23	21	17	28	28	28	27	254

(2)　地域別児童数

地　域	１　年	２　年	３　年	４　年	５　年	６　年	合　計
里	1	0	2	1	1	1	6
僧　　坊	14	12	21	18	12	16	93
舟	16	17	20	16	19	16	104
旭	0	1	0	0	1	0	2
滝　ノ　鼻	7	5	12	14	17	25	80
菱　　田	4	8	9	5	9	6	41
中久保田	3	3	3	1	1	2	13
合　　計	45	46	67	55	60	66	339

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	校務分掌
校　　長	岡田　清恵		学校運営
教　　頭	川﨑　敦彦		学校運営
教　　諭	田中　啓太	教務主任	教務、保健主事
講　　師	石井　好昭	あおぞら1組	体育科、福祉教育
講　　師	橋本　　澪	あおぞら2組	国語科、環境教育
講　　師	篠原　和子	あおぞら3組	図画工作科、国際理解教育
教　　諭	杉浦　秀隆	あおぞら4組	理科、通常学級での特別な支援
教　　諭	松田　実希	あおぞら5組	国語科、特別支援教育、特別支援コーディネーター
教　　諭	山戸　智恵	あおぞら6組	音楽科、人権教育、特別支援コーディネーター
講　　師	林田　貴美	あおぞら7組	国語科、特別支援教育
教　　諭	北澤　寿々子	１年１組	道徳科、健康安全教育
教　　諭	保田　まい	１年２組	生活科、食育
教　　諭	大垣　晶子	２年１組	生活科、キャリア教育
講　　師	浦辺　太一	２年２組	算数科、人権教育
教　　諭	白川　仁也	３年１組	算数科、生徒指導、情報教育
教　　諭	藤井　加奈	３年２組	体育科、健康安全教育
教　　諭	大橋　明日香	４年１組	社会科、総合的な学習の時間、図書館教育
教　　諭	平野　将吏	４年２組	理科、人権教育
教　　諭	河村　有紗	５年１組	図画工作科、国際理解教育
教　　諭	濱田　遼平	５年２組	図画工作科、研究主任、学力充実
教　　諭	前原　望美	６年１組	家庭科、クラブ・委員会活動
教　　諭	大谷　祐介	６年２組	社会科、健康安全教育
教　　諭	田中　はる奈	通級指導	教育相談、特別支援コーディネーター
教　　諭	谷原　　楓		
教　　諭	濵田　真優		
教　　諭	山田　柚乃		
小中連携教員	松本　育未		精華町立精華中学校教諭
養護教諭	山口　知加子		健康安全教育、環境教育、教育相談
事務職員	辻　　尚子		学校事務
非常勤講師	大浦　弘奈		
特別学習支援員	河原　陽子		町特別支援
特別学習支援員	牧野　久美		町特別支援
介　助　員	西村　　強		町特別支援介助
介　助　員	藤田　千晶		町特別支援介助、心の居場所サポーター
別室登校者対応指導員	立野　美恵		別室登校者対応指導
教員業務支援員	高橋　希美		教員業務支援員
給食調理員	松久　真生		給食調理
給食調理員	奥村　澄美		給食調理
学校図書館司書	梶　さつき		学校図書館運営
まなび・生活アドバイザー	垣岡　貴代美		
スクールカウンセラー	松尾　郁美		
医療的ケア看護師	早田　まり		医療的ケア看護
医療的ケア看護師	和田　和子		医療的ケア看護
学　校　医	藤木　健吾		
学校歯科医	新司　一弘		
学校薬剤師	松本　修一		

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化	１年生を迎える会	文化鑑賞会	６年生を送る会
健康安全 体　　育	身体測定（身長・体重） 避難指導 （風水害・不審者対応） 交通安全教室 薬物乱用防止教室 検尿 心電図検査 内科・眼科・歯科・耳鼻科検診 非行防止教室 陸上運動交歓記録会（６年）	身体測定（身長・体重） 視力検査・聴力検査 マラソン前検診 避難訓練（地震・火災） 運動会 校内持久走記録会	身体測定（身長・体重） 視力検査
遠足集団 宿　　泊	修学旅行（６年） 林間学習（５年）		
勤労生産 奉　　仕	大掃除	大掃除	卒業式準備 大掃除

６．　ＰＴＡ

(1)　本年度の活動目標

学校・家庭・地域の一層の連携を図り、子どもたちの安全を守ると共に、豊かな心を育み、健やかな成長を目指す。

(2)　本年度の活動方針

①　ＰＴＡ本部と各委員会の調整、積極的な支援などを図り、ＰＴＡ活動の一層の充実を目指す。

②　会員が家庭教育、人権教育等を研修する機会を設ける。

③　関連する対外的事業や研修会等への参加を通して、より多くの知識や情報を得る。

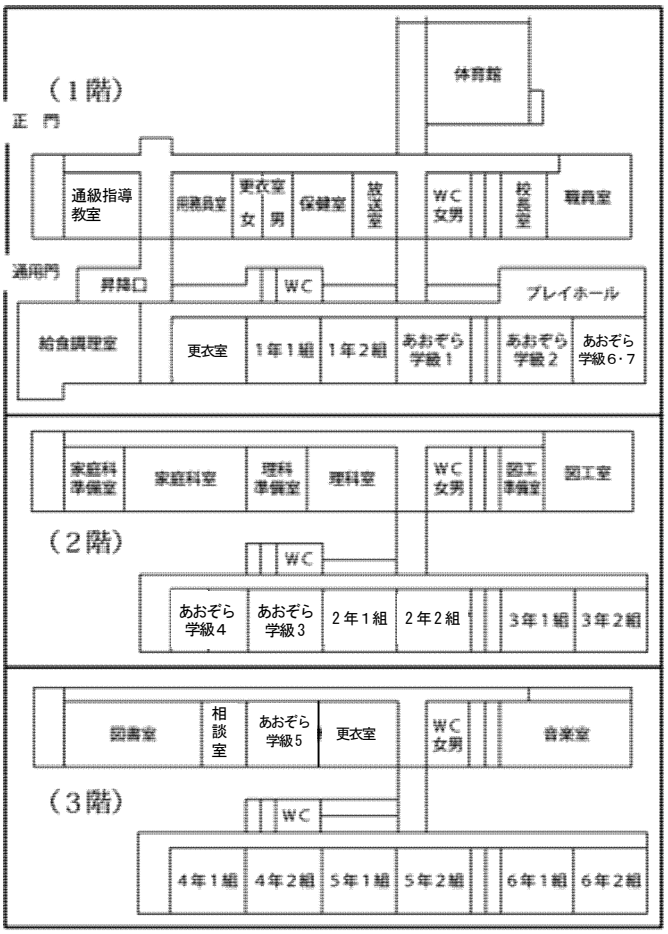
(3)　ＰＴＡ本部役員

役職名	氏　　名
会　長	山　岸　　友　梨
副会長	和　泉　　希未子
	山　内　　智
書　記	西　田　　悠美子
	長　谷　　実　樹
会　計	鈴　木　　歌　織
監　査	今　西　　敦　子

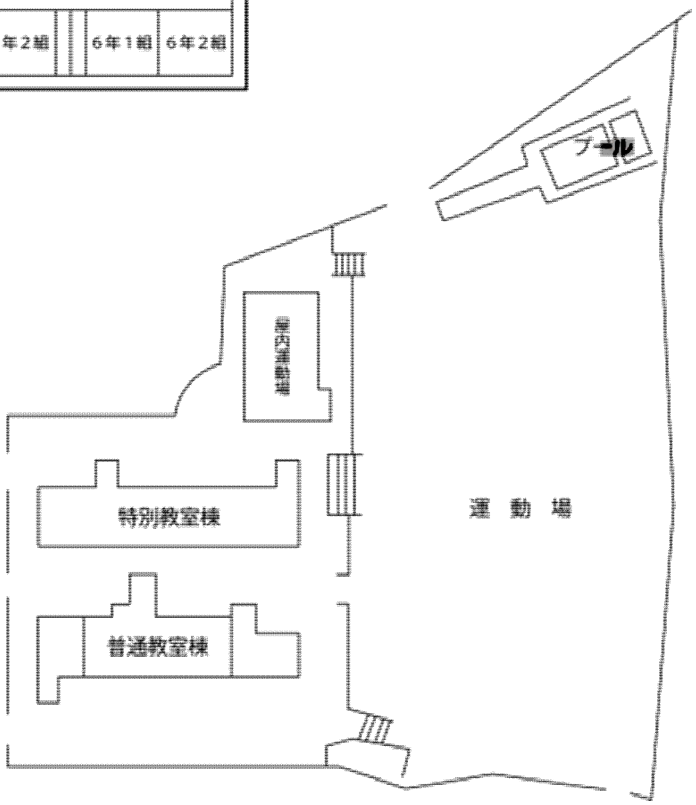
７．　学校運営協議会委員

氏　　名
福　　味　　定
岡　　田　　美 由 紀
石　　井　　好　　昭
岩　　井　　千　　恵
岡　　田　　清　　恵
川　　﨑　　敦　　彦

８． 学校施設



校地面積　30,101 ㎡
校舎面積　 6,995 ㎡
体 育 館　　 626 ㎡
運 動 場　10,267 ㎡
プ ー ル　25m×5 コース、
　　10m×4 コース

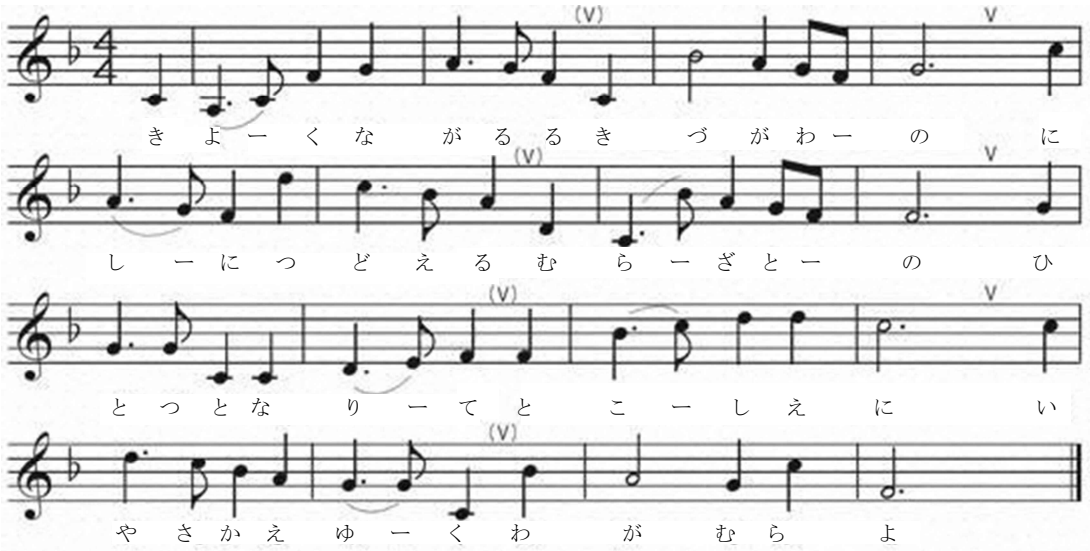


精華町立　川西小学校

所 在 地　〒619-0244
京都府相楽郡精華町大字北稲八間小字畑ケ田１５番地１
電　　話　0774－94－2024　ＦＡＸ　0774－94－4882
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/kawanisi-es/

川西小学校　校歌

作詞　小山　荘太郎
作曲　中原　郁男



川西小学校校歌

作詞　小山　荘太郎
作曲　中原　郁男

一　清く流るる木津川の
西につどえる　村里の
ひとつとなりてとこしえに
いや栄えゆくわが村よ

二　豊にみのる千町田の
みずほの波の中に立つ
このうるわしき学び舎に
わざをおさむるわが幸よ

１．　学校の沿革

明	5. 7.	北稲八間村、南稲八妻村、植田村、他４村に相楽郡第６小学校区の北稲八間小学校が設立
	6. 3.	北稲八間村、山田村他１３村で吐師小学校が設立（旧北稲八間小学校は北校）
	6. 10.	北稲八間小学校、吐師小学校に分離
	8-9.	村ごとに学校が設立されるようになり、北稲八間村、南稲八妻村、植田村、祝園村、菱田村、下狛村にそれぞれ尋常小学校が設立
	19. 4.	北稲八間村、南稲八妻村、他５村による摭芳尋常小学校が南稲八妻村に設立
	22. 9.	町村合併に伴い、摭芳尋常小学校は稲田尋常小学校（北稲八間・南稲八妻・植田）、祝園尋常小学校（祝園・菅井）、狛田尋常小学（下狛・菱田）となる
昭	6. 10. 1	祝園・稲田・狛田村が合併し、川西村となる
	7. 3. 31	川西尋常高等小学校を創立
	10. 1	現在地に移転
	16. 4. 1	国民学校令により川西国民学校となる
	22. 4. 1	学制改革により川西村立川西小学校と改称
	23. 7. 10	川西小学校ＰＴＡ誕生
	24. 5. 9	学校給食実施
	26. 4. 1	川西・山田荘村が合併し、精華村立川西小学校と改称
	9.	校舎一部増築
	29. 2. 17	保健教育研究発表会開催
	4.	府下健康教育研究会開催
	8. 15	プール完成
	30. 4. 1	町制施行、精華町立川西小学校と改称
	8. 15	鉄筋校舎第１期工事８教室竣工
	10. 11	第１期工事落成式挙行
	31. 3. 6	昭和 30 年度健康優良児学校京都府特選受賞
	11. 28	昭和 31 年度健康優良児学校京都府特選受賞
	32. 6. 30	給食調理室竣工
	8. 31	鉄筋校舎第２期工事 11 教室竣工
	9. 1	完全給食実施
	11. 28	昭和 32 年度健康優良児学校府特選受賞
	33. 3. 14	第２期工事落成式挙行
	6. 10	校舎落成、健康優良児学校表彰の記念事業として中庭完成
	34. 5. 10	保健室移転整備、障害児学級教室改造完成、運動場体育施設整備
	5. 12	障害児学級開設
	11. 3	昭和 34 年度健康優良児学校全国特選受賞（文部省・朝日新聞社）
	11. 8	昭和 34 年度健康優良児学校京都府特選受賞
	35. 11. 4	京都府教育委員会指定理科研究発表会開催
	11. 21	学校給食文部大臣表彰受賞、青少年赤十字支部表彰受賞
	38. 12. 24	学校緑化知事表彰受賞
	40. 11. 18	視聴覚教育研究発表会開催
	41. 10. 14	小学校教育課程社会科京都府大会会場校
	44. 11. 18	京都府美術教育研究大会会場校
	45. 10. 27	京都府小学校国語科研究大会開催
	47. 3. 13	校舎第１期工事竣工
	47. 6. 22	蒸気機関車（D51）設置

	48. 3. 31	校舎第２期工事竣工
	49. 5. 24	京都府小学校体育科研究大会開催
昭	51. 3. 31	プレハブ２教室増設、給食室改造
	53. 4. 1	児童増により２校に分離、精北小学校新設（川西小875人・精北小377人）
	56. 3. 10	給食室改築
	57. 7.	校庭拡張工事完成
	10.	創立50周年記念事業実施（校歌碑建立他）
	58. 2.	屋内体育館改築工事竣工
	59. 8. 18	プール増改築
	61. 8. 31	北校舎大規模改造第１期工事完了
	62. 8. 31	北校舎大規模改造第２期工事完了
	63. 10. 16	第43回国民体育大会成年女子ソフトボール開始式において集団演技に出演
平	4. 8. 31	南校舎大規模改造第１期工事完了
	9. 30	創立60周年記念事業実施（記念植樹・記念誌発行他）
	5. 8. 31	南校舎大規模改造第２期工事完了
	5.～6.	京都府小学校社会科研究協力校
	5.～6.	「指導方法の改善実施を行う学校」指定
	6. 8. 31	西校舎大規模改造第３期工事完了
	11. 17	京都府小学校社会科研究協力校
	9.～10.	平成9･10年度 京都府小中学校教育実践パイロット校（算数科）指定
	10. 12. 4	平成9･10年度 京都府小中学校教育実践パイロット校（算数科）発表
	11.～12.	平成11･12年度 文部省スクールカウンセラー活用調査研究委託事業
	14.～16.	平成14・15・16年度 京都府教育委員会「基礎学力充実実践研究校」指定
	15.～16.	平成15・16年度 京都府教育委員会「京都夢・未来」（人権教育）指定
	15.～16.	平成15・16年度 文部科学省初等中等局「人権教育研究校」指定
	16. 11. 9	文部科学省初等中等局・京都府教育委員会研究指定「人権教育研究発表会」開催
	21. 7.	新校舎工事完成
	22. 3. 26	校舎完成・体育館改修・運動場改修工事竣工
	23. 4.	相楽地方通級指導教室西部分室開設
	6. 19	プール改修工事完了
	6.	普通教室ドライミスト、特別支援学級空調機器設置完了
	12. 10	創立80周年記念植樹（コブシ）
	27. 4. 1	単年度学級編成導入
	29. 7. 18	創立85周年記念　ＷＢＣ世界ライトフライ級チャンピオン拳四朗選手講演会
	9. 1	相楽地方通級指導教室に精華台教室が増設されたことに伴い、「相楽地方通級指導教室川西教室」となる
	30. 2.	情報教室のパソコンをタブレット型に更新
	4. 1	平成30年度「専門教育（英語）充実事業」指定
	9.	普通教室エアコン設置工事完了
	10. 15	平成30年度山城地方外国語教育授業指導力アップ研修開催
	31. 4.	平成31年度「スクールサポートスタッフ配置事業」指定
	4.	平成31年度「食に関する指導充実事業」実践中心校指定

２．　学校教育方針

1.　経営方針

人権教育をすべての教育活動に適切に位置づけ、職員の使命と責任を自覚し、学習効果の高い学校経営を推進し、教育目標の達成を図る。

(1)　安全で美しく、子どもたちが愛され、楽しく安心に通える学校
(2)　学ぶ意欲、実践する喜びで、誰もがやりがいを感じられる学校
(3)　保護者や地域社会と連携し・協働し、一体となって創り上げる学校
(4)　教職員の率先垂範の下、人権文化に満ちた適切な受け答えや振る舞いがあふれる学校

2.　教育目標

「よりよく生きるために、自ら考え行動する児童の育成
～確かな学力・豊かな心・健やかな体～」

3.　めざす児童像

(1)　よく学び…深く考え、進んで学ぶ子ども（自ら学び自らを高め、未来を見通し、切り開く力）
(2)　心豊かで…命、人、時間、物を大切にする子ども（人・社会・自然とつながり共生できる力）
(3)　元気な子…明るく元気に活動する子ども（強くしなやかな意志と健康でたくましく生きる力）

4.　重点目標

『来たときよりも笑顔で帰す』

(1)　「できた」「わかった」「もっとやってみたい」と感じさせる授業の構築
（学力診断テストの正答率が、全国（府）平均正答率の１/２以下の割合を３％未満に）
(2)　「一緒にいて楽しい」「一緒に活動したい」「もっと一緒にいたい」と感じさせる学級・学年・異年齢・全校集団作り
（自ら挨拶、適切な受け答え、チャイム行動、ごみやほこりを残さない清掃）
(3)　「安全に過ごせた」「元気に過ごせた」「しっかり食べた」と感じさせる取組や活動の提供
（事故災害報告の発生率を６％未満に、ひと月の欠席日数３日を超える児童数を０に）

5.　指導の重点

(1)　基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を伸ばす教育の充実

①　一人一人の子どもを大切にし、子どもが愛されていると感じる学級経営を行う。
ア　子どもや保護者に共感し、笑顔を意識した語りかけや指導を推し進める。
イ　子どもが納得できるように、めりはりのある指導と説得を推し進める。
ウ　学校の方針に則って指導の一貫性を図るとともに、その日のことはその日のうちに対応や処理を完結させる。
エ　子どもと共に活動し、子ども目線・保護者目線で子どもと関わる。
オ　一部の子に権限を持たせることや、早い（速い）ことが良いことという認識から脱却するなど、一人一人の人権が守られているという気持ちを、子どもたちが持てるような学級にするために、教職員自身が人権認識を高める。

②　基礎的・基本的な学習を重視するとともに、学ぶ意欲、思考力、表現力の育成に努め、個に応じた指導を推進する。
ア　学習指導要領の趣旨を踏まえた指導目標・指導内容を明確にし、計画的な指導を行うとともに、指導と評価の一体化を図り、児童の意欲につながる評価を充実させる。
イ　体験的な学習、問題解決的な学習などにより、主体的・対話的に学ぶ意欲を高揚させる。
ウ　発達段階に応じた学習習慣や学習規律を定着させる。

エ　家庭と連携した家庭学習に努めると共に、保護者に学習の補助をさせない。
オ　学力充実とコミュニケーション力の育成のためのＩＣＴ機器を活用した授業改善を図る。

③　教職員の創造性を発揮するとともに、互いに学び合う開かれた学年・学級経営を推進する。
ア　教職員の協働により、児童一人一人を確かに理解し、個性を伸長させる。
イ　互いに学び高め合う人間関係を育成する。
ウ　保護者や地域に開かれ、連携・協働する学校を目指す。
エ　子どもの様子や状況、活動の仕方等を取組の評価や指標とするなど、ルーブリック的な評価に努める。

④　児童一人一人にとって障害のない教育的ニーズや保護者の思いを踏まえた、授業や環境のユニバーサルデザイン化と、障害に応じた合理的配慮の提供を行い、インクルーシブ教育を見据えた特別支援教育を推進する。
ア　特別支援学級や、通常の学級に在籍する発達に課題のある児童に対する個別の指導計画や支援計画を保護者とともに策定し、個に応じた指導を充実させるとともに指導方法を工夫改善する。
イ　どの児童にとっても障害とならない学校環境、教室環境、学習環境の構築を目指す。
ウ　学び合い、育ち合う力、対話的に学ぶ力を育てるための交流及び共同学習を推進する。
エ　障害のある人々や特別支援教育についての正しい理解と認識を深める指導を充実させる。
オ　各学校間や関係諸機関と連携し、相談を重視して就・修学の指導や進路指導を充実させる。
カ　川西小学校ことばの教室を活用する。

⑵　人権尊重の精神を基盤とし、豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

①　生命の尊厳と人権を尊重する態度、実践力を育てる教育の充実に努める。
ア　互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる教育活動を推進する。
イ　生活の中での不合理や矛盾に気づき、主体的に解決しようとする実践的な態度を育成する。
ウ　人権教育年間指導計画に基づく計画的な人権教育を実践する。

②　豊かな人間性を育成する教育の充実に努める。
ア　考える道徳を実践することにより、道徳的価値の自覚を深める道徳の時間を創造する。
イ　道徳的な実践の場として、学校以外の諸活動を活用し、人とのつながりを深める。
ウ　ことばの力をはぐくみ、感性を磨き、想像力や表現力が身に付く読書活動を推進する。

③　望ましい集団活動を通して規範意識を高めるとともに、自主的、実践的な態度や自治的能力を育成する特別活動を推進する。
ア　児童の参加意欲や自己表現力を高める活動内容を工夫するとともに、児童が自分のことを自分で決めて実践して評価し、改善していこうとする力の育成に努める。
イ　継続的な取組の成果を重視した魅力のある活動を推進する。

④　児童の個性を認め、その良さを伸長する生徒指導を推進する。
ア　児童の生活実態の把握や内面理解による深い信頼関係に基づく好ましい人間関係を育成する。

イ　組織的な教育相談体制と教育相談機能を充実させる。（相楽地方通級指導教室西部教室川西教室との連携）

ウ　児童の健全育成を図るために家庭・地域社会・関係機関との連携を深める。

⑤　自他の生命を尊重し、自ら健康な生活を営む実践力を育成する健康安全教育を推進する。

ア　健康安全に関する総合的な認識を高めながら、心身ともに健康に生き抜く能力と実践力を育成する。

イ　身の回りの危険に気付き、正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と実践力を育成する。

ウ　運動することの楽しさや喜びを味わう体育・スポーツ活動を充実させる。

エ　保護者・地域社会・関係機関と連携した学校内外の安全確保と迅速な対応を徹底する。

オ　養護教諭、栄養教諭、給食調理員、ＰＴＡなどと連携し、食育の取組を充実させる。

カ　食物アレルギーについて、研修を深めるとともに、関係機関との連携を図りつつ、教職員で共通理解した上で、万全の体制で臨む。

キ　教職員の共通理解と保護者理解を基盤にした、生命の尊厳や人権尊重の認識を高める性教育を推進する。

(3)　社会の変化に対応する教育の推進

①　広い視野と豊かな人権感覚を持ち、我が国の文化と伝統を尊重するとともに、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育を推進する。

ア　国際社会に生きる日本人の育成という観点からの体験的な学習や課題学習を充実させる。

イ　人材や地域教材の効果的な活用によるコミュニケーション能力の育成や言語・文化に対する理解を深める。

②　身近な環境に意欲的にかかわり、問題を見いだし、考え判断し、よりよい環境づくりや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる態度や実践力を育成する環境教育の充実を図る。

ア　植物の栽培などの多様な体験活動を推進する。

イ　継続的な活動を通して環境保全への意識を高揚させる。

③　情報機器に慣れ親しみ、身近な道具として適切に使いこなせる能力と情報を主体的に取捨選択し活用する力をはぐくみながら、基礎的な情報モラルやマナーを育成する情報教育を推進する。

ア　身近な道具として適切に使いこなせる能力と態度を育成する。

イ　プライバシーの保護や著作権などの基本的な情報モラルやマナーを育成する。

ウ　情報モラルに関する教職員研修を充実させる。

エ　プログラミング教育についての研修を深める。

オ　整備された情報通信環境や端末を積極的に活用し、個別最適な学び、創造性をはぐくむ学びを推進する。

(4)　教職員の資質能力の向上

①　教職員の使命と責任

教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな職見と専門性に基づく自己の資質能力の向上に努める。

ア　自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な教育実践を追求する。

イ　教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上を目指す。
ウ　正しい人権認識を培い、研ぎ澄まされた人権感覚を磨く。

② 教職員研修

社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられるように努める。

ア　常に自己研鑽する意識を持つ。
イ　主体的・積極的に研修機会への参加を行う。
ウ　ＩＣＴ機器を活用した授業改善のための知識、技能の向上を図る。

(5) 開かれた学校づくりの推進

① 学校運営協議会での熟議、学校評価などを活用しながら家庭・地域社会との連携を推進し、保護者や地域住民の信頼を高める学校づくりに努める。

ア　人的・物的資源の開発と積極的で効果的な活用を行う。
イ　ホームページや文書などの活用により積極的に教育活動の成果を発信する。
ウ　アンケートなどを通して、保護者や地域住民の思いを受信する。
エ　「正確性・迅速性」に基づいた丁寧な保護者対応（説明責任）を行う。
オ　保護者や地域住民の力を教育活動に取り入れる。
カ　保護者の願いに寄り添い、家庭訪問や家庭連絡を密に行うと共に、個に応じた保護者対応に当たる。
キ　「さしすせそ」の保護者対応を励行する。「さ」＝先に動く、「し」＝真摯に受け止める、「す」＝素直に謝罪する、「せ」＝誠実な態度で接する、「そ」＝相談する。
ク　組織的な文書管理体制を確立する。

② 学校運営協議会の設置、地域人材の発掘や育成に努める。

(6) 校種間連携の充実

児童の心身の発達や学習の連続性を重視した教育活動が展開できるよう、保幼小中の連携を図る。

① 町内保育所、幼稚園や町教育支援委員会との連携による、より適切な児童支援を推進する。
② 精華中学校との連携を強化し、９年間を見通した学習指導、特別支援教育、生徒指導、道徳教育を展開する。
③ 精華中学校コミュニティ協議会との連携の下、地域総がかりで取り組む教育活動を推進する。
④ 精華中学校との交流や連携を推進する。（小中連携加配を活用した体力向上のための授業改善など）

(7) 働き方改革の推進

選択と集中で業務を行う。

① 前年削減を合言葉に、スクラップ＆ビルドを合言葉に分掌の取組を精選する。
② ワークシート等、プリント依存の授業からの脱却に努める。

３．　児　童　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別児童数

学年	特別支援学級 みずほ				１年		２年		３年		４年			５年			６年			合計
組	1	2	3	4	1	2	1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
男子	1	6	2	1	20	19	19	20	14	12	12	12	12	14	15	14	16	15	16	240
女子	4	0	4	0	13	10	15	14	13	14	15	16	16	12	10	11	10	9	10	196
小計	5	6	6	1	33	29	34	34	27	26	27	28	28	26	25	25	26	24	26	436
合計	18				62		68		53		83			76			76			436
家庭数	14				31		33		36		67			71			76			328

(2)　地域別児童数

地　域	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
菅井	2	4	3	1	3	2	15
植田	14	18	6	11	12	9	70
南	4	4	8	10	9	7	42
祝園西	11	9	5	10	14	16	65
北稲	2	5	7	3	5	2	24
谷	5	1	0	5	1	2	14
西北	2	0	1	0	3	1	7
東	5	5	1	6	1	5	23
中	3	4	5	4	1	4	21
中ノ町	3	5	6	9	5	4	32
下久保田	5	3	5	6	3	7	29
杉本	1	0	2	0	5	1	9
北ノ堂	4	5	3	7	4	6	29
馬渕	5	8	3	15	12	13	56
その他	0	0	0	0	0	0	0
合　計	66	71	55	87	78	79	436

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	校務分掌
校　　長	叶　　剛 史		
教　　頭	柴 田　　薫		
主 幹 教 諭	伊 藤　　真 人	児童支援加配	生徒指導、学力充実、人権、教育相談、地域連携
教　　諭	中 川　　将 之	教　　務	研究推進、総合、学力充実、情報、健康、異校種連携、地域連携
教　　諭	岩﨑　亜紀子	理 科 専 科	研究推進、理科、図画工作
教　　諭	渡 邉　　菜 摘	みずほ１組	特別支援、特別支援教育コーディネーター、音楽、給食
教　　諭	伊庭　美那子	みずほ２組	特別支援、生活、教育相談
教　　諭	上 野　　夏 美	みずほ３組	特別支援、生徒指導、算数、図書館
教　　諭	神 村　　沙 希	みずほ４組	特別支援、研究推進、国語、国際理解
教　　諭	池 宮　　彩 加	１ 年 １ 組	特別支援、道徳、人権
教　　諭	水 嶋　　葉 月	１ 年 ２ 組	研究推進、生活、キャリア
教　　諭	赤 司　　博 城	２ 年 １ 組	生徒指導、算数、学力充実
教　　諭	松 下　　莉 来	２ 年 ２ 組	特別支援、体育、特別活動、国際理解
教　　諭	大西　あおい	３ 年 １ 組	特別支援、体育、情報
講　　師	泉　　佑 樹	３ 年 ２ 組	生徒指導、外国語、人権
教　　諭	林　　将 嗣	４ 年 １ 組	研究推進道徳、情報
教　　諭	山 口　　啓 明	４ 年 ２ 組	生徒指導、社会、特別活動
教　　諭	西 村　　厚 子	４ 年 ３ 組	特別支援、図画工作、安全
教　　諭	上 田　　恵	５ 年 １ 組	特別支援、音楽、特別活動、福祉
教　　諭	田 邊　　翔 太	５ 年 ２ 組	研究推進、理科、学力充実
講　　師	松 岡　　清 花	５ 年 ３ 組	生徒指導、家庭科、学力充実
教　　諭	武 末　　夏 野	６ 年 １ 組	生徒指導、図画工作、環境
教　　諭	木 村　　結 衣	６ 年 ２ 組	研究推進、体育、給食（食育）
教　　諭	北 脇　　な み	６ 年 ３ 組	特別支援教育コーディネーター、外国語、特別活動、異校種連携
教　　諭	瓦　　匡 代	通 級 指 導	特別支援教育コーディネーター、学力充実、教育相談
教　　諭	磯谷　みちよ	通 級 指 導	特別支援コーディネーター、生徒指導、図書館、教育相談
教　　諭	井原　麻由子		
教　　諭	小 澤　　歌 音		
教　　諭	新林　真惟子		
講　　師	小 林　　優		主幹軽減
講　　師	北垣内　智衣		１年生補助
講　　師	北野　佐保子		１年生補助
小中連携教員	松 本　　育 未		（精華町立精華中学校教員）
まなび・生活アドバイザー	嘉部　友美子		
教育業務支援員	髙 橋　　希 美		心の居場所サポーター
養 護 教 諭	市 川　　心		
栄 養 教 諭	髙 橋　　智 子		
講師（栄養）	谷 口　　真 紀		
事 務 職 員	池 水　　裕 子		学校事務
別室登校者対応指導員	三 浦　　珠 美		別室対応教育
別室登校者対応指導員	北垣内　智衣		別室対応教育
別室登校者対応指導員	友 久　　心 陽		別室対応教育
介　助　員	溝 川　　弘 子		特別支援教育
介　助　員	松 本　　真 紀		特別支援教育
給 食 調 理 員	濱田　まさみ		給食調理
給 食 調 理 員	上 村　　み き		給食調理
学校図書館司書	梶　　さ つ き		学校図書館運営
医療的ケア看護師	長 井　　寛 子		医療的ケア看護
スクールカウンセラー	笹田　世都子		
学　校　医	島 谷　　英 彦		
学 校 歯 科 医	藤 田　　和 弘		
学 校 薬 剤 師	松 本　　修 一		

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化	文化鑑賞会	相楽美術展鑑賞会	６年生を送る会
健康安全 体　　育	発育測定 視力検査・聴力検査 専門医検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科） 心電図検診 検尿 避難訓練・交通安全教室 体力テスト・水泳指導 非行防止教室 薬物乱用防止教室 陸上運動交歓記録会（６年）	発育測定 視力検査 検尿 避難訓練 運動会 相楽地方小学校駅伝大会	発育測定
遠足集団 宿　　泊	修学旅行（６年） 林間学習（５年）	社会見学	
勤労生産 奉　　仕	大掃除 入学式準備（６年）	大掃除 運動会準備（５・６年） 体験入学	大掃除 卒業式準備（５年） 体験入学

６．　みんなのかわにし応援団

(1)　活動目的

①　子ども達の健やかな成長と教育活動の充実

②　そのために家庭・学校・地域が協力し合う学びの環境づくり

③　多様な家庭のライフスタイル・働き方を尊重し、無理のない参加を保障する活動を目的とする。

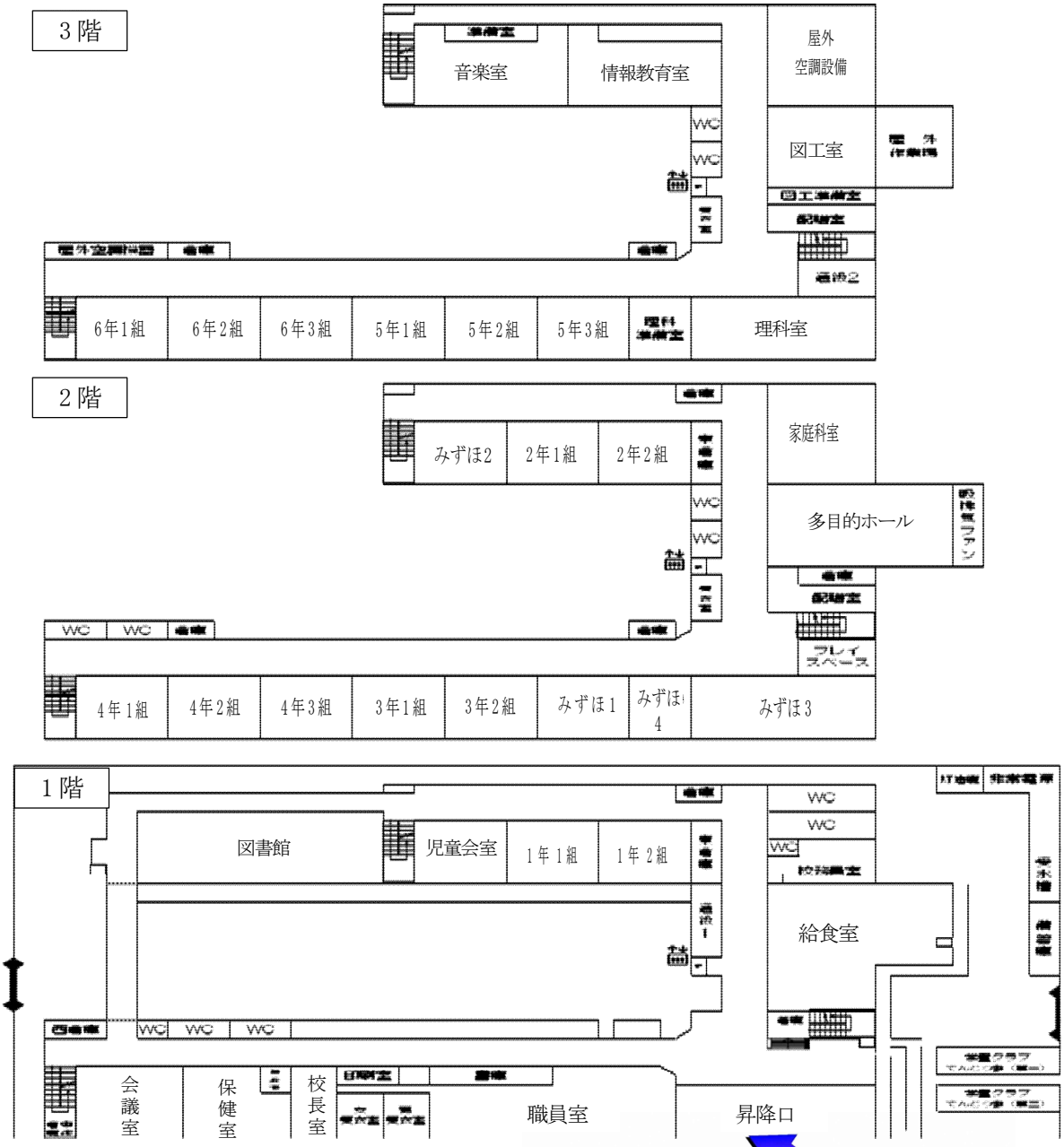
(2)　応援団役員

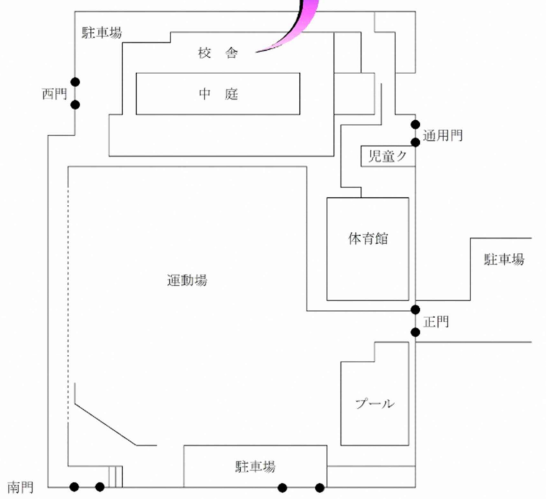
役職名	氏　名
会　長	金　城　　朋　未
副会長	松　井　　友里恵
	藤　堂　　加奈恵
会　計	林　　那津美

７．　学校運営協議会委員

氏　　名
村　　上　　栄
薮　　田　　清　　子
小　　関　　利　　恵
叶　　剛　　史
柴　　田　　薫

８． 学校施設





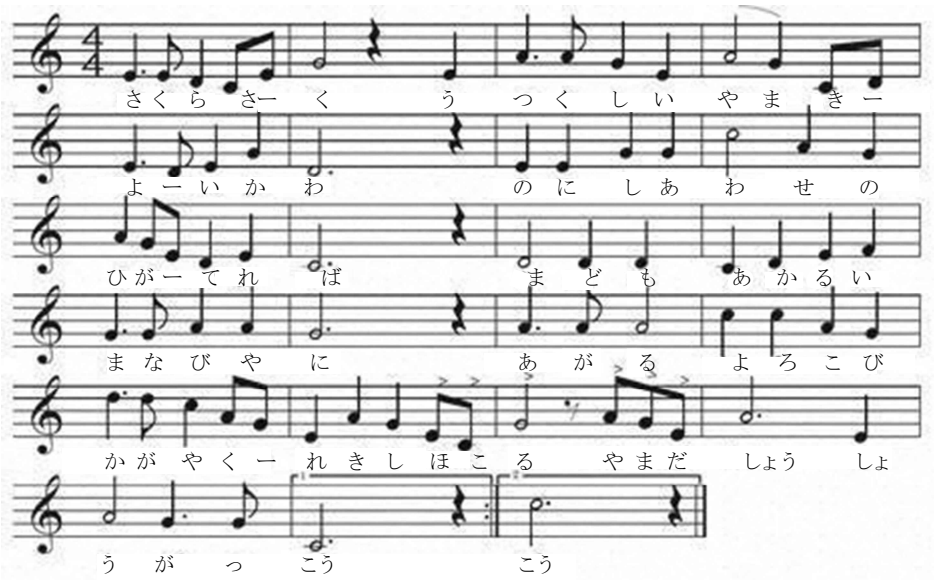
校地用地	23,214 ㎡
校舎面積	6,020 ㎡
屋内運動場	1,044 ㎡
運動場	9,982 ㎡
プール	25m×6コース

精華町立　山田荘小学校

所 在 地　〒619-0232
京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目２２番地１
電　　話　0774－72－0545　　ＦＡＸ　0774－72－0147
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/yamadasyou-es/

山田荘小学校　校歌

作詞
作曲　川上　よしかず



山田荘小学校校歌

作詞　川上　よしかず
作曲　川上　よしかず

一　さくら咲く　美しい山　清い川
野に幸の日が照れば
窓も明るい学び舎に
あがる喜び　かがやく歴史
誇る　山田荘小学校

二　育ちゆく　精華の南　すこやかに
四つの里の子　手をとって
窓も新し　学び舎で
ひろめる心　きたえるからだ
進む　山田荘小学校

１．　学校の沿革

明	5. 7.	山田村、乾谷村、柘榴村、他３村に相楽第７小学校区の吐師小学校が設立
	6. 3.	北稲八間村、山田村他１３村で吐師小学校が設立（旧吐師小学校は南校）
	6. 10.	北稲八間小学校、吐師小学校に分離
	8-11.	村ごとに学校が設立されるようになり、東畑村、乾谷村、柘榴村、山田村にそれぞれ尋常小学校が設立
	19. 7. 1	山田村、柘榴村、乾谷村、東畑村による尚徳尋常小学校が乾谷村に設立
	22. 4. 24	町村立合併に伴い山田荘村立第一尋常小学校と改称、同日東畑に第二尋常小学校が創立
大	11. 4. 1	山田荘村立山田尋常小学校を設立、第二尋常小学校を廃し、東畑分校とする
昭	3. 5.	講堂竣工
	16. 4. 1	山田荘国民学校と改称
	22. 4. 1	学校教育法施行に伴い、山田荘小学校と改称
	23. 4. 1	西校舎一棟増築
	26. 4. 1	町村合併により、精華村立山田荘小学校と改称
	28. 4. 1	本館校舎一棟増築
	30. 4. 1	町制施行に伴い、精華町立山田荘小学校と改称
	31. 11. 1	分校校舎改築
	32. 11. 17	全日本優良学校府代表（健康優良校）として表彰される
	34. 5. 1	鉄筋二階建校舎一棟改築
	36. 8. 16	プール新設（26m×6 コース）
	11. 5	校歌制定
	39. 9. 5	鉄筋二教室増築　更衣室　便所新設
	43. 2.	健康教育研究発表会記念に健康像設立
	44. 5.	こども郵便局表彰される（郵便局長賞）
	45. 2.	岩石園作成
	12.	鉄筋校舎防音工事完成
	46. 7.	冷暖房設備完備
	48. 3.	校門前農協撤去　自転車置場設置
	8.	校門前花壇作成　非常用階段設置
	49. 3.	分校運動場拡張　公民館を特別教室に改修
	50. 10.	府健康優良校と学校安全努力校として表彰される
	51. 10.	木造二階教室増築
	52. 11.	学校給食指導優良校として文部大臣より表彰される
	53. 1.	学校給食指導優良校として府教委より表彰される
	1.	給食指導優良校として記念碑を設立
	54. 4.	障害児学級開設
	9.	給食室拡張　分校保健室新設
	56. 3.	分校駐車場設置
	5.	京都府総合教育センター研究協力校として指定される
	9.	児童会の旗及び歌制定
	57. 6.	こども郵便局表彰（近畿郵便局長賞）
	58. 6.	こども郵便局表彰（郵政省　貯金局長賞）
	60. 4.	交通安全優良学校として表彰される
	6.	新校舎起工式
	10.	杉島文庫開設
	11.	京都府小学校教育研究大会算数研究発表
	61. 4.	新校舎移転開校
	11.	創立百周年記念式典挙行
	63. 10. 16	第 43 回国民体育大会（ソフトボール成人女子）開始式に参加

平　2. 2. 12　山城地方小・中学校音楽フェステバルに参加
　　3. 8.　7　吹奏楽コンクールに参加
平　4.　2. 2　全日本音楽フェスティバル西日本大会に参加
　　8. 7　吹奏楽コンクールに参加
　　5.　2. 5　京都府小学校教育研究大会音楽究発表
　　2. 7　全日本音楽フェスティバル西日本大会に参加
　　3. 31　山田荘小学校東畑分校を廃止し、東光小学校新設
　　6.　2. 25　第53回　全国教育美術展　学校賞　受賞
　　9. 23　全国都市緑化きょうとフェアオープニングセレモニーに参加
　　11. 13　山城地方小中学校音楽フェスティバルに参加（６年全員）
　　12. 25　「社会を明るくする運動」作文　法務大臣賞受賞
　　7.　4.　平成7・8年度　京都府小中学校教育実践パイロット校指定（特別活動）
　　8. 11.　7　平成7・8年度　府教委指定教育実践パイロット校（特別活動）研究発表会
　　10.　4.　6　北校舎増築（６教室＋コンピュータ室）
　　11.　9.　コンピュータ設置
　　13.　7.　創立百十五周年記念事業
　　15.　3.　音楽教室に空調設備設置
　　11. 27　次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業研究発表（精華西中中心）
　　16.　4.　府小研家庭科研究協力校指定（16～18年度）
　　「食」に関する指導の実践モデル市町村指定モデル校
　　17. 11. 18　京都府小学校教育研究大会　家庭科研究発表
　　18. 11. 17　近畿小学校家庭教育研究大会京都大会公開授業・分科会発表
　　19.　5.　平成19・20年度　文部科学省指定国語力向上モデル事業
　　5.　平成19・20年度　京のこども、夢、未来校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
　　20.　4.　平成20年度　特別支援教育充実事業に係る研究実践校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
　　4.　平成20・21年度　小・中連携教育実践研究実践事業（国立教育政策研究所指定）
　　21.　2.　京のこども・夢・未来校「ジョイントアップ研究開発」研究発表、文部科学省指定国語力向上モデル事業研究発表
　　4.　平成21・22年度　「ことばの力育成プログラム開発協力校（『やましろ未来っ子』研究推進校）
　　11.　ＰＴＡ活動の優秀校として、文部科学大臣賞を受賞
　　22.　4.　読書活動優秀実践校として、文部科学大臣賞を受賞
　　23.　1.　平成21・22年度　「ことばの力育成プログラム開発協力校」研究発表
　　4.　平成23・24年度研究指定事業「京の未来創造校」
　　24.　4.　平成24～26年度、文部科学省指定　研究開発校「人間力活動科」創設
　　25.　2.　平成23・24年度、研究指導事業「京の未来創造校」研究発表会
　　26.　2.　平成24～26年度、文部科学省指定　研究開発学校中間発表会
　　27.　2.　文部科学省指定　研究開発学校研究発表会
　　4.　平成27年度　文部科学省「研究開発学校」指定
　　28.　3.　ＰＣ教室機器更新（タブレット導入）、普通教室大型モニター設置、無線ＬＡＮ整備（９教室）
　　31.　4.　令和元年・2年度　京都府教育委員会研究指定事業「学びの深化プロジェクト実施校」
令　2.　4.　精華町立山田荘小学校・精華南中学校学校運営協議会設立
　　3.　3.　京都府教育委員会研究指定事業「学びの深化プロジェクト実施校」研究発表
　　3.　4.　１人１台のｉＰａｄを導入し、高速大容量の通信ネットワークを整備
　　国のＧＩＧＡスクール構想に基づき、全ての教室に大型モニタを配備

3. 10.　　中校舎便所改修工事
4. 11.　　北校舎・体育館便所改修工事
令 5. 11.　　「令和５年度山城地方教育実践フォーラム」授業実践発表
6. 1.　　南校舎便所改修工事
6. 4.　　通級指導教委室開設
7. 6.　　水泳学習業者委託

２．　学校教育方針

1.　経営方針

京都府教育振興プラン、精華町教育委員会「指導の重点」の理念の実現に向けて、学習指導要領、京都府「学校教育の重点」、京都府山城教育局「山城の教育」等を踏まえて、「未来を生き抜く力」を育み、子どもが輝く魅力ある学校づくりを目指す。

2.　教育目標

「夢をもち　心ゆたかに　たくましく 学びに向かい　未来を拓く子どもの育成」

3.　めざす児童像

(1)　進んで学び、やりぬく子[なりたい自分 めざすべき姿をイメージできる子]
主体的に学びに向かい、学んだことに価値や手応えを感じ、粘り強く学んでいく児童を育てる。

(2)　仲よく助け合う子[相手の話を聞き 自分の気持ちをしっかり伝える子]
一人一人のよさや違いを認め合い、思いやりを行動に移し、人とのつながりを大切にし、協働できる児童を育てる。

(3)　強く、たくましい子[学びを生かして 伸びる子]
自他の生命尊重を基盤とし、強くしなやかな意志を持ち、心身ともに健康で安全意識をもって輝いて生きる児童を育てる。

4.　めざす学校像

(1)　子どもたちの夢と希望をはぐくむ学校
(2)　教職員が学ぶ喜びを発信できる学校
(3)　教育環境の整備された美しい学校
(4)　家庭や地域に信頼される学校

5.　指導の重点

(1)　多様な子どもたち一人一人を大切にし、誰一人取り残すことなく
個性や能力を最大限伸ばす教育を目指す

①　学習指導
日々の教育活動の営みとして、つけたい力（資質・能力）を明確にした学習指導を行い、生きて働く「知識・技能の習得」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力の育成」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性の涵養」をバランスよく育成する。

②　学力充実（重点）
単元を見通した授業計画を通して、つけたい力を明確にした学習指導を、授業改善を核に組織的に進め、心理的安全性を土台とした非認知能力を育成するとともに基礎基本の定着を図る学力充実の取組、効果的なＩＣＴ機器の活用等の研究を通して、目標を持って学びに向かう児童を育成する。

③　特別支援教育
発達障害を含む障害のある児童一人一人の教育的ニーズに応じ、支援を必要とす

る児童の支援方針を明確にし、家庭との連携を大切にしながら、きめ細かな指導を行う。理解教育の充実。ユニバーサルデザイン授業の展開、教職員の専門性を向上させる。

(2)　生命を大切にする心、人を思いやり尊重する心、児童と教員・児童相互の温かい人間関係の醸成に努め、豊かな人間性を育む。

「基本的生活習慣の確立」「体力づくりの推進」「健康や安全に対する意識の向上」「食育の充実」等から健やかな身体の育成を図る。

①　人権教育・道徳教育

人権教育や道徳教育等を軸にして、生命を大切にする心、人を思いやり尊重する心を育て、児童と教員・児童相互の温かい人間関係の醸成に努め、「包み込まれている」という感覚を学校全体に醸成する。

同和問題・様々な人権問題の研修を通して、教員の人権感覚を磨き続ける。

②　生徒指導・教育相談

危機管理意識を持ち、積極的な教育相談活動と「教育的予防」の組織的な生徒指導により、児童にとって魅力のある学校をつくり、いじめ・不登校等を防止する。

スクールカウンセラー・まなび生活アドバイザー・関係機関との連携を図る。

③　特別活動・健康安全教育・体育科

特別活動（学級活動・各種行事）を通じて、子どもの繋がりを深め、よりよい人間関係作りをめざす。

食の安全・防犯指導等を通し、自己管理能力の向上を図る。

体育科・体育的行事等を通じ体力の向上を図る。

児童及び教職員の危機管理能力を育成するために、健康安全教育をより一層推進する。

(3)　ＩＣＴを活用した教育活動の推進、精華町の強みを生かした教育の推進を図り、社会の変化に対応する教育の推進を図る。

①　地域連携

学校・家庭・地域が、コミュニティとしてそれぞれの強みを活かしてつながり、学校運営協議会・地域学校協働本部事業を充実させ、地域とともにある学校づくりに努める。

②　校種間連携

幼児期から生涯を視野に入れた、連続性のある教育を進め、保育園・幼稚園・小学校・中学校の、学校間の連携を図りながら円滑な接続を図る。

③　ＩＣＴ機器の活用

情報化社会を生き抜くために、日常的にＩＣＴ機器を活用し、授業においてＩＣＴを効果的・効率的に活用する。

情報リテラシー・デジタルシチズンシップ教育等について発達段階に応じて計画的に指導する。

(4)　信頼を高める学校づくり

①　学校サポーター会議の充実･発展や地域支援コーディネーターの常駐等により、学校と保護者・地域との連携、協働し、地域にとっても共に生きる、共に未来を創る、ふるさととなる学校づくりを推進する。

②　地域が学校を支援する、また学校の子どもたちが、社会性を育成するため地域行事の担い手になるなど地域に貢献する双方向のボランティアの継続と活性化を図る。

③　学校教育活動への理解を広め、学校だよりやホームページによる情報発信に力を入れる。

④　家庭、地域、関係機関と連携、協働し、キャリア教育の視点をもち、地域を愛する子どもを育てるとともに地域貢献の在り方について考える。

(5)　組織体制と教職員の指針

①　「京都府の教員に必要な５つの力」の向上に努め、指標を踏まえ、計画的かつ効果的に資質能力の向上に向けて取り組み、魅力ある教員を目指す。

②　組織的な文書管理体制を確立する。

③　教職員相互の連携・協働による組織としての「学校力」の向上を図る。

④　「正確性・迅速性・透明性」に基づく組織的で丁寧な対応をする。

6.　研究主題

「児童全員の非認知能力が高まる・光り輝く授業づくり」

～児童一人一人を認め・大切にしながら～

３．　児　童　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別児童数

学　年	特別支援学級 こすもす				１　年		２　年		３　年		４　年		５年		６　年	合計
組	1	2	3	4	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	
男　子	3	4	3	0	8	10	9	8	10	9	8	9	10	10	11	112
女　子	3	2	1	1	10	11	14	12	10	11	12	11	15	14	24	151
小　計	6	6	4	1	18	21	23	20	20	20	20	20	25	24	35	263
合　計	17				39		43		40		40		49		35	263
家庭数	24				27		20		20		38		48		38	195

(2)　地域別児童数

地　域	１　年	２　年	３　年	４　年	５　年	６　年	合　計
桜が丘一丁目	9	14	6	8	9	10	56
桜が丘二丁目	13	13	11	14	11	12	74
桜が丘三丁目	7	6	11	7	11	4	46
桜が丘四丁目	6	7	7	9	12	7	48
エスペローマ	2	1	4	0	1	1	9
柘　　榴	1	2	1	2	2	1	9
乾　　谷	0	1	1	1	2	1	6
山　　田	4	2	2	3	2	2	15
合　　計	42	46	43	44	50	38	263

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	校務分掌
校　　長	重村　直志		
教　　頭	田村　琴恵		
教　　諭	稲葉　穣	教　　務	教務主任、保健主事、学力充実、情報教育
教　　諭	新家　将吾	理科専科	生徒指導、児童理解教育、理科
教　　諭	田口　由香里	こすもす１組	特別支援教育、キャリア教育
教　　諭	清末　友哉	こすもす２組	特別支援教育、社会科、特別支援教育コーディネーター
教　　諭	清田　志帆	こすもす3組	特別支援教育、特別支援教育コーディネーター
教　　諭	池田　善樹	こすもす４組	特別支援教育、環境教育、道徳教育
講　　師	帆足　仁務	１年１組	福祉教育、体育科
教　　諭	西田　友香	１年２組	人権教育、国語科
教　　諭	藤川　　僚	２年１組	重点研究、算数科
講　　師	樋口　　玲	２年２組	給食教育（食育）、図画工作科
教　　諭	辻本　直也	３年１組	安全教育、総合的な学習の時間
教　　諭	吉田　光孝	３年２組	人権教育、道徳教育
教　　諭	古川　　操	４年１組	教育相談、音楽科
教　　諭	笹岡　和宏	４年２組	国際理解教育、外国語
教　　諭	大釜　詩朗	５年１組	福祉教育、家庭科
教　　諭	新田　祐子	５年２組	図書館教育、社会科
教　　諭	川田　芽依	６年１組	特別活動、図書館教育
教　　諭	三川　ちさと	通級指導	情報教育、特別支援教育コーディネーター
教　　諭	谷村　　愛	育児休業	
養護教諭	矢野　詩歩		健康教育、教育相談
小中連携教員	羽切　　薫	小中連携	（精華南中学校教員）
まなび・生活アドバイザー	森本　洋介		
教員業務支援員 初任者指導	永井　　淳		心の居場所サポーター
特別支援教育指導員	渡邊　朋恵		特別支援教育　個別補充学習
初任者指導支援員	森居　奈弓		
初任者指導支援員	岩井　祐子		
事務職員	辰馬　須美子		学校事務
特別支援員	馬場　奈都子		特別支援教育
特別支援員	市川　美智代		特別支援教育
別室登校者対応指導員	寺山　真理子		別室対応指導
地域コーディネーター	池田　照子		
給食調理員	植田　咲子		給食調理
給食調理員	水本　　淳		給食調理
学校図書館司書	赤松　智子		学校図書館運営
スクールカウンセラー	金子　真理子		
学校医	芳川　伸治		
学校歯科医	田上　　篤		
学校薬剤師	中村　政美		

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化	１年生を迎える会	焼き物展 文化鑑賞会	書き初め展 ６年生を送る会
健康安全 体　　育	発育測定 視力検査 聴力検査 専門医検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科） 検尿 心臓検診 避難訓練 交通安全教室 体力テスト 非行防止教室 陸上運動交歓記録会（６年）	発育測定 視力検査 マラソン前検診 薬物乱用防止教室 避難訓練 運動会 マラソン記録会 駅伝大会（５，６年）	発育測定 避難訓練
遠　　足 集団宿泊	林間学習（５年） 修学旅行（６年）	社会見学	
勤労生産 奉　　仕	入学式準備 大掃除	運動会準備 大掃除	卒業式準備 大掃除

６．　ＰＴＡ

(1)　本年度の活動目標

①　会員の研修と相互の連帯感を深める。

ア　ＰＴＡ各種活動の充実を図る。

イ　親と子のふれあいを深め、子どもたちの校外活動の充実を図る。

②　専門委員会活動の充実を図る。

(2)　ＰＴＡ本部役員

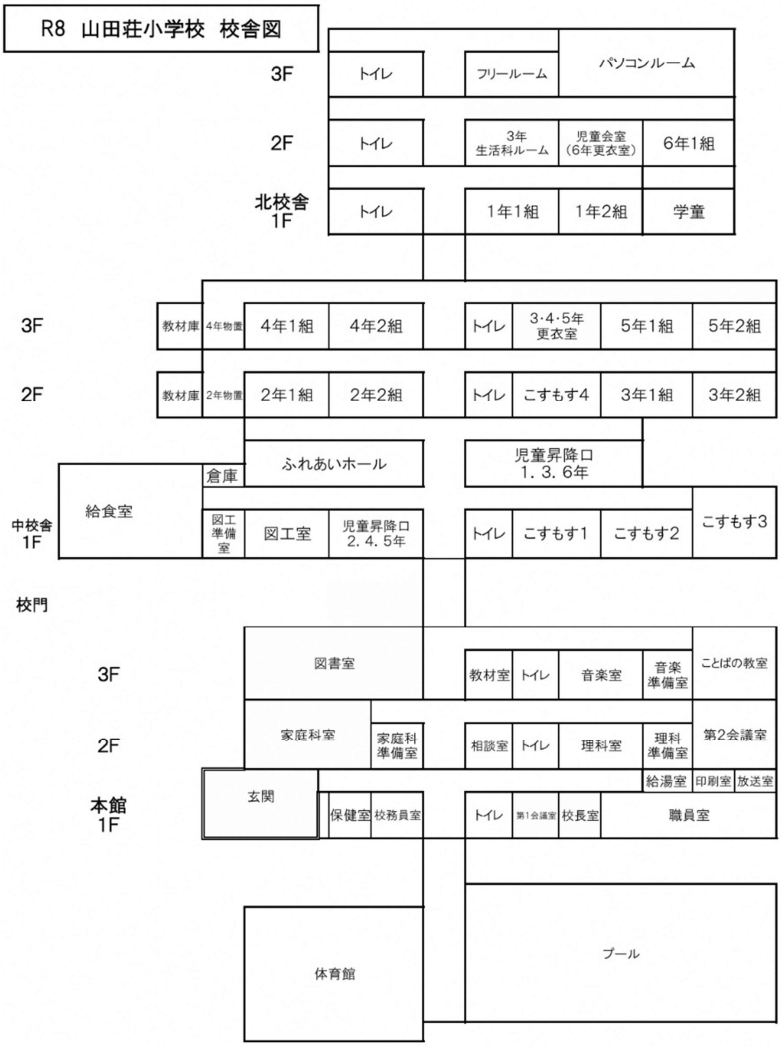
役職名	氏　名
会　長 会　計	久 保　　愛　歩
地域安全委員長	島 﨑　　美　和

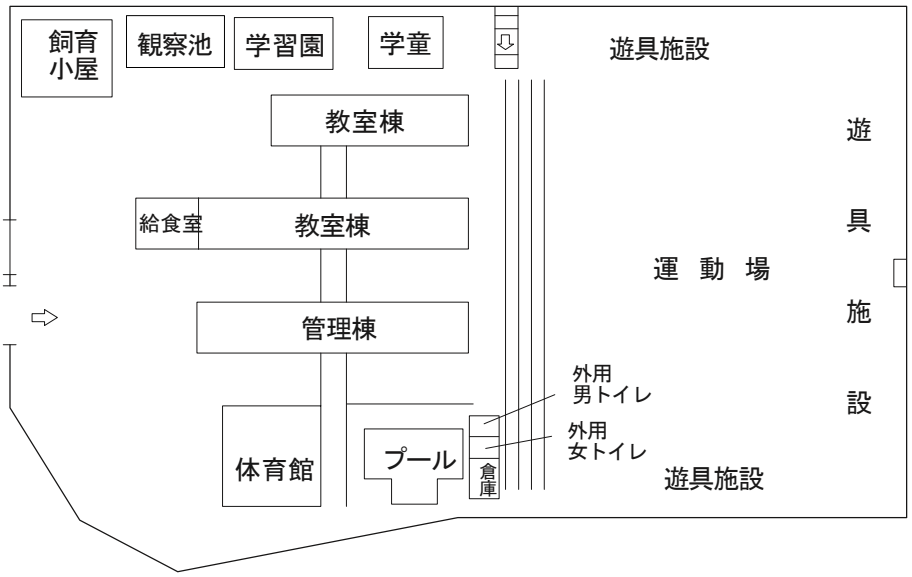
７．　学校運営協議会委員

氏　名	
田　中　　智　美	飯　田　　智香子
岩　本　　光　雄	野　﨑　　奈緒美
杉　原　　孝　司	重　村　　直　志
澁　谷　　冨美子	田　村　　琴　恵
上　村　　晴　彦	藤　　秀　成
髙　鍋　　房　美	脇　本　　亜　矢

８． 学校施設

校地面積　29,000 ㎡
校舎面積　7,243 ㎡
体育館　959 ㎡
運動場　10,950 ㎡
プール　25m×6 コース、
6m×10m



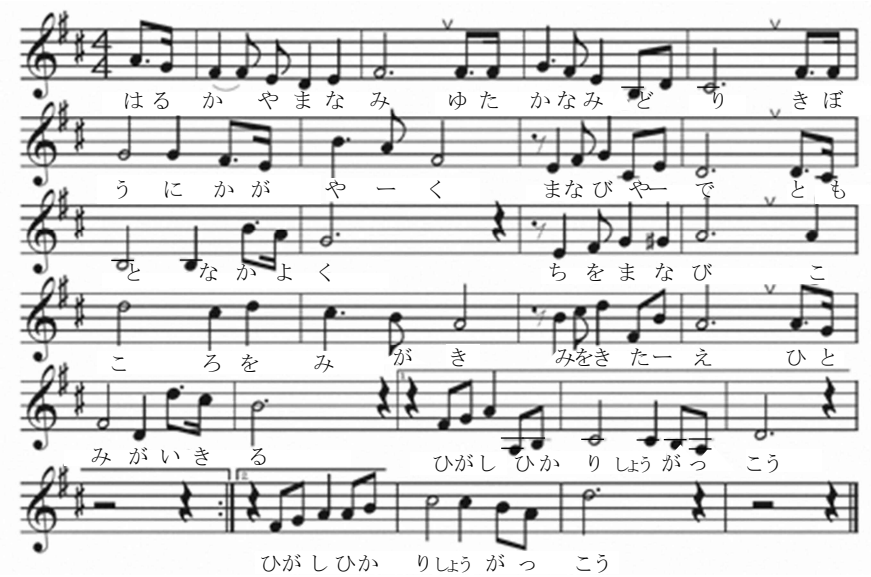


精華町立　東光小学校

所 在 地　〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台七丁目４３番地１
電　　話　0774－95－0400　　Ｆ Ａ Ｘ　0774－95－0401
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/higasihikari-es/

東光小学校　校歌

作詞　遠藤　　忠
作曲　米澤　正展



東光小学校校歌

作詞　遠藤　忠
作曲　米澤　正展

一　はるか山なみ　豊かな緑
希望に輝く　学びやで
友となかよく　智を学び
心をみがき　身をきたえ
ひとみが生きる　東光小学校

二　未来にひろがる　文化のかおり
光あふれる　学びやに
望みも高く　集いし我ら
つくる歴史と　伝統が
とわに栄える　東光小学校

１．　学校の沿革

平 5. 4. 6	山田荘小学校東畑分校の廃校に伴い、山田荘小学校より分離、東光小学校として開校
6.15	京都府教育委員会より、国際理解教育モデル校の指定を受ける。(3 年間)
6. 2.26	東光小学校校歌発表会
4. 1	東光小学校ＰＴＡ発足
8. 4. 1	ティーム・ティーチング実施校の指定を受ける。 平成８・９・10 年度社会福祉協力校の指定を受ける。(府)
9.10.20	運動場に総合遊具設置
10. 4. 1	平成 10・11 年度　京都府小学校教育研究協力校（図画工作科）の指定を受ける。
11. 7.30	情報教育にコンピュータ設置（22 台）
10.22	京都府小学校教育研究会図画工作科研究大会開催
12. 4. 1	障害児学級「かしのき学級」開設
14. 4.～	10 周年記念事業（記念植樹・記念文集・人形劇・航空写真）
17. 4. 1	第 2 次工事終了（6 普通教室増設）
18.11.17	第 36 回近畿小学校家庭科教育研究会京都大会開催
19.11.12	創立 15 周年記念　航空写真撮影
20. 8.	情報教育室のコンピュータのリニューアルと増設（40 台）
24. 4. 1	京都府教育委員会土曜日教育実践研究指定校（～令和元年）
6.16	創立 20 周年記念式典
6.	普通教室にドライミスト設備設置
25. 3.29	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウインドアンサンブル）
26.12.17	子どもたちの“こころを育む活動”優秀賞
27. 3.23	精華町民文化賞　ジュニア文化賞　受賞（ウインドアンサンブル）
28.12.10	第 18 回「みどりの小道」環境日記コンテスト　団体の部金賞
29. 2.	情報教育室にタブレット型コンピュータ増設（40 台）
30. 3.26	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウインドアンサンブル）
6.19	京都府市町村・地域自治功労者表彰
12.	普通教室エアコン設備設置
12. 8	第 20 回「みどりの小道」環境日記コンテスト　団体の部　金賞
31. 3.27	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウインドアンサンブル）
令 3.11.20	第 40 回全日本小学生バンドフェスティバル金賞(ウインドアンサンブル)
4. 1. 6	第 54 回京都府アンサンブルコンテスト金賞(ウインドアンサンブル金打８重奏)
令 5. 4. 1	大型提示装置、１人１台端末運用開始 学校運営協議会設置 京都府教育委員会「食に関する指導充実事業」実践中心校（～令和６年度）
9.22	創立 30 周年記念行事
11.18	第 69 回近畿、算数・数学教育研究京都大会公開授業（全学年）、分科会会場
12.10	第 24 回「みどりの小道」環境日記コンテスト　団体の部金賞

	12.25	第55回京都府アンサンブルコンテスト金賞（ウィンドアンサンブル管楽6重奏）
令 5.	3.30	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウィンドアンサンブル）
	12. 8	管理棟・体育館のトイレ改修
	12.24	第56回京都府アンサンブルコンテスト金賞（ウィンドアンサンブル金打8重奏）
令 6.	2. 1	運動場に遊具の雲梯設置
	3.28	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウィンドアンサンブル）
	12.27	運動場に複合遊具設置（ジャングル滑り台）
令 7.	2.28	南校舎・中校舎のトイレ改修
	3.24	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウィンドアンサンブル）
	8.23	第29回関西小学生バンドフェスティバル金賞(ウインドアンサンブル)
	12.20	第58回京都府アンサンブルコンテスト金賞（ウィンドアンサンブル木打7重奏）
令 8.	1.17	第27回「みどりの小道」環境日記コンテスト　団体の部　優秀賞
	3.24	精華町民文化賞　ジュニア文化賞（ウィンドアンサンブル）

２．　学校教育方針

1.　経営方針

変化の激しい社会を生きていく子どもたちに、社会総がかりで『生きる力』（「主体的に学び考える力」「多様な人とつながる力」「新たな価値を生み出す力」）を身に付けていくことが求められている。そのためには保護者・地域社会との連携・協働の下に主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくりを推進し、確かな学力の育成や、豊かな人間性、健やかな心と体の育成などを目指して計画的・組織的な学校経営に努めなければならない。

精華町施政方針・教育委員会指導の重点を尊重し、本校・地域・精華町の特色を生かした取組を進める中で「公教育の質の向上」に努め、児童、保護者、地域、教職員が「誇りに思える学校」の創造を目指す。

2.　教育目標

心身ともにたくましく、自ら考え行動する児童の育成
～「教える」から「問いかける」教育の実現を目指して～

3.　めざす児童像

(1)　なかよく　…… やさしく仲間を大切にする子
(2)　かしこく　…… 深く考え、進んで学ぶ子
(3)　たくましく…… 元気に粘り強く取り組む子

4.　めざす学校像

(1)　子どもが互いの良さを認め合い、楽しく生き生きと活動する学校

(2)　保護者・地域住民の信頼を高め、子どもの成長を目指して共に取り組む学校
(3)　教職員が子どもへの指導の充実に向けて協力し、チームとして計画的・組織的に取り組む学校

5.　指導の重点

(1)　主体的・対話的で深い学びによる確かな学力の育成

①　基礎的・基本的な学習を重視するとともに、学ぶ意欲、思考力・判断力・表現力の育成に努め、個に応じた指導を推進する。

ア　学習指導要領の趣旨を踏まえた指導目標・指導内容の明確化と計画的な指導・評価の充実

イ　体験的な学習や出前授業、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善などによる学習意欲の高揚

ウ　家庭との連携による発達段階に応じた学習習慣・学習規律の定着

エ　１人１台端末を含め、ＩＣＴの効果的な活用と教職員のスキルアップ

オ　教科担任制の推進

②　教職員個々の創造性を発揮するとともに、相互のよさに学び合う開かれた学年・学級経営を推進する。

ア　個々の児童の確かな理解と個性の伸長

イ　互いに学び合い高め合う人間関係の育成

③　発達障害を含む障害のある児童一人一人の自立や社会参加を目指した特別支援教育を推進する。

ア　個別の指導計画による個に応じた指導の充実と指導方法の工夫改善

イ　学び合い、育ち合う力を育てるための交流及び共同学習の推進

ウ　障害や特別支援教育についての正しい理解と認識を深める指導の工夫

エ　各学校間や関係諸機関と連携し、相談を重視した修学の指導や進路指導の充実

(2)　豊かな人間性をはぐくむ教育の推進

①　豊かな人間性を育成する教育の充実に努める。

ア　「特別の教科 道徳」を要とした教育活動全体を通じた道徳教育の推進

イ　道徳的実践の場としてのボランティア活動・社会奉仕活動・自然体験活動など豊かな活動の重視と家庭・地域との連携・協働

②　望ましい集団を通して、自主的、実践的な態度を育成する特別活動の充実に努める。

ア　児童の参加意欲や自己表現力を高める活動内容の工夫

イ　継続的な取組の成果を重視した特色ある活動の推進

③　生命の尊厳と人権を尊重する態度、実践力を育てる教育の充実に努める。

ア　互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる教育活動の推進

イ　生活の中での不合理や矛盾に気付き、主体的に解決しようとする実践的な態度の育成

④　児童の個性を認め、良さを伸長する生徒指導を推進する。

ア　児童の生活実態の把握や内面理解による深い信頼関係に基づく好ましい人間関係の育成

イ　いじめ・不登校などに対応できる組織的な教育相談体制と教育相談機能の充実

ウ　児童の健全育成を図る家庭・地域社会との連携・協働

⑤　自他の生命を尊重し、自ら健康な生活を営む実践力を育成する健康安全教育を推進する。

ア　健康安全に関する総合的な認識を高めながら、心身ともに健康に生き抜く能力の育成

イ　身の回りの危険に気付き、正しく判断し、自ら安全な行動がとれる能力と態度の育成

ウ　運動することの楽しさや喜びを味わう体育・スポーツ活動の充実

エ　「東光小学校区学校安全連絡会議」など保護者・地域・関係機関と連携・協働した学校内外の安全確保と迅速な対応の徹底

オ　学級担任、栄養教諭、給食調理員との連携による食育の取組の充実

カ　教職員の共通理解と保護者理解を基盤にした生命の尊厳や人権尊重の認識を高める教育の推進

(3)　社会の急激な変化に対応する教育の推進

①　広い視野と豊かな人権感覚を持ち、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育を推進する。

ア　国際社会に生きる日本人の育成という観点からの体験的な学習や課題解決型学習の充実

イ　人材の効果的な活用によるコミュニケーション能力の育成や言語・文化に対する理解を深める外国語教育の導入

②　身近な環境に意欲的に関わり、問題を見いだし、考え判断し、よりよい環境作りや環境の保全に配慮した望ましい行動がとれる態度を育成する環境教育の充実を図る。

ア　植物の栽培など多様な体験活動の推進

イ　継続的な活動を通した環境作りへの参加意欲の高揚

③　学校教育のＩＣＴ化を推進し、デジタル・シティズンシップ教育の視点を取り入れ、情報及び情報手段を適切に選択・活用する能力等の情報リテラシーを育成する。

ア　情報機器を身近な道具として適切に使いこなせる能力と態度の育成

イ　プライバシーの保護や著作権など基本的な情報モラルやマナーの育成

ウ　情報教育関連の研修会の開催による教職員のＩＣＴ活用・指導能力の向上

(4)　教職員の資質能力の向上

①　教職員の使命と責任

教育関係諸法令を遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな見識と専門性に基づく自己の資質能力の向上に努める。

ア　自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な研究実践の追究

イ　教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上

ウ　「正確性・迅速性・透明性」の原則に基づく丁寧な児童・保護者対応の実施（説明責任と同意）

エ　組織的な文書管理体制の確立とコンプライアンス（遵法）意識による職務遂行

②　教職員研修

社会の急激な変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられるように努める。

ア　研究授業を要とした重点研究の活性化と指導力の向上

イ　組織的な研修体制の確立と研修会への参加意識の高揚

③　地域とともにある学校づくりの推進

学校評価などを活用しながら家庭・地域との連携を推進し、保護者・地域の信頼を高める学校作りに努める。

ア　人的・物的資源の開発と積極的で効果的な活用

イ　ホームページや各種便りなどの活用による積極的な教育活動の発信

ウ　組織的な文書管理体制の確立と意識的な職務遂行

エ　学校運営協議会制度の活用

6.　研究主題

子どもたちの「学ぶって楽しい！」を育てるための授業の在り方

～資質・能力の育成を通して自ら学ぶ子どもを育てる単元デザインの研究～

３．　児　童　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別児童数

学　年	特別支援学級 かしのき			1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計
組	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	
男　子	1	2	2	12	11	12	11	11	11	14	16	15	15	20	19	177
女　子	0	4	0	13	14	15	15	14	15	13	13	17	15	15	17	189
小　計	1	6	2	25	25	27	26	25	26	27	29	32	30	35	36	352
合　計	9			50		53		51		56		62		71		352
家庭数	9			26		26		34		42		61		71		269

(2)　地域別児童数

地　域	1　年	2　年	3　年	4　年	5　年	6　年	合　計
東　　畑	3	1	5	4	4	3	20
光台二丁目	1	2	2	0	1	2	8
光台四丁目	13	10	12	7	12	16	70
光台五丁目	1	2	3	1	4	5	16
光台六丁目	11	11	10	16	13	13	74
光台七丁目	10	14	8	13	12	14	71
光台八丁目	4	9	11	10	13	15	62
光台九丁目	8	4	3	6	5	5	31
合　　計	51	53	54	57	64	73	352

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	校務分掌
校　　長	友久　庄一		
教　　頭	菊谷　大志		
教　　諭	松浦　晃太朗	教　　務	教務主任　福祉教育　総合的な学習
教　　諭	泉　　史織	ことばの教室	特別支援コーディネーター、国語科
講　　師	小川　宝潤	かしのき1組	人権教育、理科
教　　諭	多田　莉子	かしのき2組	特別支援コーディネーター、図画工作科
教　　諭	棚田　幸子	かしのき3組	環境・勤労生産教育、音楽科
教　　諭	北口　晶子	１　年　１　組	図書館教育、道徳
教　　諭	平松　京子	１　年　２　組	人権教育、音楽科
講　　師	長尾　佳紀	２　年　１　組	安全教育、生活科
教　　諭	足立　美希子	２　年　２　組	教育相談、算数科
教　　諭	北田　夏妃	３　年　１　組	国際理解、図画工作科
教　　諭	清水　裕史	３　年　２　組	安全教育、体育科
教　　諭	河島　千都世	４　年　１　組	給食教育、国語科
教　　諭	中川　翔太	４　年　２　組	特別活動、社会科
教　　諭	今里　慧太	５　年　１　組	生徒指導、情報教育科、体育科
教　　諭	山田　律子	５　年　２　組	特別活動、家庭科
教　　諭	西田　隆哉	６　年　１　組	人権教育、体育科
教　　諭	北島　真喜	６　年　２　組	重点研究、外国語科
講　　師	永田　紀子	理　科　専　科	キャリア教育、理科
教　　諭	片山　理沙		
教　　諭	吉岡　真子		
非常勤講師	西置　真弓		教員業務支援員、心の居場所サポーター
養護教諭	辻　　順子		健康教育、教育相談
栄養教諭	井上　瑞穂		給食教育、家庭科、健康教育
講師（栄養）	木村　元秋		給食教育、家庭科、健康教育
事務職員	向井　博子		学校事務、庶務部
まなび・生活アドバイザー	森本　洋介		
特別支援員	茂野　亜由美		
介　助　員	小和田　好美		特別支援教育
介　助　員	中田　まゆみ		特別支援教育
別室対応支援員	尾﨑　みずほ		
給食調理員	佐藤　　翼		給食調理
給食調理員	辻　　真文		給食調理
給食調理員	村上　　恵		給食調理
学校図書館司書	塗野　友美		学校図書館運営
スクールカウンセラー	佐々木　幸子		教育相談
学　校　医	山田　悦雄		
学校歯科医	吉田　俊彦		
学校薬剤師	中村　政美		

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化	１年生を迎える会 文化鑑賞会		書き初め大会 ６年生を送る会
健康安全 体　　育	身体測定 視力検査 聴力検査 内科・結核検診 歯科検診 眼科検診 耳鼻科検診 心臓検診 検尿 避難訓練 修学旅行前検診 林間学習前検診 体力テスト 交通安全教室 薬物乱用防止教室 陸上運動交歓記録会（６年）	身体測定 視力検査 検尿 運動会練習 運動会 避難訓練 800m走前検診 800m走大会	身体測定 視力検査 避難訓練
集団宿泊 遠　　足	林間学習（５年） 社会見学	修学旅行（６年） 社会見学	
勤労生産 奉　　仕	大掃除 入学式準備・片付	大掃除 運動会準備	大掃除 体験入学 卒業証書授与式準備・片付

６．　ＰＴＡ

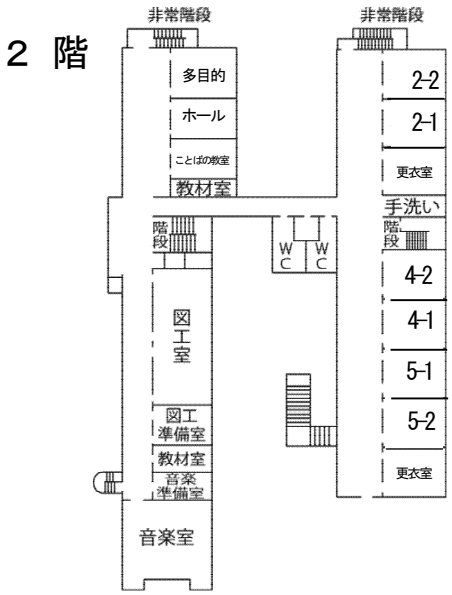
令和８度のＰＴＡ活動は、本部役員の立候補者がないため休止

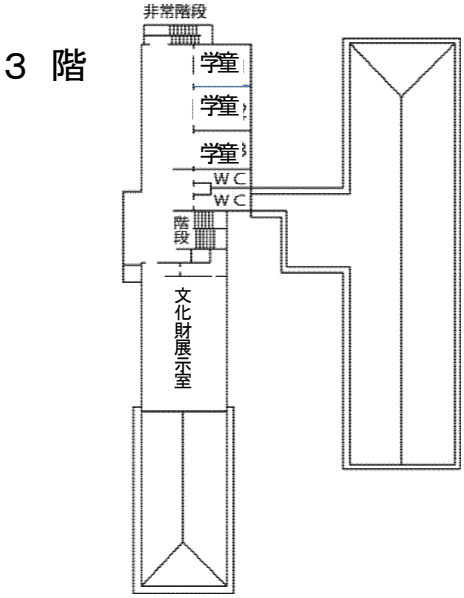
７．　学校運営協議会委員

氏　名
岩　前　宏　佳
片　岡　佐知子
鎌　仲　由利子
吉　田　英　子
友　久　庄　一
菊　谷　大　志

８． 学校施設

校地面積　35,058 ㎡
校舎面積　6,206 ㎡
体育館　1,163 ㎡
運動場　11,600 ㎡
プール　25m×6 コース・低学年用プール



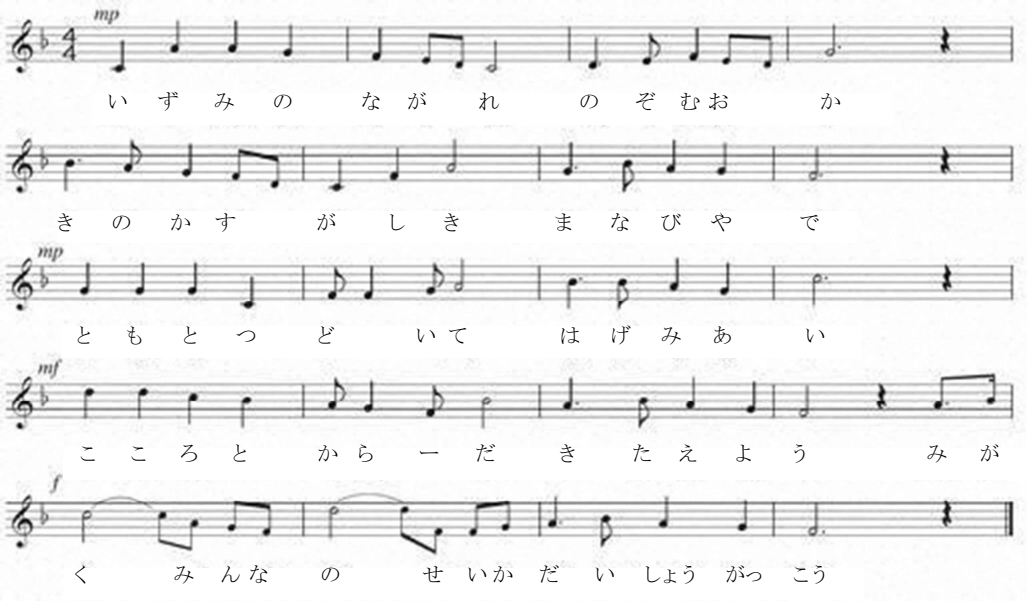


精華町立　精華台小学校

所 在 地　京都府相楽郡精華町精華台一丁目２番地１
電　　話　0774－98－0310　　郵便番号　619-0238
Ｆ Ａ Ｘ　0774－98－0312
http://www.kyoto-be.ne.jp/seikadai-es/

精華台小学校　校歌

作詞　駒　　好修
作曲　森永　朋子



精華台小学校校歌

作詞　駒　好修
作曲　森永　朋子

一　泉のながれ　望む丘
木の香すがしき　学び舎で
友と集いて　はげみあい
心とからだ　きたえよう
みがく　みんなの　精華台小学校

二　歴史のほこる　ふるさとに
愛と自然を　はぐくみて
仲よくともに　歩みゆく
豊かな心　あたためて
のびる　みんなの　精華台小学校

三　未来にむかう　精華台
科学の進む　けいはんな
世界の友と　語りつつ
世紀の文化　創る日々
ひらく　みんなの　精華台小学校

１．　学校の沿革

平	13.	4.	1	精華町立精華台小学校創立
		4.	5	精華町立精華台小学校竣工式
		4.	6	精華町立精華台小学校開校式
		9.	11	精華町立精華台小学校ＰＴＡ発足
	14.	2.	22	精華町立精華台小学校『校歌』発表会
		5.	27	平成 14・15・16 年度　社会福祉協力校の指定を受ける。
	15.	4.	1	児童増に伴う校舎増築工事着工
		4.	1	障害児学級「わかば学級」開設
		8.	29	南校舎竣工（２階建８教室）
		11.	27	平成 13・14・15 年度文部科学省指定（京都府南部地域）次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業研究発表
	16.	4.	9	財団法人京都府交通安全協会より交通安全の取組に対して表彰状を受ける。
		4.	30	京都府公立学校教職員評価制度指定校を受ける。
		6.	9	京都府と友好提携のオクラホマ州の青年を受け入れ国際交流を行う。
		6.	14	平成 16・17・18 年度「子どもの体力向上実践事業」文部科学省指定（精華台小学校地区）を受ける。
		8.	1	乳児院・児童養護施設「京都大和の家」が開所される。（南稲地区）
		9.	1	児童増加に伴い第４学年を学級再編成し、１学級の増加となる。
	17.	3.	1	「人権の花」の取組により、京都府地方法務局　京都府人権擁護委員連合会より感謝状を受ける。
	17.6～18.3			文部科学省指定「子どもの体力向上実践事業」実践校
	17.	11.	8	米国オクラホマ州ノーマン市　ハラルド・ハラルソン市長が学校訪問
	20.	4.		平成 20 年度「学校評価の充実・改善のための実践研究」事業実践校
		11.		特別支援学級「わかば学級」増設に伴う校舎増築工事着工
	21.	2.		新館竣工（特別支援学級２教室）
	27.	9.		創立 15 周年事業　航空写真撮影
	29.	9.	1	相楽地方通級指導教室「精華台教室」開設
	31.	4.	1	府小研図画工作科の研究協力校として指定（３年間） 「つくりだす喜びを感じ、自らの思いを表現できる児童の育成 ～　進んで学び、高め合う図画工作科の授業　～　」
令	3.	1.	29	府小研図画工作科２年次研究発表会
		3.	11.	19	府小研図画工作科３年次研究発表会
		8.	2.	27	普通教室棟・体育館便所改修工事

２． 学校教育方針

1. 経営方針

京都府や精華町の教育の重点に掲げられる基本理念や基本方針実現を視野に、創意工夫ある学校づくりを目指す。

(1) 人権教育

すべての人の尊厳・人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合いながら、主体的に行動し、たくましく生き抜く力の育成を目指した人権教育を総合的に推進する。

(2) 豊かな学びの創造

基礎的・基本的な内容の確実な定着、個性を生かす教育の充実を目指し、確かな単元構想に基づく「わかる授業」を一層推進するとともに、「総合的な学習の時間」などを通じて体験的・問題解決的な学習活動を展開する。

(3) 不登校、いじめゼロをめざす

発達支持的生徒指導の機能を活かし「楽しい学校」と「児童の心理的安全」「魅力ある学校」の創造による児童の居場所づくりを進め、不登校やいじめ未然防止“以前”の『不登校・いじめの雰囲気すらない』学校を目指す。

(4) 地域を愛し、地域に愛される学校

・地域人材・素材の有効な活用

・地域との連携

・学校運営協議会の積極的な開催

・年間を通しての「いつでも参観」の実施

(5) 働き方改革の推進

・「チーム学校」の確立

・教員がいきいきと児童と向き合える時間の確保

・“働きがい”と“働きやすさ”の創造

・教職員とその家族の“幸せ実現”

2. 教育目標

「居場所づくり」「絆づくり」「授業づくり」を通した、未来を豊かに生きる児童の育成

3. めざす児童像

(1) 「進んで学ぶ子」

すべての人の尊厳・人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合いながら、主体的

に行動し、たくましく生き抜く力の育成を目指した人権教育を総合的に推進する。夢と希望を持ち、学び続け、未来を見通し、自らの人生を舵取りすることができる力を持った児童を育てる。

(2)　「心豊かで思いやりのある子」

人権感覚・道徳心を身につけ、仲間とのつながり、絆を大切にし、より良く生きる児童を育てる。

(3)　「元気でたくましい子」

失敗を恐れず挑戦し続ける意志をもち、たくましく生きる児童を育てる。

4.　令和８年度 Key Word

(1)「居場所づくり（安心安全）」

(2)「絆づくり」

(3)「授業づくり」

5.　指導の重点

(1)　基礎・基本の徹底による学力の充実・向上と個性を生かす教育の推進

①　指導目標を明確にした「確かな学力」の育成と「個性を伸ばす教育」の充実並びに主体的・対話的で深い学びにつながる授業改善の推進

ア　「ことばの力」をはぐくむための各教科等における創造的な言語活動の充実（図書活動）

イ　児童の興味・関心を高めるための教材研究と、基礎・基本の定着

ウ　ＩＣＴを効果的・効率的に活用する学習活動を通した、児童の情報活用能力の育成

エ　学びのパスポートの個人へのフィードバックや経年比較を通した児童の学力分析

オ　重点研究を通した意見をつなぐ話し合いの工夫

カ　コミュニケーション能力や課題解決能力、粘り強さなどの非認知能力の育成

②　教職員個々の専門性と創造性を発揮するとともに、児童の居場所づくりを推進できる学年・学級経営の推進

ア　個々の児童の確かな理解と個性の伸長にもとづく「居場所づくり」の推進

イ　互いに学び合う・高め合う人間関係の育成（重点研究を通したあたたかい相互関係づくり）

③　発達障害を含む障害のある児童一人一人の教育ニーズに応じた特別支援教育の推進

ア　校内委員会の機能的な活用に基づく、児童支援の校内体制の充実

イ　個々の児童に対する「個別の教育支援計画」「個別の指導計画」等の活用と指導

方法の工夫改善

(2)　豊かな人間性を育む教育の推進

①　道徳教育を推進する校内体制の整備と全教職員の共同による道徳教育の推進

ア　「規律を重んじる心」や「多くの人と交わる力」を重点とし、児童の実態に即した年間指導計画の改善と別葉の作成

イ　授業の中に問題解決的な学習、体験的な学習を取り入れた「考える道徳」「議論する道徳」の推進

②　生命の尊厳と人権を尊重する態度や実践力を育てる教育の充実

ア　互いの個性や価値観の違いを認め、自他を尊重する態度を育てる人権教育の推進

イ　生活内の不合理や矛盾に気づき、自ら解決しようとする態度の育成

③　児童の個性の伸長と社会的資質・能力・態度の育成を図る生徒指導の推進

ア　発達支持的な生徒指導を生かした教育活動の推進

イ　いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期対応のできる指導体制の確立と教育相談機能の充実

④　望ましい集団活動を通して、存在感・充実感のある学校生活を送らせるための特別活動の充実

ア　児童の参加意欲や自己表現力を高める体験活動の工夫と充実

⑤　児童が健康・安全で、活力ある生活を営むために必要な資質や能力を育成する組織的・計画的な健康安全教育の推進

ア　運動の楽しさや喜びを味わう体ほぐしや「スポーツの力」を実感させ、豊かな「スポーツ精神」を育む体育の充実

イ　基本的な生活習慣を形成する能力と態度を育てる保健教育・管理の充実

ウ　身近な危険の予知・回避を高める能力（危機対応能力）「自ら判断し、自ら行動する力」を育成するための安全教育の計画的な実施

エ　健康的な生活を自ら実践する能力と態度を育成する食育の充実

⑥　広い視野と豊かな人権感覚を持ち、異なる文化を持つ人々と共に生きていく資質や能力を育成する国際理解教育の推進

ア　各教科等との関連を生かした体験的な学習や課題学習の充実

イ　コミュニケーション能力・言語能力等の育成と充実（３年生～６年生）

⑦　児童の発達の段階に応じた情報手段に慣れ親しんで、身近な道具として使いこなせる能力と態度の育成を図る情報教育の推進

ア　児童の発達の段階や各教科等の学習内容と関連づけた情報教育の推進

イ　プライバシーや著作権、また、肖像権の保護などの基礎的な情報モラルやマナー

の育成（デジタルシティズンシップ教育の推進）と保護者への啓発

(3)　教職員の資質能力の向上

①　教育関係諸法令・コンプライアンスを遵守し、公教育に課せられた使命と責任を自覚するとともに、教職員評価制度の活用などを通して豊かな識見と専門性に基づく自己の資質能力の向上に努める。

ア　自己目標の管理と自己評価に基づく計画的・持続的な研究実践の追究及び教職員相互の連携・協働意欲に基づく組織としての学校の教育力の向上

イ　コンプライアンスの遵守と危機管理の三原則（予測・対応・再発防止）に基づく丁寧な児童・保護者対応の実施

ウ　組織的な文書、電子データ等の管理体制確立と遵法意識による職務遂行

②　社会の変化を的確に把握し、学校教育に寄せられた期待に応えられる力量を向上させるための教職員研修の充実（若手教職員の学級経営能力・授業技術の向上を図る）

ア　研究授業を要とした重点研究の活性化と指導力量の向上及び組織的な若手教員の研修体制の確立と年間研修計画の作成・実践

イ　タブレットやデジタル教材、また電子黒板を活用する指導など、授業のＩＣＴ化、ユニバーサルデザイン化の積極的促進

③　学校評価を学校経営の中心に据えた「開かれた学校づくり」の推進と地域連携

ア　全校務分掌方針に学校評価を位置づけ、計画的・組織的な教育活動の実施と評価システムの確立

イ　学校運営協議会の授業参観・行事参観等の積極的な実施及び地域の特色を生かした体験学習や学習活動の充実

7.　研究主題

「伝え合う喜びを感じ、自らの考えを表現できる児童の育成」

～　進んで学び、高め合う授業づくり　～

３．　児　童　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別児童数

学　　年	特別支援学級 わ か ば			１年		２年		３年		４年			５年			６年			合計
組	1	2	3	1	2	1	2	1	2	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
男　子	6	3	3	9	7	13	17	17	18	12	12	12	13	13	13	11	11	11	201
女　子	0	2	2	11	12	12	11	16	16	11	11	11	15	17	19	16	15	15	211
小　計	6	5	5	20	19	25	28	33	34	23	23	23	28	30	32	27	26	26	413
合計	16			39		53		67		69			90			79			413
家庭数	16			25		30		50		53			86			83			343

(2)　地域別児童数

地　域	１年	２年	３年	４年	５年	６年	合計
南 稲 八 妻	4	5	6	7	5	6	33
精華台一丁目	4	11	3	5	10	6	39
精華台二丁目	4	4	4	5	7	3	27
精華台三丁目	2	5	9	6	7	10	39
精華台四丁目	11	10	9	14	12	11	67
精華台五丁目	16	21	39	35	49	46	206
合　計	41	56	70	72	90	82	413

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	校務分掌
校　　長	西　村　　訓		
教　　頭	村田　竜司		
教　　諭	大久保　晃	教　　務	教務主任、保健主事
教　　諭	今岡　晃大	わかば１組	特別支援教育コーディネーター、特別活動
教　　諭	朝野　瞳	わかば２組	特別支援教育、教育相談
教　　諭	平畠　恵美	わかば３組	特別支援教育、図書館教育
教　　諭	北村　美都子	１年１組	道徳、音楽
教　　諭	吉元　由佳	１年２組	給食、人権教育
教　　諭	中田　勇輔	２年１組	特別活動、体育
教　　諭	山本　芙美	２年２組	生活、環境教育
教　　諭	西崎　由希	３年１組	人権、特別活動
教　　諭	東郷　早希	３年２組	外国語教育、福祉教育
教　　諭	岩室　和貴	４年１組	情報教育、安全教育、体育
講　　師	吉永　誉	４年２組	図画工作、教育相談
講　　師	小野﨑　希	４年３組	社会、国際理解
教　　諭	藤崎　裕美子	５年１組	国語、音楽
教　　諭	綿谷　拓己	５年２組	総合的な学習の時間、体育
教　　諭	宇田　亮太	５年３組	図画工作、情報教育
教　　諭	吉岡　誠嗣	６年１組	算数、特別活動
講　　師	西尾　有寿加	６年２組	家庭科、キャリア教育、人権
教　　諭	伊家　遥平	６年３組	体育、生徒指導
教　　諭	河霜　知佳	通級指導	特別支援教育、図書館教育
教　　諭	長谷川　祐亮	通級指導	特別支援教育、生徒指導
教　　諭	齋藤　誠範	理科専科	理科、研究主任
教　　諭	坂本　智恵		
教員業務支援員	小野　政恵		
養護教諭	太田　奈美子		健康教育、教育相談
別室登校者対応指導員	末次　祐子		教育相談、別室対応指導
学校事務	浜野　麻未		学校事務
特別指導員	舘田　千明		特別支援教育
介助員 心の居場所サポーター	小野　晶子		特別支援教育
介助員	菅野　陽子		特別支援教育
まなび・生活アドバイザー	森本　洋介		
給食調理員	宍戸　武志		給食調理
給食調理員	岡本　淳子		給食調理
学校図書館司書	塗野　友美		学校図書館運営
スクールカウンセラー	佐々木　幸子		
学校医	岸田　秀樹		
学校歯科医	辰己　卓司		
学校薬剤師	松本　修一		

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化		相楽地方美術展	
健康安全 体　　育	身体測定 視力検査 聴力検査 検尿 専門医検診 （内科・眼科・耳鼻科） 心臓検診 避難訓練 （地震・風水害） 体力テスト 町陸上運動交歓記録会	身体測定 視力検査 聴力検査 検尿 歯科検診 避難訓練 （火事） 運動会	身体測定 避難訓練 持久走前検診 持久走記録会
遠足 集団宿泊	修学旅行（６年） 林間学習（５年）	社会見学	
勤労生産 奉　　仕	大掃除 入学式準備	大掃除 運動会準備	大掃除 新１年生入学説明会 卒業証書授与式準備

６．　保護者連携

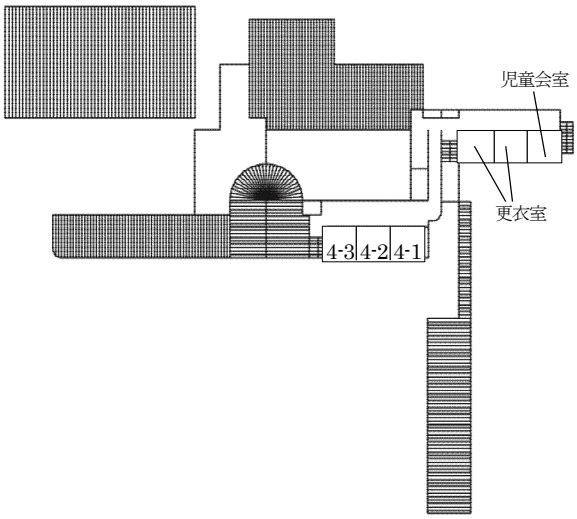
役職名	氏　　名
学校代表	田　島　　寛　之
地域委員長	津　路　　美　里

７．　学校運営協議会委員

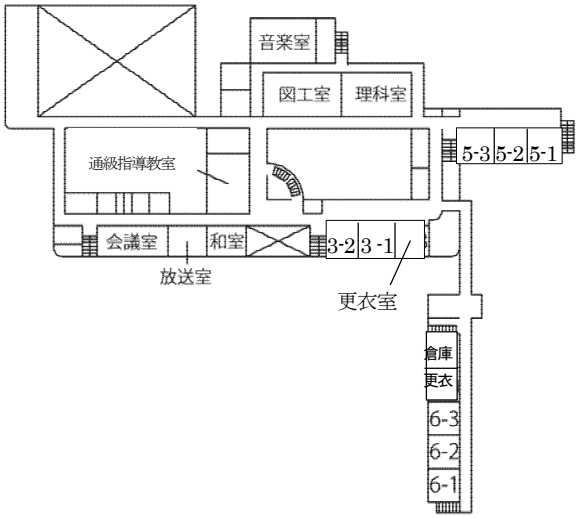
氏　　名
宮　　本　　治　　郎
尾　　﨑　　万 佐 子
藪　　木　　聡
綿　　﨑　　俊　　行
西　　村　　訓
村　　田　　竜　　司

８． 学校施設

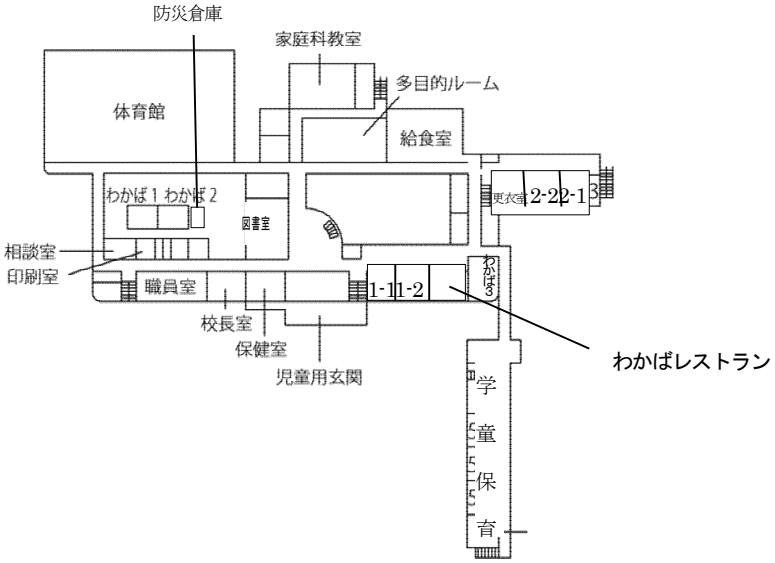
校地面積　43,543 ㎡
校舎面積　7,987.8 ㎡
体育館　1,296 ㎡
運動場　5,577 ㎡
プール　25m×6 コース



３ 階



２ 階



１ 階

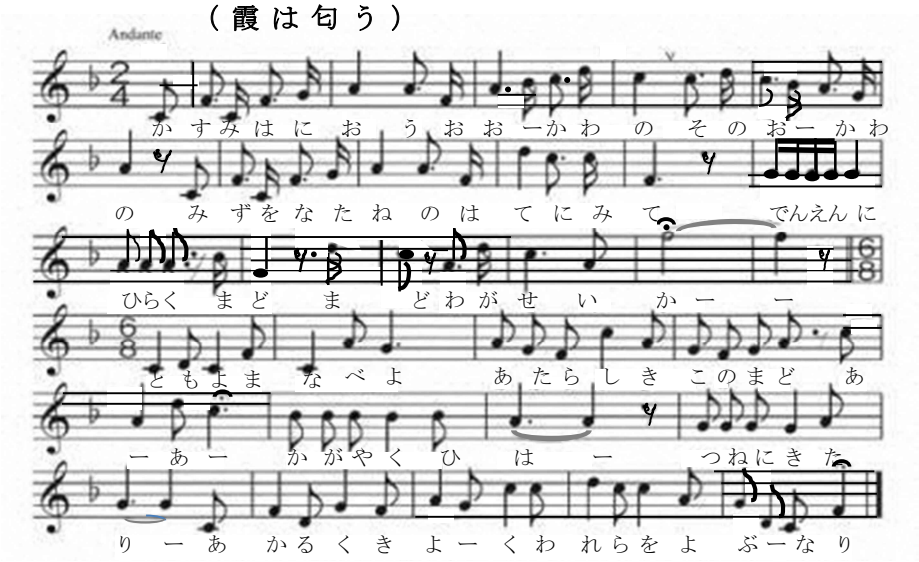
精華町立　精華中学校

所 在 地　〒619-0243
京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字丸山７番地
電　　話　0774－94－2013　　ＦＡＸ　0774－94－2054
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/seika-jhs/

精華中学校　校歌

作詞　酒井　雨虹
作曲　川上　よしかず

（霞は匂う）



精華中学校校歌

作詞　酒井　雨虹
作曲　川上　よしかず

一
霞は匂う大川の　その大川の
水を菜種の　果てに見て
田園に開く窓、窓、わが精華
友よ学べよ　新しきこの窓
ああ　かがやく陽は常に来り
明るく清く　我等を呼ぶなり

二
大なる朝産土の　その産土の
風も稲穂に煌きて
円山に響く声、声、わが精華
友よ鍛えよ　勇ましきこの声
ああ　かがやく陽は常に来り
正しく強く　我等を伸ばさん

三
仰げばみ空の　その城南の
雲に理想の　夢のせて
学業を磨く庭、庭、わが精華
友よ励めよ　美わしきこの庭
ああ　かがやく陽は常に来り
楽しく広く　我等を鍛えむ

１．　学校の沿革

昭22.	5. 3	川西村・山田荘村・相楽村の３か村、組合立精華中学校を創立
25.	5. 3	校舎竣工（第３期工事）落成式挙行
	11. 3	文部大臣より施設優良校として表彰を受ける
26.	4. 1	川西村・山田荘村合併、精華村立精華中学校と改称（相楽村分離）
27.	4. 19	精華中学校同窓会発足
	7. 1	精華村立精華女子高等技芸学院附設
30.	4. 1	町制施行により精華町立精華中学校と改称
34.	4.	科学教育研究校に指定される（文部省）
	4.	産業教育研究校に指定される（文部省）
35.	4.	学校放送教育研究発表を行う（府放送教連）
	11. 2	科学教育研究発表を行う（文部省）
36.	1.	学校放送教育研究発表を行う（府放送教連）
	4.	曙学級（特別支援学級）を設置
	9. 16	第二室戸台風により体育館が傾斜、その他校舎施設設備に多大の被害を被る
	10. 19	放送教育研究会全国連盟より優秀校として表彰を受ける
37.	3. 31	精華町立精華女子高等技芸学院を廃校
	4.	第二室戸台風による災害復旧工事完成
	11. 26	ソニー理科教育振興資金を受ける
38.	7. 26	25m プール竣工
40.	11. 18	第９回府視聴覚教育研究発表を行う
41.	9. 3	校舎全面改築着工
42.	9. 25	校舎竣工（竣工式 43.5.31）
43.	11. 19	生徒指導研究発表（府教委）を行う
45.	3.	バックネット設備（野球・ソフト用）
46.	6.	ＴＶ放送設備完成・放送室拡張
47.	5.	プール南側庭園造成・クラブボックス新設
49.	12.	被服室・普通教室２増改築・クラブボックス３、増築工事完成
53.	4.	生徒数増加のため運動場にプレハブ教室２教室増設され、特別教室に転用
54.	3.	体育館竣工（1,111 ㎡）
	9.	運動場拡張工事（旧体育館跡）
56.	4.	本館東側校舎増築地鎮祭
	10.	本館東側校舎竣工（校内改修工事、職員室渡り廊下）
58.	4.	心身障害児理解推進校に指定される（文部省） 主題「南山城養護学校との交流教育を通し、障害児（者）に対する理解を深め、より豊かな人間関係を追求する」
59.	1.	郡自主発表「基礎学力の充実をめざす取り組みを全校的にどうすすめるか」
59.	3.	第２技術室、第２美術室としてプレハブ増築工事完成
	4.	吹奏楽部設立
60.	4.	文部省初等中等教育局長に、心身障害児理解推進校（58・59 年度）としての研究・実践に対し感謝状を受ける
	11.	日本ＰＴＡ全国協議会長により、本校育友会活動について表彰を受ける
61.	4.	昭和 61・62 年度府教委・町教委委嘱道徳教育研究校に指定される
平 元.	7.	第一期大規模改造工事（外壁、本館３階）
	12.	郡中教研指定発表「生徒の自己実現を目指す進路指導」

2.	4.	平成２・３年度府教委、町教委教育実践推進「運動部活動」研究指定
	7.	第二期大規模改造工事（体育館南側バレー・テニスコート・防球フェンス）
3.	3.	校舎前に職員駐車場新設置・生徒用自転車置場設置
	7.	第三期大規模改造工事（本館１階）
	11.	府・町教委教育実践推進「運動部活動」研究発表
4.	7.	コンピュータ室設置工事（新館２階）
5.	4.	指導方法の改善実施校の指定を受ける（府教委）
	4.	社会福祉協力校の指定を受ける（府）
6.	8.	クラブボックス１室増築工事完成
7.	8.	南側プレハブ校舎撤去
9.	11.	創立 50 周年記念事業　記念式典開催
10.	9.	グラウンド拡張工事完成　クラブハウス移転、更衣室完成
11.	1.	教育相談室（２教室）設置
12.	9.	本館２・３階トイレ改修工事
13.	8.	防犯用カメラ設置
	8.	体育館屋根補修工事完成
14.	3.	校内ＬＡＮ工事完了
	6.	音楽室に空調設備設置
15.	1.	第 62 回全国教育美術展「学校賞」を受賞
16.	5.	京都府キャリア教育推進地域指定事業の実践協力校の指定を受ける
	12.	郡中教研指定発表「体験活動を通して生きる力をはぐくむ」
19.	4.	キャリア・スタート・ウィーク推進地域の実践協力校の指定を受ける
	6.	プール改修工事完成
20.	4.	文部科学省「コミュニティ・スクール推進事業」研究指定を受ける
21.	9.	学校運営協議会発足　精華中学校コミュニティ協議会の発足
	10.	シニア・スクール開講
22.	11.	第１回収穫祭開催
23.	4.	「京の未来創造校」研究指定を受ける（府教委）
24.	4.	コミュニティ加配事務職員配置
25.	4.	新制服、体操服へ変更
	12.	優れた「地域による学校支援活動」推進にかかる文部科学大臣賞受賞
26.	8.	校舎改築等工事着工
27.	9.	校舎竣工（新校舎使用開始）
28.	2. 29	校舎全面改築完成
30.	5.	精華中ＰＴＡを精華中ＰＴＣＡに組織改編
令 元.	11.	第 10 回収穫祭開催
2.	3.	コミュニティの日開催（新型コロナ感染拡大防止のため第 11 回収穫祭の代替行事）
3.	3.	第１回青春祭（旧収穫祭）の開催
5.	9.	給食開始
6.	5.	シニア・スクールを「さくらいおん・スクール」に名称を変更して開講

２．　学校教育方針

1.　経営方針

平成21年に学校運営協議会が組織されコミュニティ・スクールの推進を図る。コミュニティ協議会を中心とした地域の方、家庭、学校が力を結集し、「地域に開かれ、愛され、貢献できる学校」を目標とする。

開かれた学校づくり、地域の人材活用や地域とのつながりを強化する中で、地域全体で子どもを包み込みはぐくんでいく環境づくりを推進する。

２．　教育目標

本校は、知・徳・体の調和のとれた豊かな人間性と、平和で、真に人権の尊重される社会・国家の形成者として、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応できる実践力のある生徒の育成を目指す。

(1)　命を大切にし、自他を尊ぶ人間の育成
(2)　広い視野で未来を創造できる人間の育成
(3)　自ら考え、主体的に行動できる人間の育成

３．　めざす生徒像

(1)　清く、明るく、素直な心を持った生徒
(2)　健康でたくましい実行力を持つ生徒
(3)　互いの人格を尊重し、あたたかい友情を持てる生徒

４．　学校経営の重点

「地域に開かれ、愛され、貢献できる学校づくり」
「学力向上に向けた取組」

５．　努力目標

(1)　コミュニティ・スクールの特色を生かした学校運営の推進
(2)　ＩＣＴ活用を含む授業改善の推進

３．　生　徒　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別生徒数

学　　年	特別支援学級曙			１　年				２　年				３　年				合計
組	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	
男　　子	6	7	3	17	17	14	16	14	15	19	17	17	19	18	16	215
女　　子	1	1	1	17	16	14	16	14	13	14	15	16	16	15	15	184
小　　計	7	8	4	34	33	28	32	28	28	33	32	33	35	33	31	399
合　　計	19			127				121				132				399
家　庭　数	16			93				118				130				357

(2)　地域別生徒数

地　域	１　年	２　年	３　年	合　計
菅　　井	2	2	1	5
植　　田	8	10	4	22
南　　稲	10	8	17	35
祝　園　西	6	9	19	34
北　　稲	5	9	4	18
谷	4	1	4	9
南	7	3	7	17
中　ノ　町	3	5	4	12
北　ノ　堂	9	6	5	20
馬　　渕	8	5	6	19
東	2	3	3	8
中	3	1	4	8
西　　北	1	2	0	3
杉　　本	3	3	1	7
下 久 保 田	6	7	3	16
滝　ノ　鼻	18	11	13	42
舟	14	14	9	37
菱　　田	2	8	11	21
旭	0	0	0	0
僧　　坊	17	17	16	50
里	2	2	1	5
中 久 保 田	2	3	2	7
そ　の　他	2	0	2	4
合　　計	134	129	136	399

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	教科	校務分掌	部活顧問
校　長	有城　義浩				
教　頭	宇野　正人				
主幹教諭	髙橋　洋	曙学級主任	英　語	特別支援教育	サッカー
教　諭	武田　有史	教務主任	保健体育	教務主任	女子バレーボール
講　師	星野　紀子	曙　１　組	社　会	特別支援教育	女子ソフトテニス
講　師	吉田　直史	曙　２　組	社　会	特別支援教育	総合文化
教　諭	関　利範	曙　３　組	英　語	特別支援教育	総合文化
教　諭	片山　智之	１年主任	理　科	１年学年主任	野球
教　諭	仲野　大	１年１組	英　語	学力充実	サッカー
教　諭	北岡　なつみ	１年２組	国　語	学級活動	吹奏楽
教　諭	加藤　魁人	１年３組	保健体育	部活動	野球
教　諭	西城　慧一	１年４組	数　学	人権教育	陸上競技
教　諭	石尾　理加	１年副担任	国　語	教育相談	卓球
教　諭	松本　育未	１年副担任	保健体育	小学校専科	総合文化
講　師	伊藤　泰子	１年副担任	音　楽	音楽科主任	吹奏楽
教　諭	南浦　博勝	２年主任	英　語	２年学年主任	男子バスケットボール
教　諭	岡井　慎之介	２年１組	数　学	健康安全教育（安全）	卓球
教　諭	森定　嵩貴	２年２組	社　会	特別活動	女子ソフトテニス
教　諭	影山　奈央子	２年３組	美　術	道徳教育	剣道
教　諭	安村　有加	２年４組	国　語	図書館教育	吹奏楽
教　諭	渡邊　知世	２年副担任	理　科	理科主任	女子バドミントン
講　師	田村　和大	２年副担任	保健体育	保健主事	女子バレーボール
教　諭	松井　延浩	３年主任	理　科	３年学年主任	女子バドミントン
教　諭	水谷　智美	３年１組	英　語	健康安全教育（給食）	陸上競技
教　諭	田中　沙弥	３年２組	保健体育	総合的な学習	女子バドミントン
教　諭	木下　清人	３年３組	数　学	情報教育	野球
教　諭	伊藤　大二郎	３年４組	社　会	研究主任	卓球
教　諭	冨永　孝康	３年副担任	数　学	生徒指導主任	男子バスケットボール
教　諭	國政　成生	３年副担任	技　術	進学主任	陸上競技
教　諭	早川　由希子	３年副担任	理　科	特別支援教育ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	剣道
教　諭	奈良木　理		社　会		
初任者指導員	山本　桂		国　語		
非常勤講師	曽束　ますみ		家　庭		
非常勤講師	丸岡　嘉容子		英　語		
非常勤講師	天野　智之		理　科	初任者研後補充	
非常勤講師	南　孝太		社　会		
養護教諭	岡本　友子				
栄養教諭	細川　美樹				
事務職員	高木　梨江			学校事務	
特別支援員	岩切　美都季			特別支援教育	
特別支援員	勝田　奈緒			特別支援教育	
別室対応指導員	中尾　順子			別室対応指導	
別室対応指導員	谷口　佑子			別室対応指導	
学校図書館司書	武井　美紀			学校図書館運営	
ｽｸｰﾙｶｳﾝｾﾗｰ	笹田　世都子				
地域ｺｰﾃﾞｨﾈｰﾀｰ	村上　泰子			コミュニティ・スクール事務	
学校医	柳澤　力				
学校歯科医	田中　利昌				
学校薬剤師	松本　修一				

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化		合唱コンクール 人権意見発表会	百人一首大会 青春祭（旧収穫祭）
健康安全 体　　育	身体測定 視力検査 聴力検査　心臓検診 専門医検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科） 心臓検診 検尿 非行防止教室（全学年） ストレスマネジメント（3年） 喫煙飲酒等生活習慣病予防教育、がん教育（２年） 薬物乱用防止教室（３年） くすり教育（３年） 新体力テスト 避難訓練	身体測定 体育大会 避難訓練	
旅　　行 集団宿泊	修学旅行（３年） 校外学習（１・２年）	校外学習（２年）	
勤労生産 奉　　仕	田植えボランティア 大掃除	大掃除	奉仕作業（３年） 大掃除

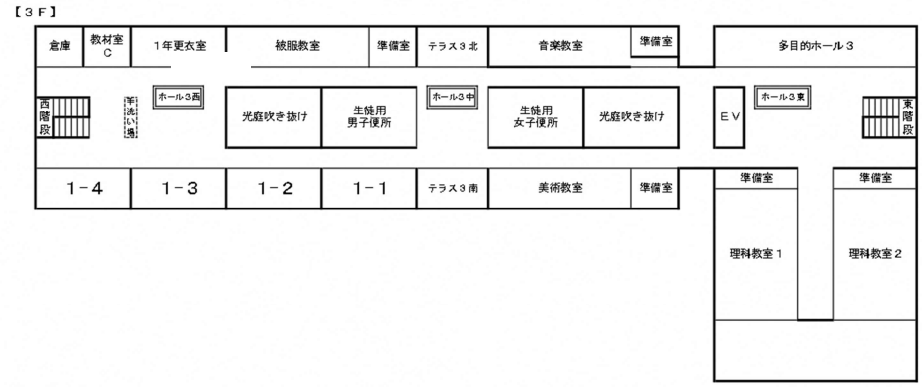
６．　ＰＴＣＡ

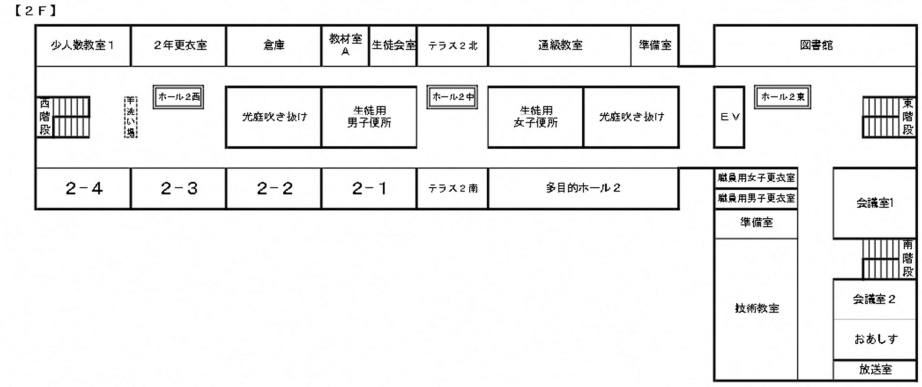
令和５年度から休止

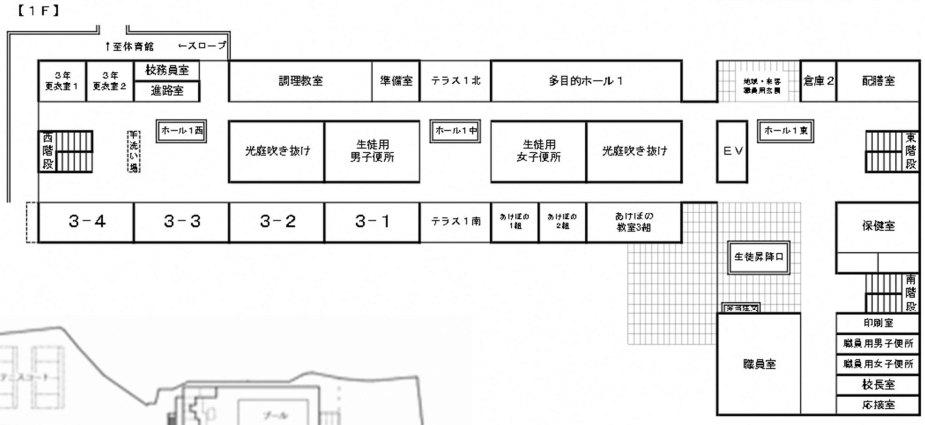
７．学校運営協議会委員

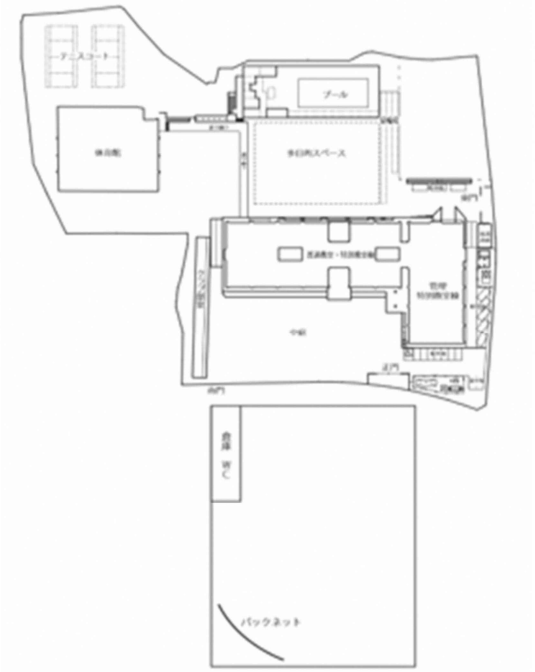
氏　名	
岩　井　　三　郎	有　城　　義　浩
針　谷　　みさゑ	宇　野　　正　人
服　部　　曉	武　田　　有　史
高　岡　　いずみ	

８． 学校施設









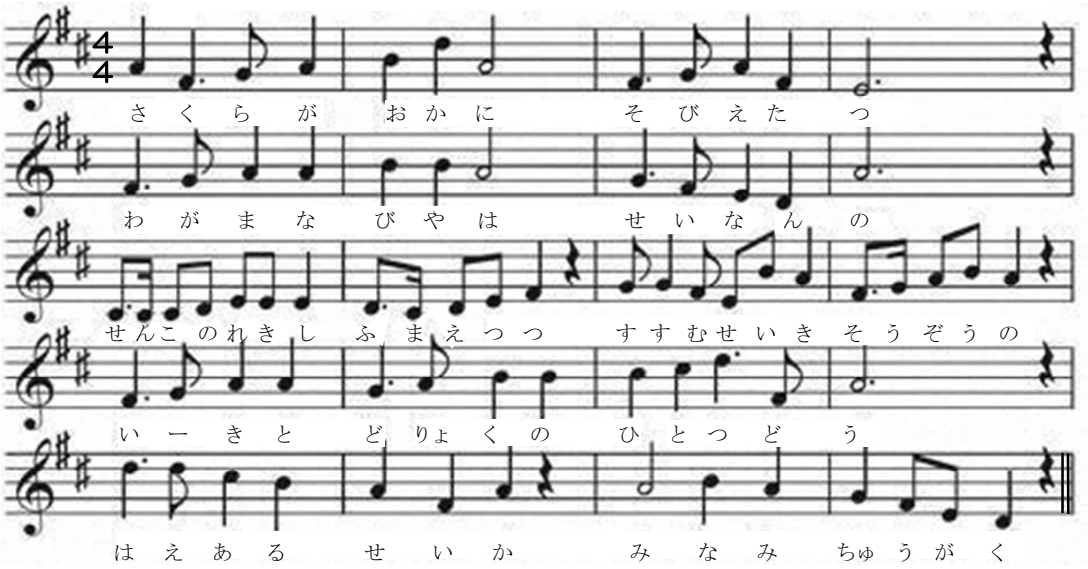
校舎面積	28,448 ㎡
校　　舎	6,995 ㎡
体育館	1,111 ㎡
グラウンド	9,330 ㎡
プ　ー　ル	25m×5 コース

精華町立　精華南中学校

所 在 地　〒619-0232
京都府相楽郡精華町桜が丘二丁目３番地１
電　　話　0774－72－5222　　Ｆ Ａ Ｘ　0774－72－5366
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/seikaminami-jhs/

精華南中学校　校歌

作詞　永谷　鞆庸
作曲　荒堀　和子



精華南中学校校歌

作詞　永谷　鞆庸
作曲　荒堀　和子

一
桜が丘にそびえ立つ
我が学び舎は精南の
千古の歴史ふまえつつ
進む世紀創造の
意気と努力の人集う
栄えある精華南中学校

二
平城京の青垣に
育つ大地を基として
躍び立つ力担いつつ
世界の文化発展の
生気と創志の人集う
輝く精華南中学校

三
相楽山の頂きに
希望を胸に研きあい
未来に夢を抱きつつ
つくる関西・学研の
勇気と責務の人集う
伸びゆく精華南中学校

１．　学校の沿革

昭 63.	4. 1	精華町立精華南中学校が山田荘小学校で発足
	4. 6	精華町立精華南中学校開校式（山田荘小学校体育館）
	5. 21	精華町立精華南中学校育友会設立
	9. 1	新校舎竣工に伴う開校式及び町開き、創立記念日とする。
	10. 16	京都国体開始式に合唱隊として全校参加
	3. 10	精華南中学校校歌発表会
	3. 24	学校菜園創設
平 元.	4. 1	文部省・精華町より、道徳教育推進校に指定される。
	4. 6	新しい制服（男女ともブレザー）を制定する。
	3. 10	育友会総会で桜が丘地域が新しく加入される。
	3. 24	平成２・３年度道徳教育推進校中間報告
2.	10. 25	文化クラブ発足（ブラスバンド部・クラフト部・文芸部）
	2. 5	文部省・精華町教育委員会指定道徳教育推進中心発表会開催
4.	8. 30	「コンピュータ室」完成（42 台設置）
6.	4. 1	京都府教育委員会・精華町教育委員会指定「国際理解教育推進事業モデル校」として指定をうける。（平成６・７・８年度）
9.	10. 25	創立 10 周年記念行事を開催 記念式典・記念演奏会・記念植樹「三春の滝桜」・記念誌発行
10.	11. 30	相楽郡中学校教育研究会指定研究発表（平成９・10 年度）
12.	2. 20	アフリカ英語圏諸国の女性教員来校（18 カ国 24 名）
	10. 29	平成 12 年度京都留学生交流モデル地域推進事業の指定を受け、留学生との交流会を実施
13.	8. 25	吹奏楽部　関西吹奏楽コンクール出場
14.	8. 26	吹奏楽部　２年連続関西吹奏楽コンクール出場
15.	4. 1	特別支援学級「レインボー学級」開設
	8. 25	吹奏楽部　３年連続関西吹奏楽コンクール出場
16.	4. 1	文部科学省「平成 16 年度全国的かつ総合的な学力調査の実施に係る教育課程研究指定校」に指定される。
	8. 23	吹奏楽部　４年連続関西吹奏楽コンクール出場
17.	4. 1	「開かれた学校づくり」推進
	8. 22	吹奏楽部　５年連続関西吹奏楽コンクール出場
	2. 24	全国教育美術展　学校賞受賞
18.	8. 21	吹奏楽部　６年連続関西吹奏楽コンクール出場
19.	4. 1	「京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究開発校」として府より指定を受ける
	11. 3	創立 20 周年記念行事を開催
20.	11. 19	京都府中学校教育研究会情報教育研究大会
	2. 3	京の子ども、夢、未来校、ジョイントアップ研究発表会
21.	4. 1	平成 21 年度特別支援教育充実事業に係る研究実践校（「やましろ未来っ子」研究推進校）に指定される。

4.　1	国立教育政策研究所教育課程研究センター関係指定事業「小・中連携教育実践研究事業（平成 20・21 年度）」
23. 4.　1	学力の３要素（習得・活用・意欲）について研究
25. 4～29. 3	ユニバーサルデザインの視点に立った授業づくりについて研究
27.　2.	屋内運動場太陽光発電設備設置
29.　4.　1	相楽地方中学校教育研究会指定研究（平成 29・30 年度）
10. 27	創立 30 周年記念行事を開催
30. 11. 28	相楽地方中学校教育研究会指定研究発表会
令 元. 8.　20	吹奏楽部　関西吹奏楽コンクール出場
2.　4.　1	山田荘小学校・精華南中学校学校運営協議会設立
4.　8. 20	吹奏楽部　関西吹奏楽コンクール出場
5.　9.　1	給食開始
5. 12.　6	南校舎便所改修工事
7.　2. 28	北校舎便所改修工事
7.　4.　1	新しい制服（ブレザー伸縮性素材・男女同柄スラックス）・体操服を制定
8.　2.　6	令和７年度山城地方学力向上を目指す教育実践交流会（実践事例発表校）

２．　学校教育方針

1.　経営方針

確かな学力、豊かな人間性、健康や体力など「生きる力」をそなえた生徒の育成

2.　教育目標

(1)　＜中期経営目標＞

『質の高い教育を追求するとともに、地域に信頼される学校づくり』

～共に学び合い、伝え合い、豊かに表現できる生徒の育成～

①　学習指導要領の趣旨に基づき、確かな学力と豊かな人間関係を育成する特色ある教育課程の編成・実施とその評価・改善を図り、「生きる力」を育てる。

②　一人一人の個性が輝く学び合い、伝え合う集団づくりを構築する。

③　ユニバーサルデザインの視点を基盤とした教育活動、及び環境整備の充実を図る。

④　一小一中の利点を生かした効果的な小中連携を図る。

⑤　学校が更に信頼されるために、情報の積極的な発信や学校運営協議会を中心に地域の力を活用し、開かれた教育課程の実現を目ざす。

⑥　あらゆる教育活動においてチーム学校として組織的な取組を進める。（迅速・的確に対応するために連携の強化・協働性）

(2)　＜学校経営の重点（短期経営目標）＞

①　学習指導要領の趣旨に基づき、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」の三つの資質・能力をバランスよく育成することを重点におき授業研究を進め、総合的な学習の時間、行事等活性化させ、生徒の可能性を伸ばす幅広い教育活動を実践する。

ア　昨年度の「学力向上を目指す実践事例」の発表に終えて、「学びのパスポート」を活用した学習状況可視化をさらに進め、授業改善のポイントを明確にしながら教職員の授業力向上を図る。

イ　地域を愛し、貢献できる学校づくりを推進し、社会との関わり方について主体的

に学ぶ力を育てる。

ウ　生徒が主体的に考え、表現し、「自信と誇り」を持てる学校づくりを推進する。

② 小中学校教職員が更に連携を進めながら、学び合う研修の機会を設け、児童生徒に系統性のある学びの保障を図り、学校間連携・協働体制作りを進める。

③ 教職員が学校に対する誇りと、教育活動に対する使命と自覚を持ち、指導力向上を図る。

3. めざす学校像、生徒像、教師像

(1) めざす学校像

① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師

② 質の高い教育を提供し、信頼される学校

③ 生徒や地域の特性を生かし、生徒の夢を具現化する学校

(2) めざす生徒像

① 意欲をもって学び、根気よく努力をする生徒

② 自信と誇り、思いやりを忘れず行動する生徒

③ 創造性豊かで、感謝と感動を行動で表す生徒

(3) めざす教師像

① 生徒とのふれあいを大切にし、生徒・保護者・地域の信頼に応える教師

② 学ぶ喜びを実感できる授業を創造し、絶えず研鑽に励む教師

③ 組織として、子どもを教育する教師

4. 指導の重点

(1) 学校がさらに信頼され、生徒にとって自信と誇りが持てる学校づくりを進める。

① 組織運営・校務分掌

ア　教職員が常に組織の一員であることを自覚し、機能させることによりチーム学校としての学校力を高める。

イ　委員会、部会の実効性を高める。

② 情報・文書管理

ア　精華町文書管理規程により、管理を徹底する。

イ　個人情報保護及びICT機器の安全管理を徹底し、情報セキュリティ意識を高める。

③ 施設・設備管理

ア　校舎内外の施設の整備点検を定期的に行う。

イ　安全指導、安全管理の徹底を図る。

ウ　年３回程度避難訓練を確実に行う。

④ 保健・衛生

健康な体と学習環境を整えるために、感染予防対策などの取組を充実させるとともに定期的な検診と衛生管理に努める。

⑤ 家庭・地域との連携

ア　保護者、地域へ積極的に情報を発信し、地域連携に努める。

イ　地域の文化・人材の積極的活用、学校評価や情報の積極的な提供、保護者・地域の人々の学校運営への参加促進など地域の力を活用する。

ウ　学校運営協議会を核に「社会に開かれた教育課程」の構築を目指す。

⑥ 学校評価・教職員評価

ア　学校評価を通じて、学校として組織的に取り組むべきことは何かを把握し、教育活動の充実・改善に取り組む。
イ　人材育成の観点から、教職員評価を充実させる。

(2)　学習指導要領の趣旨を踏まえた授業改善により、質の高い学力を育成する。
①　研究・研修
ア　確かな学力を育成するために、研修を計画的に実施し、教職員の資質向上を図る。
イ　重点研究テーマである、「多様な学びを通して高め合う学習集団づくりを目指す」について、これまでの成果と課題を整理し、引き続き今年度も研究を進める。
②　教育課程の編成と実施
学習指導要領の趣旨に基づき、確かな学力と豊かな人間性を育成する特色ある教育課程の編成・実施とその評価・改善を図る。
③　各教科
ア　研究部の研究主題である「多様な学びを通して高め合う学習集団づくりを目指して」をテーマとした研究を進め、「共に学び合い、伝え合う」集団づくりを構築する。
イ　基礎・基本の徹底による学力向上・充実を図るとともに、全ての教科で活用の力を育成する。
＜育むべき資質・能力＞
知識及び技能、思考力・判断力・表現力等、学びに向かう力・人間性等。
④　道徳教育
道徳的価値の内面的な自覚を促す道徳の授業方法について研修を深める。
⑤　小中連携
小中学校の特質を踏まえながら、一小一中という利点を生かした連携の充実を図る。

(3)　習得と探求、共に生きる喜び、共感・感動の喜びなど「生きる喜び」を実現する取組を具体化する。
①　生徒指導
ア　基本的な生活習慣を体得させるとともに、自主的活動の充実に努め、問題行動の未然防止を図る。
イ　日頃から児童生徒が発する心のサインを見逃さないように、いじめの早期発見・早期対応に努める。
②　特別活動
望ましい集団活動を通して、集団や社会の一員として、より良い生活や人間関係を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。
③　教育相談
共感的理解により人格の形成・成長を支援する。
④　特別支援教育
ア　指導計画の作成と個々の生徒への働きかけを計画的に行う。
イ　特別な支援を必要とする生徒に対して必要な手立てを講じる。
ウ　通級指導教室の開設に伴い、個々の教育的ニーズに応じた支援体制を強化し、特別支援教育の充実を図る。
⑤　健康教育

心身の発達と健康な生活についての意識を高め、健康や安全に対する自己管理能力を育成する。

⑥　総合的な学習の時間

「生きる力」を育むという目標の具現化のため、学校全体の計画を再構築し、多様な人とのつながる力の育成を図る「生き方」探究学習として位置づけ、実践する。

⑦　キャリア教育

「生き方」探究学習を通して、自らの進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。

⑧　人権教育

同和教育を人権教育の柱として様々な人権問題の正しい理解と問題解決に向けた実践的態度を育成する。

⑨　図書館教育

生徒の豊かな感性と生涯にわたって読書を愛好する態度を育成する。

⑩　給食教育

健康の保持推進と、食に関する基本的な知識と実践力を身に付ける。

⑪　コミュニティ・スクール

山田荘小・精華南中学校運営協議会を核に地域と協働することにより、地域を愛し、地域に貢献できる生徒の育成を目指す。

5.　研究主題

「多様な学びを通して高め合う学習集団づくりを目指す」

３．　生　徒　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別生徒数

学　　年	特別支援学級 レインボー		１　年	２　年	３　年	合計
組	1	2	1	1	1	
男　　子	3	4	17	16	19	59
女　　子	0	0	15	20	20	55
小　　計	3	4	32	36	39	114
合計	7		32	36	39	114
家　庭　数	7		29	35	38	102

(2)　地域別生徒数

地　域	１　年	２　年	３　年	合　計
山　　田	2	3	2	7
乾　　谷	0	2	0	2
柘　　榴	2	0	2	4
桜が丘一丁目	8	8	8	24
桜が丘二丁目	7	10	8	25
桜が丘三丁目	6	9	7	22
エスペローマ	1	3	6	10
桜が丘四丁目	9	4	7	20
そ　の　他	0	0	0	0
合　　計	35	39	40	114

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	教科	校務分掌	部活顧問
校　　長	藤　　秀成				
教　　頭	脇本　亜矢				
教　　諭	服部　良輔	教　　務	英　語	教務主任・研究主任	美　　術
講　　師	大谷　弘和	レインボー1組	社　会	特別支援教育	サ　ッ　カ　ー
講　　師	野宮　隆寛	レインボー2組	社　会	特別支援教育・情報教育	サ　ッ　カ　ー
教　　諭	中鉢　良平	１年主任	保健体育	生徒指導主任・保健主事	陸　上　競　技
教　　諭	片山　千鶴	１年１組	社　会	図書館教育	バスケットボール
教　　諭	黒岡　梨恵	１　年　付	美　術	通級指導	美　　術
教　　諭	板垣　崇子	２年主任	英　語	特別支援コーディネーター	バスケットボール
教　　諭	竹田　　舞	２年１組	理　科	道徳教育・人権教育主任	吹　奏　楽
教　　諭	小池　啓介	３年主任	数　学	進学主任	陸　上　競　技
教　　諭	西村　志保	３年１組	国　語	特別活動主任	吹　奏　楽
教　　諭	羽切　　薫	３　年　付	保健体育	小中専科	陸　上　競　技
非常勤講師	小野　　昌		数　学		
非常勤講師・特別支援員	乾　佐知子		音　楽		
非常勤講師	森下　　綾		理　科		
非常勤講師	曽束　ますみ		家　庭		
非常勤講師	小林　雄一郎		技　術		
非常勤講師	豊田　愛子		国　語		
養護教諭	森本　信子			教育相談	
事務職員	茅野　理恵			学校事務	
教員業務支援員	小林　美紀				
別室登校者対応指導員	吉村　映子			心の居場所サポーター	
特別支援員	青山　美香子				
学校図書館司書	赤松　智子			学校図書館運営	
スクールカウンセラー	岩井　秀世				
まなび・生活アドバイザー	森本　洋介				
地域コーディネーター	池田　照子				
学　校　医	下里　豪俊				
学校歯科医	住岡　和一				
学校薬剤師	中村　政美				

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与式 修了式
文　　化	新入生歓迎会	文化学習発表会 人権学習発表会	
健康安全 体　　育	身体測定 視力検査 専門医検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科） 心臓検診 新体力テスト 避難訓練 交通安全教室 防犯教室 薬物乱用防止教室 熱中症予防学習	身体測定 視力検査 体育大会 こころの学習 避難訓練	いのちの学習 避難訓練
旅　　行 集団宿泊	校外学習　（１年） 校外学習　（２年） 修学旅行　（３年）		
勤労生産 奉　　仕	大掃除 学校菜園作業	大掃除 しごと講話	大掃除 学研都市企業訪問（１年）

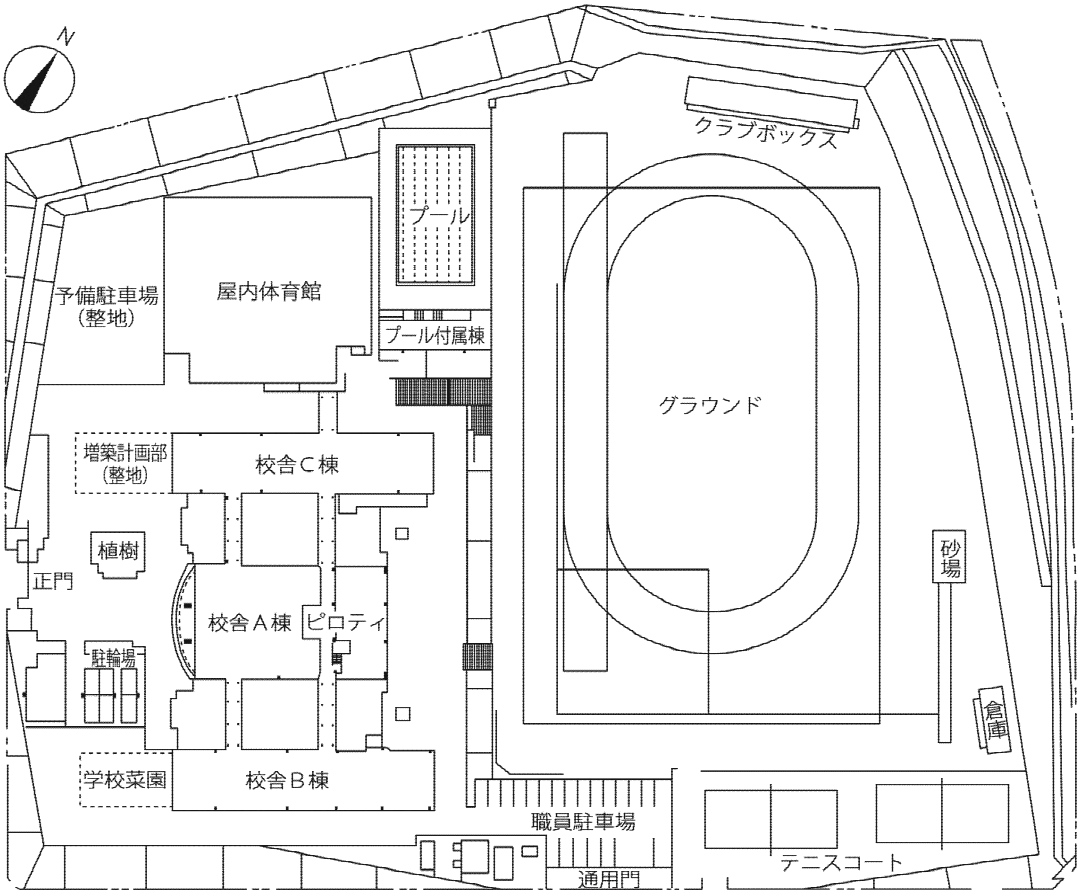
６．　ＰＴＡ

令和７年度より休止

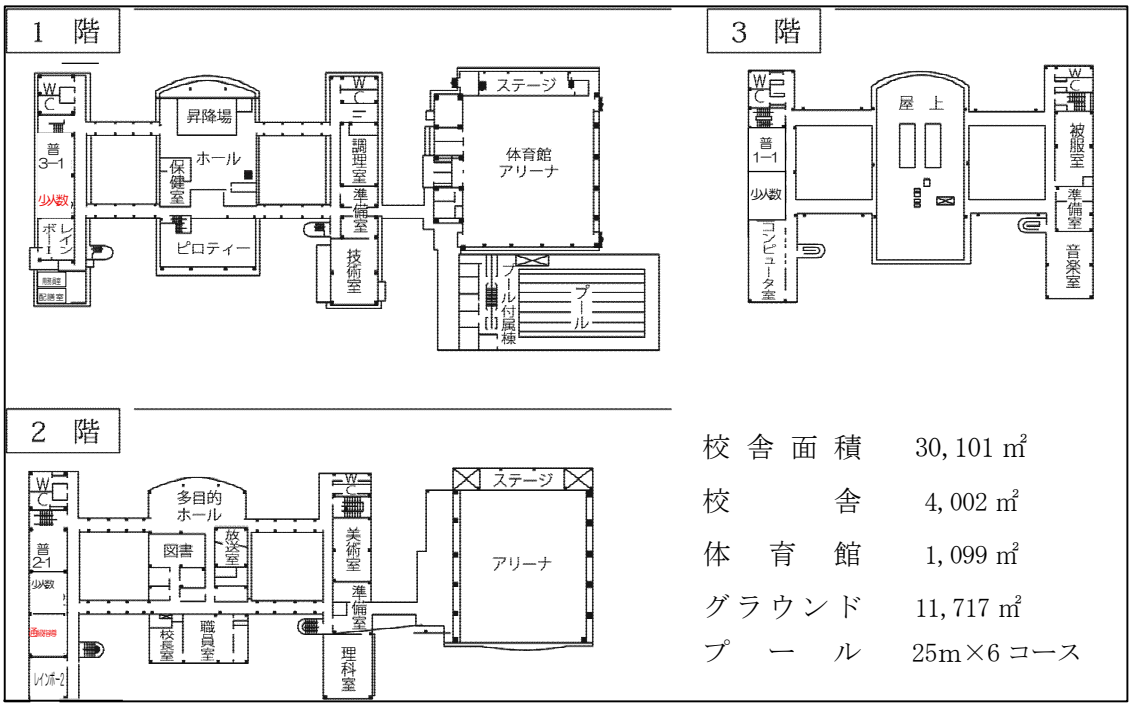
７．　学校運営協議会委員

氏　名	
田　中　　智　美	重　村　　直　志
澁　谷　　冨美子	田　村　　琴　恵
杉　原　　孝　司	藤　　秀　成
飯　田　　智香子	脇　本　　亜　矢
山　本　　正　來	
野　﨑　　奈緒美	
髙　鍋　　房　美	
上　村　　晴　彦	

8． 学校施設



各　階　平　面　図



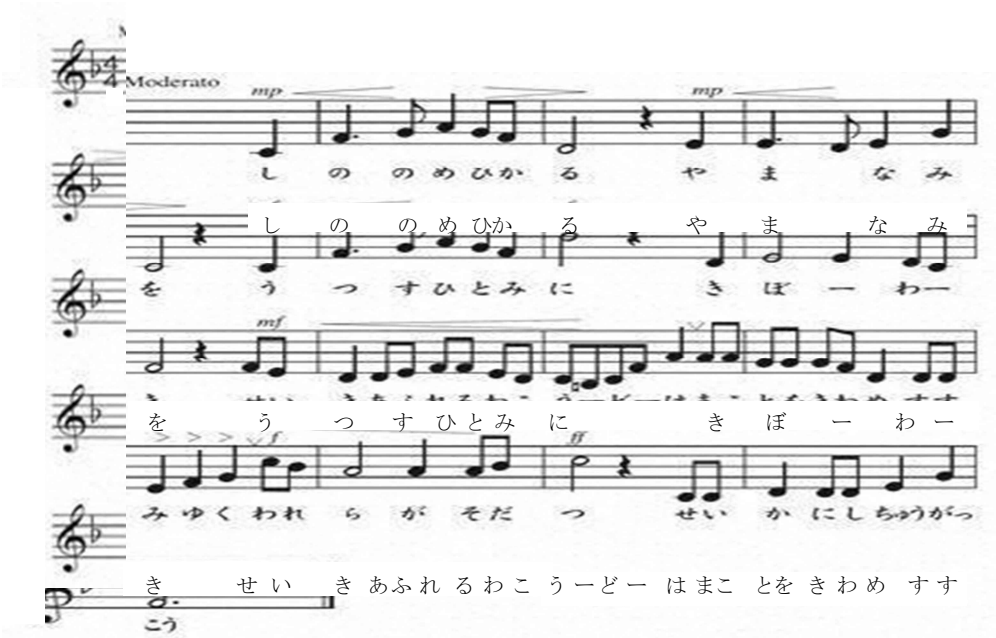
校舎面積	30,101 ㎡
校　舎	4,002 ㎡
体育館	1,099 ㎡
グラウンド	11,717 ㎡
プ　ー　ル	25m×6 コース

精華町立　精華西中学校

所 在 地　〒619-0237
京都府相楽郡精華町光台九丁目１番地
電　　話　0774－95－3700　　Ｆ Ａ Ｘ　0774－95－3800
Ｈ　　Ｐ　http://www.kyoto-be.ne.jp/seikanisi-jhs/

精華西中学校　校歌

作詞　藤田　　悟
作曲　安倉　敏代



みゆくわれらがそだつせいかにしちゅうがっ

こう

精華西中学校校歌

作詞　藤田　悟
作曲　安倉　敏代

しののめ　やまなみ

一　東雲光る山脈を
映す瞳に希望わき
生気溢れる若人は
真理を究め進みゆく
われらが育つ精華西中学校

二　古き都を望みつつ
科学に学ぶ一筋の
未来に向かう若い芽は
叡智と技術を磨きゆく
われらが築く精華西中学校

三　木津の流れの歴史くみ
新たな文化創造の
学びの道を励み合い
豊かな心育てゆく

１．　学校の沿革

平	9.	4. 1	精華町立精華南中学校より分離、精華町立精華西中学校（町内３番目の中学校）として開校。校章・制服を制定。 京都府教育委員会「インターネット利用推進協力校」に指定 精華町立精華西中学校ＰＴＡ設立
		4. 7	精華町立精華西中学校竣工・開校式
	10.	3. 9	精華町立精華西中学校校歌制定・発表
		3. 12	精華町立精華西中学校同窓会発足
		3. 13	第１回卒業証書授与式（卒業生 52 名）
	13.	2. 27	文部科学省「次世代ＩＴを活用した未来型教育研究開発事業」実施校に指定
		3. 14	第４回卒業証書授与式（卒業生 64 名）
	14.	3.	校内ＬＡＮ工事完了
		6.	音楽教室に空調設備設置
	16.	4.	文部科学省「キャリア教育実践協力校」に指定
		4.	雇用・能力開発機構「仕事ふれあい活動支援事業」協力校に指定
	17.	4.	文部科学省「キャリア教育実践指定校」の２年次
		5.	私のしごと館でのインターシップ体験（２学年）
	18.	2. 28	南校舎増築工事完成（普通教室６教室）
		4.	文部科学省「キャリア教育実践指定校」の３年次
		6.	創立 10 周年記念事業・式典を実施

19.	4.	文部科学省「キャリア・スタート・ウィーク推進地域事業」に指定
20.	4.	文部科学省「外部評価の充実・自己評価のための実践研究」協力校に指定
22.	4.	特別支援教育充実事業に係る研究実践校「やましろ未来っ子」研究推進校に指定
23.	3.	北校舎増築工事完成（普通教室４教室、特別教室１教室）
	4.	京都府教育委員会『『教師力向上』教育実践力継承事業」開発実践校に指定
24.	4.	奈良教育大学理数教育研究センターとの理数教育の連携
25.	4.	京都府山城教育局「特別支援教育充実事業（やましろ未来っ子）」研究推進校に指定
26.	4.	同志社大学グローバルコミュニケーション学部との連携
27.	4.	同志社大学及び奈良教育大学との連携２年次
28.	10.	創立 20 周年記念事業・記念式典
	11.	京都府中学校美術研究会　公開授業（美術）
29.	4.	文部科学省「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業実施校」に指定
30.	4.	京都府山城教育局「学力向上を目指す実践事例集」に掲載
令 元.	4.	相楽地方中学校教育研究会「発表校」に指定
2.	4.	京都府山城教育局「特別支援教育充実事業(やましろ未来っ子)」研究推進校に指定
3.	4.	令和４年度近畿算数・数学研究大会組織委員会設立
4.	11.	第 65 回近畿算数・数学教育研究大会
5.	9.	給食開始
7.	4.	京都府山城教育局「特別支援教育充実事業（やましろ未来っ子）」研究推進校に指定
8.	2.	普通教室棟・体育館便所改修工事（第１期）

２．　学校教育方針

1.　経営方針

(1)　生涯にわたって主体的に学び続ける意欲と能力の育成に努める。
　①　意欲・関心を深める指導。
　②　自らの進路を切り拓く力の育成。
　③　基礎・基本の徹底とつまずきをなくす指導。
　④　指導方法の研究と指導体制の充実。

(2)　生徒指導の充実を図り、心豊かでたくましく生きる生徒の育成に努める。
　①　主体的な生活規律の確立。
　②　体験を通して豊かでたくましい心と体の育成。
　③　人権教育の推進。
　④　正しい判断力と実践力の育成及び安全指導と安全管理の徹底。
　⑤　いじめや学校不適応への適切な対応と教育相談活動の充実。

(3)　「職場に責任と創意を、研修に課題と記録を、集団に信頼と友情を」をめざし、高い教育理念と指導力・情熱と行動力を持ち、互いに高めあおうとする教職員集団の形成。
　①　西中学びのプランの実現。
　②　校内授業研究会の推進と授業の工夫、改善。
　③　豊かな人間性とより高い専門性の追求。

(4)　家庭や地域との連携を図り、地域に開かれた学校の構築に努める。
　①　西中コミュニティ、地域学校協働本部事業と連携した積極的な学校活動の啓発。
　②　関係諸機関との連携。

2.　教育目標

知性を磨き　豊かな心を持つ　たくましい生徒の育成

3.　本年度の重点目標

(1)　確かな学力の定着
　基礎・基本の定着、活用する力の育成、学習意欲の向上を図る。

(2)　人権意識の高揚
　仲間づくりを通して、人を思いやり尊重する心の育成を図る。

(3)　社会性の育成
　体験的な学習などを通して、ルールやマナー、社会常識等の規範意識やコミュニケーション能力の向上を図る。

4.　学校経営の重点（短期経営目標）

(1)　確かな学力の定着と社会性の育成
　①　生徒の実態に即した取組の展開。
　②　学習指導の充実。
　③　魅力あるカリキュラムの創造、構築。

(2)　信頼される教師集団づくり
　①　人権意識、コンプライアンス意識の向上。
　②　授業力、生徒理解、指導力の向上。

(3)　信頼される学校づくり
　①　地域、学校運営協議会、地域学校協働本部との連携。

② 安心安全な学校構築のための危機管理意識の向上。

(4) やりがいがあり健康的な職場環境の構築

5. 指導の重点

(1) 総合的な学習

① 生徒の興味・関心を中心とした学習を通して、創造的に取り組む資質や能力を育てる。

② 課題解決型の学習に取り組む。

(2) 学習指導

京都式少人数教育を活用した個に応じた指導を積極的に進め、基礎・基本を確実に身に付け、生涯にわたり自ら学び自ら考える意欲と態度を育成する。

(3) 進路指導

人間としての在り方、生き方を基盤に啓発的体験学習などを通して、進路を主体的に切り拓く能力や態度を育成する。また、校種間の連携を強める。

(4) 特別支援教育

① アセスメントを通して、全教職員が共通理解の下、適切な支援を行う。

② 全ての生徒が不適応を起こさず、学校生活を送れる支援を目指す。

(5) 道徳教育

教育活動全体を通じて人を思いやり尊重する心、正しい判断力、実践意欲と態度などの道徳性を養う。

(6) 人権教育

教育活動全体に位置付け、生徒の実態を的確に把握し、基本的人権や同和問題など様々な人権問題についての正しい理解や認識の基礎と人権尊重の実践的態度を育成する。

(7) 生徒指導

人間の尊厳という観点に立ち、個性の伸長と社会的資質・能力・態度を育成し、よりよい人格形成を促すとともに、生徒と教職員及び生徒相互の温かい人間関係の育成につとめる。

(8) 安全教育

健康・安全への認識を高め、基本的生活習慣を確立させながら心身ともに健康で安全に生き抜く生徒を育成する。また危機管理体制を整備充実する。

(9) 国際理解教育

国際社会に主体的に生きる日本人として、人権尊重の精神を基盤にわが国の伝統・文化や異文化を正しく理解し、尊重する態度と、コミュニケーション能力を育成する。

(10) 環境教育

学校教育全体を通して組織的・計画的な取組を推進する。身近な環境や環境問題に関心をもち、自然を大切にし、環境の保全に寄与することで実践的態度や能力を育成する。

(11) 情報教育

主体的に情報及び情報手段を選択・活用し学習する能力や他者とコミュニケーションを行う能力を高めるとともに、情報モラルやマナーに関する指導の充実に努める。

(12) 特別活動

望ましい集団活動を通して心身の調和と個性の伸張を図り、責任感をはぐくむとともに社会人として必要な資質を養う。

(13) スポーツ・芸術文化等

健全な心身の発達を促し、明るく豊かで生きがいのある生活を営むための態度を育てるとともに、体力・運動能力の向上を図り、生涯にわたって体育・スポーツ・芸術文化活動に親しむことができる能力を育てる。

6. 研究主題

(1) 社会のめまぐるしい変化に伴い、情報及び情報手段を主体的に選択し、活用する能力と態度を育成するため、生徒の発達段階に応じ、学校の教育活動全体を通じて、課題解決能力の育成に関する指導を組織的・計画的に推進する。

(2) 教育活動の充実を図るとともに、授業改善を一層推進し生徒の学習意欲の向上や活用する力の育成に努める。

(3) 数学科・英語科の少人数授業において習熟度別学習や効果的なカリキュラムの編成や運用について研究・実践を行う。

(4) 学校と家庭・地域社会との連携を強めながら、思いやりと豊かな人間性を培う道徳教育を継続・発展させる。

また、自らが社会の一員であるという自覚をより深めるとともに、学校の創意・工夫を生かしたボランティア活動などの社会奉仕活動、自然体験活動などの豊かな体験活動及び豊かな心を育てる読書活動などを展開する。

(5) 特別支援教育の一層の充実に向けた教職員の研修を通して具体的実践の力量を高め、心豊かな生徒の育成をめざす教育を推進する。

３．　生　徒　数（５月１日現在）

(1)　学年別・学級別生徒数

学　　年	特別支援学級			１　年				２　年				３　年			合計
組	1	2	3	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	
男　　子	4	2	5	16	15	15	16	19	18	20	19	18	18	18	203
女　　子	1	0	2	19	19	20	18	15	15	15	16	19	19	20	198
小　　計	5	0	7	35	34	35	34	34	33	35	35	37	37	38	401
合　　計	14			138				137				112			401

(2)　地域別生徒数

地　域	１　年	２　年	３　年	合　計
精華台一丁目	7	8	8	23
精華台二丁目	9	7	5	21
精華台三丁目	6	5	14	25
精華台四丁目	11	16	7	34
精華台五丁目	46	50	16	112
光台四丁目	11	9	9	29
光台五丁目	2	7	4	13
光台六丁目	18	14	13	45
光台七丁目	9	12	15	36
光台八丁目	9	8	14	31
光台九丁目	9	5	5	19
東　　畑	3	6	3	12
植　　田	0	0	0	0
そ　の　他	0	0	1	1
合　　計	140	147	114	401

４．　教職員一覧表（５月１日現在）

職　名	氏　名	担　任	教科	校務分掌	部活顧問
校　　長	仁賀　善政				
教　　頭	西川　寿				
教　　諭	村田　雄亮	教務主任	数　学	教務主任	野球
教　　諭	水川　ひとみ	通級指導教室担当	英　語	特別支援コーディネーター	総合文化
講　　師	青山　克己	フォレスト1組	保健体育	部活動	剣道(バスケットボール)
教　　諭	三澤　孝太郎	フォレスト2組	国　語	図書館教育	ソフトテニス
教　　諭	西山　悠	フォレスト2組	社　会	特別支援教育	ソフトテニス
教　　諭	丸岡　弘	1年学年主任	数　学	キャリア教育	バレーボール
教　　諭	北森　佳樹	1年1組	英　語	研究主任	剣道(バスケットボール)
教　　諭	山本　祥太	1年2組	理　科	生徒指導主任、情報教育	バドミントン
教　　諭	有田　篤生	1年3組	音　楽	道徳	吹奏楽
教　　諭	堀田　のの花	1年4組	英　語		バスケットボール
教　　諭	加藤　由美子	1年学年付	美　術	給食指導	美術(バスケットボール)
教　　諭	春名　雅代	2年学年主任	理　科	総合教育	バドミントン
教　　諭	守本　哲子	2年1組	国　語	教育相談	吹奏楽
教　　諭	前川　浩太郎	2年2組	数　学	学習指導	ソフトテニス
教　　諭	藤田　未奈	2年3組	英　語	人権教育	バドミントン
教　　諭	江角　祐輔	2年4組	社　会		陸上競技
教　　諭	吉松　佑哉	2年学年付	国　語		サッカー 夏季総体以降 陸上競技
教　　諭	鮫島　裕志	3年学年主任	英　語	進学主任	ソフトテニス
教　　諭	西野　優花	3年1組	保健体育	学校安全、清掃・美化	バレーボール
講　　師	寺川　義剛	3年2組	保健体育		陸上教諭(サッカー)
教　　諭	小野　晃永	3年3組	数　学	特活主任	野球
教　　諭	佐藤　真依子	3年学年付	社　会		バドミントン
教　　諭	荒川　真有	3年学年付	理　科		吹奏楽(バスケットボール)
非常勤講師	高森　則子		国　語		
非常勤講師	小林　雄一郎		技　術		
非常勤講師	大倉　拓哉		保健体育		バスケットボール
非常勤講師	谷口　和志		社　会		
非常勤講師	塩見　滋子		家　庭		
養護教諭	井平　実希				
事務職員	村木　輝美				
特別支援員	加田　香		保健体育		
特別支援員	森　由佳梨		英　語		
特別支援教育指導員	阪口　俊貴		保健体育		ソフトテニス
学校図書館司書	武井　美紀				
スクールカウンセラー	佐々木　幸子				
まなび生活アドバイザー	森本　洋介				
学　校　医					
学校歯科医					
学校薬剤師					

５．　学校行事計画

	１　学　期	２　学　期	３　学　期
儀　　式	始業式 入学式 終業式	始業式 終業式	始業式 卒業証書授与 修了式
文　　化		同志社大学との連携 合唱コンクール 学研都市リサーチ （企業訪問）	総合的な学習の時間 発表会 京都文化学習 伝統文化体験）
健康安全 体　　育	身体測定 視力検査 専門医検診（内科・歯科・眼科・耳鼻科） 心臓検診 交通安全教室 避難訓練（地震） 新体力テスト	身体測定 体育大会 避難訓練（火災）	防災学習　（自然災害）
旅　　行 集団宿泊	自然体験学習（１年） 修学旅行（３年）		
勤労生産 奉　　仕	職場リサーチ（２年） 大掃除	大掃除 ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ清掃活動	大掃除 奉仕作業（３年）

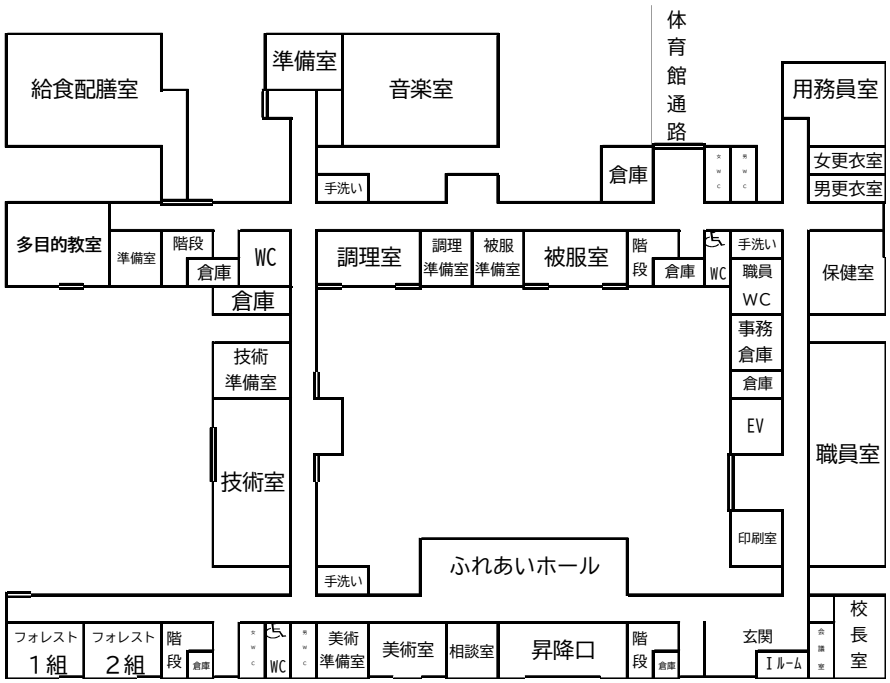
６． 学校運営協議員

氏　名
白　樫　　忠
有　馬　　央
弓　矢　　美　弥
鵜　飼　　雅　則
仁　賀　　善　政
西　川　　寿

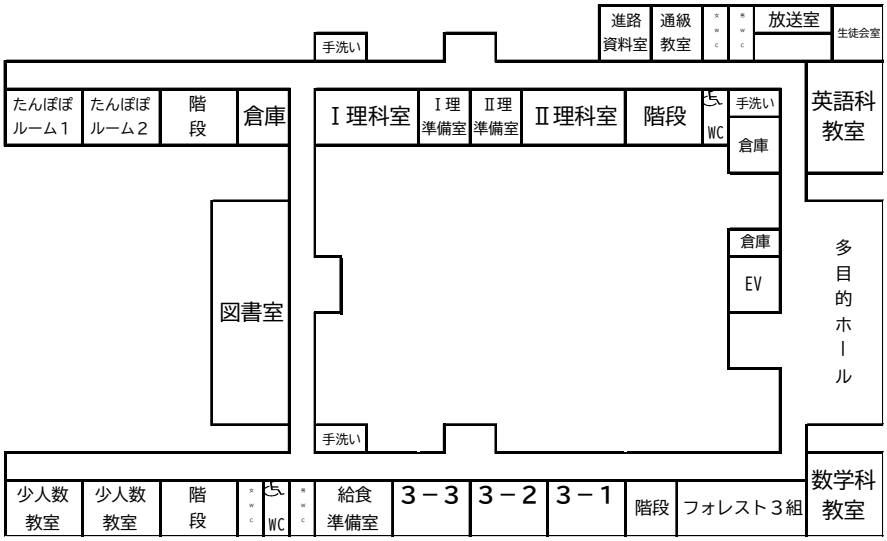
７． 学校施設

校地面積　33,796.14 ㎡
校舎　　7,030.58 ㎡
体育館　　2,015.00 ㎡
運動場　　10,800 ㎡
プール　　25m×８コース
テニスコート　４面

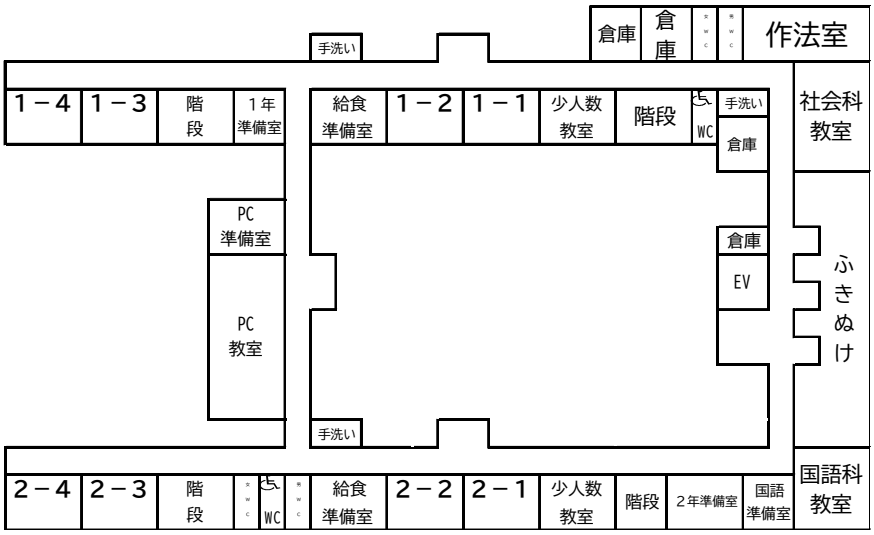
Ⅰ階



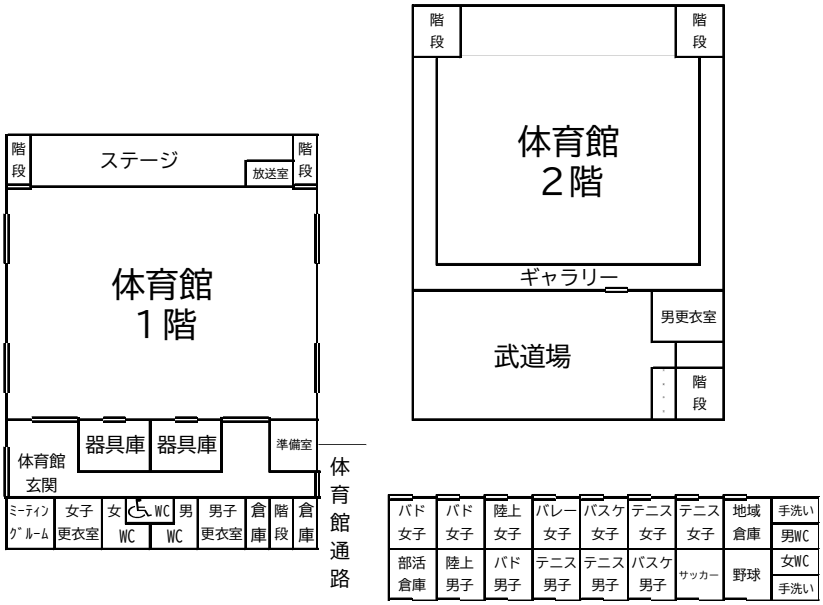
２ 階


進路資料室
通級教室
放送室
生徒会室
手洗い
たんぽぽルーム１
たんぽぽルーム２
階段
倉庫
Ⅰ理科室
Ⅰ理準備室
Ⅱ理準備室
Ⅱ理科室
階段
WC
手洗い
倉庫
英語科教室
倉庫
EV
多目的ホール
図書室
手洗い
少人数教室
少人数教室
階段
WC
給食準備室
３－３
３－２
３－１
階段
フォレスト３組
数学科教室

３ 階


倉庫
倉庫
作法室
手洗い
１－４
１－３
階段
１年準備室
給食準備室
１－２
１－１
少人数教室
階段
WC
手洗い
倉庫
社会科教室
PC準備室
PC教室
倉庫
EV
ふきぬけ
手洗い
２－４
２－３
階段
WC
給食準備室
２－２
２－１
少人数教室
階段
２年準備室
国語準備室
国語科教室

体育館


階段
ステージ
放送室
階段
体育館１階
器具庫
器具庫
準備室
体育館玄関
ミーティングルーム
女子更衣室
女WC
WC
男WC
男子更衣室
倉庫
階段
倉庫
体育館通路
階段
階段
体育館２階
ギャラリー
男更衣室
武道場
階段
バド女子
バド女子
陸上女子
バレー女子
バスケ女子
テニス女子
テニス女子
地域倉庫
手洗い
男WC
部活倉庫
陸上男子
バド男子
テニス男子
テニス男子
バスケ男子
サッカー
野球
女WC
手洗い

令和８年度精華町教育要覧

令和８年９月発行

編集発行　精華町教育委員会事務局（精華町教育部学校教育課）
〒619-0285

京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻 70 番地

電　話　0774-95-1906　　ＦＡＸ　0774-94-5176